

フー

据付工事説明書

foo

[fú:]

HEADCAP TATSUPINNEJI 3.5 × 30



HEADCAP MOKUNEJI 4.5 × 50



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 16



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 16 - D 6



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 23



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 30



SARA TATSUPINNEJI 3.5 × 35



BAINDO KONEJI M 4 × 12



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 16



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 25



BAINDO TATSUPINNEJI 3.5 × 30



もくじ

・安全上のご注意	1 ~ 2	・収納ユニット用化粧パネルスペーサーの取付け	38
・据付け前の確認	3	・収納ユニット用化粧フィラーの取付け	1 39
・標準施工図	4	2	40
・ユニット構成図	5	・収納ユニット本体の固定	41
・据付工事作業手順	6	・標準ユニットの組立て	42
【キッチンパーツの据付工事】			
・ウォールユニットの取付け	8	・フラップダウンユニットの組立て	1 43
・フロアユニットの取付け	9	2	44
・ワークトップの取付け / 配管前の準備 / リカバリータンクの取付け	10	3	45
・調理機器用トップの取付け / 両面カウンターの取付け	11	4	46
・エンドスペーサーの取付け	12	・大型食品庫の組立て	1 47
・フィラーの取付け / エンドパネルの取付け	13	2	48
・コーナーターンスペーサーの取付け	14	・コーナーユニットの組立て	1 49
・ダストカンの取付け	15	2	50
・調理機器バックパネルの取付け	16	3	51
・パイプラックパーツの取付け	17	4	52
・パイプラックパーツの取付け【コーナー用】	18	5	53
・ウォールラック用フックの取付け	19	・収納コーナーユニットの納まり	54
・照明器具・照明カバー【アルミ製】の取付け	20	・オープンユニットの組立て	55
・カウンターの取付け	21	・収納ウォールユニットの取付け	56
・人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】 天板の取付け	22	・配線方法	57
・人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】 接合部の仕上げおよび補修方法	23	・棚板の取付け	58
・加熱機器設置前の準備	24	・アミカゴの取付け	59
・オプションパーツの取付け位置	24 ~ 25	・内装引出しの取付け	60
【収納パーツの据付工事】			
・据付けスペースの確認・付属工具	27	・スライドボードの取付け	1 61
・収納ユニット本体の組立て	1 28	2	62
	2 29	3	63
	3 30	・コンセントの取付け /	64
	4 31	ガラス扉の把手の取付け	とつて
	5 32		
・中板の取付け	33	【キッチン・収納共通パーツの据付工事】	
・中板の取付け位置	34	・丁番一覧表	66
・収納ユニット本体の調整・キャップ類の取付け	35	・丁番の取付け	1 67
・収納ユニット用エンドスペーサーの取付け	36	2	68
・収納ユニット用エンドパネルの取付け	37	・扉(丁番)・引出し前板の調整方法	69
		・天井幕板の取付け	1 70
		2	71
		・アジャスター、ケコミ板の取付け	72
		・ケコミ板の取付け	73
		・据付け後の点検・清掃・養生 /	裏表紙
		ホルムアルデヒド発散区分	

安全上のご注意

必ずお守りください

据付工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。
 注意	この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	この図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
	この図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

据付工事完了後、説明書の内容に従って試運転および各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。

本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や、汚れが生じないように大切に保管し、据付工事完了後、お引き渡し時にお客様へお渡しください。

 警告	
ステンレス製ワークトップやステンレスフードを取り扱う時は、必ず保護手袋をしてください。	電気工事・ガス工事・水道工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。
	
切断面に触ると、ケガをする恐れがあります。	火災、感電、ガス漏れ、水漏れの原因になることがあります。
	
ウォールユニット、収納ユニットおよび、他のキッチンパーツの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。	
	
落下して、ケガをする恐れがあります。	

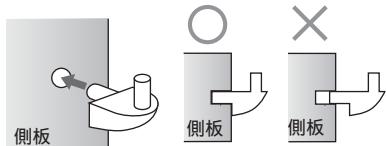
⚠ 注意

収納ユニットは、必ず壁面に固定してください。



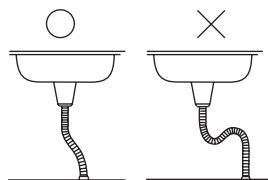
転倒してケガをする恐れがあります。

棚板を設置する時は、棚受け（ダボ）をすきまの無いよう根元まで確実に差し込んでください。



棚板が外れ、収納物が落下してケガをする恐れがあります。

排水ホースは、U字型に曲げたり、折り曲げて取付けないでください。



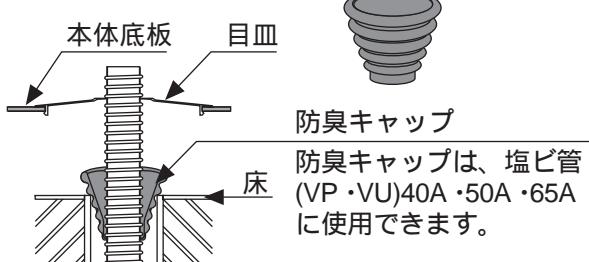
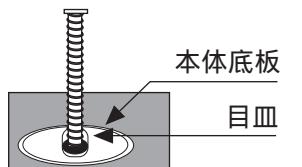
排水能力が低下してシンクから水があふれ、床を汚す恐れがあります。

組み込まれる電気機器・水栓等については、それぞれの施工説明書および製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



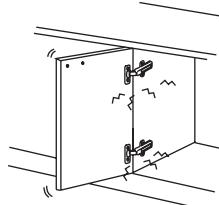
思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

排水器具・排水ホースの取付けおよび給排水管の接続部分のシールは確実に行ってください。



水が漏れたり、湿気が上がり床等が腐る恐れがあります。

工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。



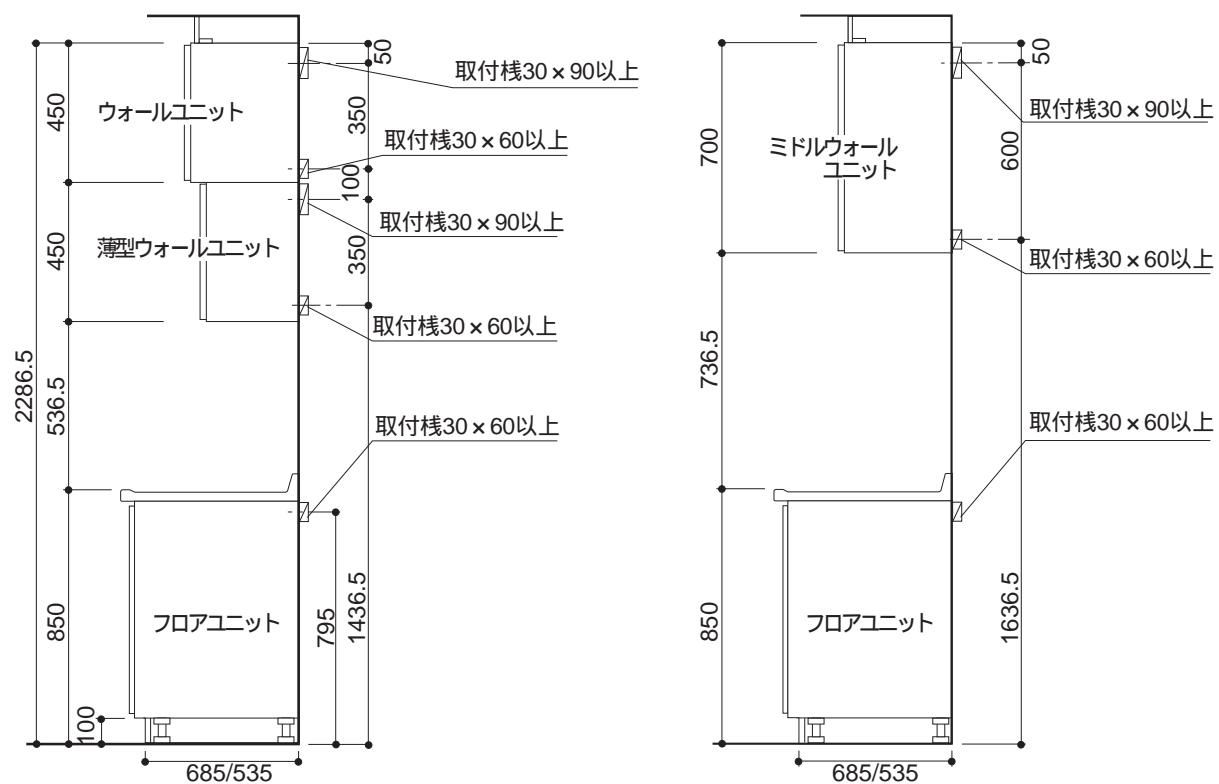
使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

据付け前の確認

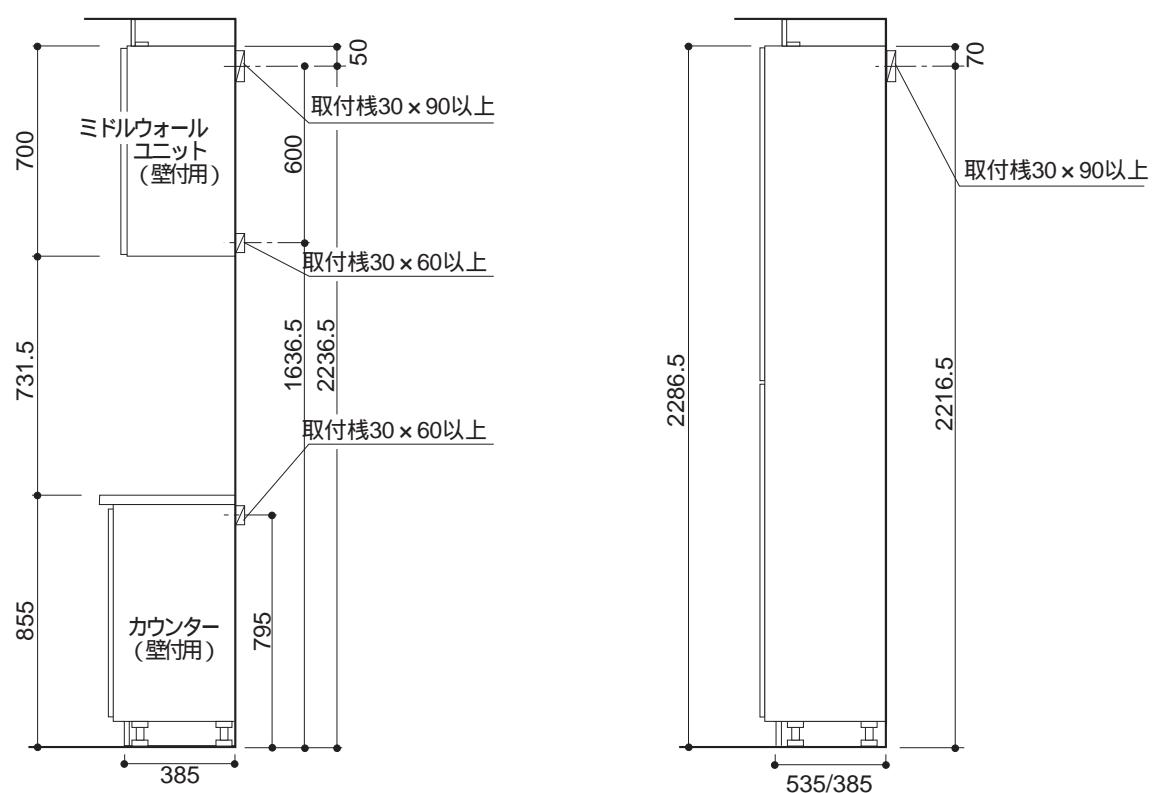
- ① 注文した製品が、納入されているか確認してください。
- ② 配管・配線・補強棟の確認
 - ・施工図および指示通りに、給水・給湯管、排水管、ガス管、および各機器の電気配線、換気口等が施工されているか確認してください。
 - ・壁面の取付位置に、取付棟があることを確認してください。また、天井吊りする場合は、天井の強度を確認してください。
 - ・壁の直角、垂直、床の水平レベルを確認してください。

標準施工図

キッチンパート部

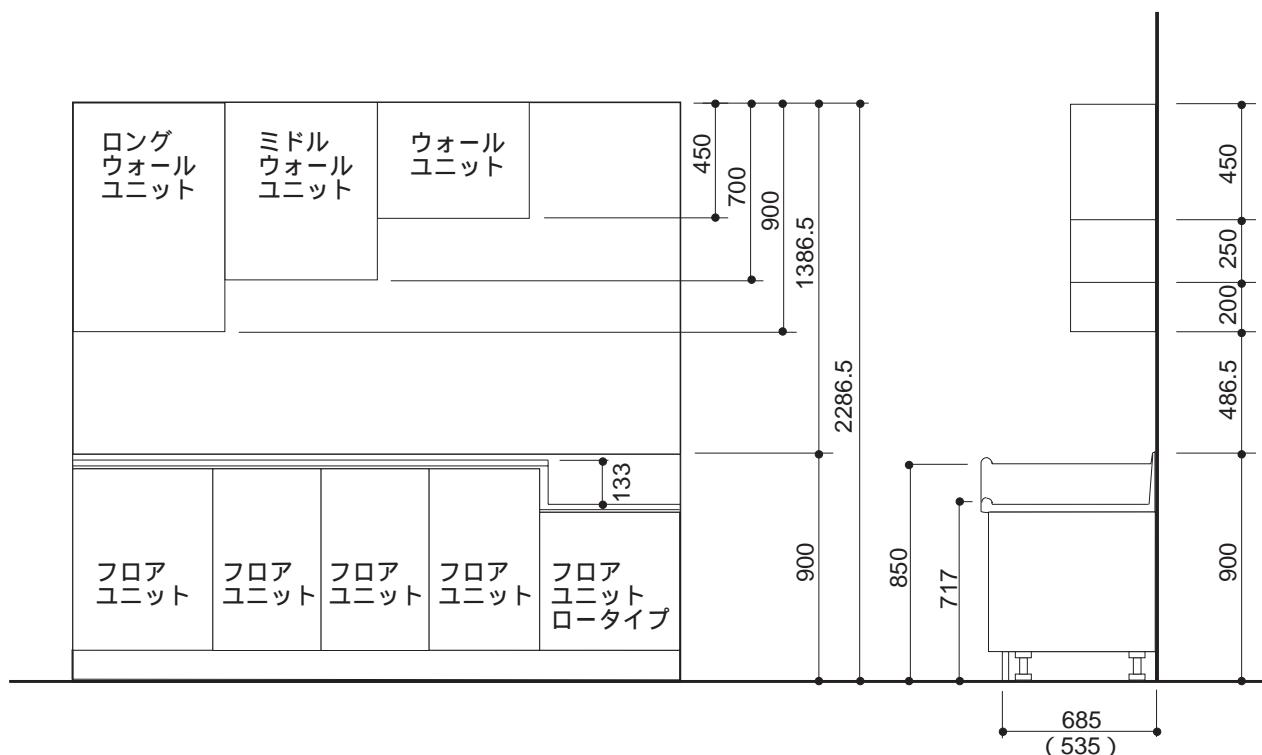


収納パート部

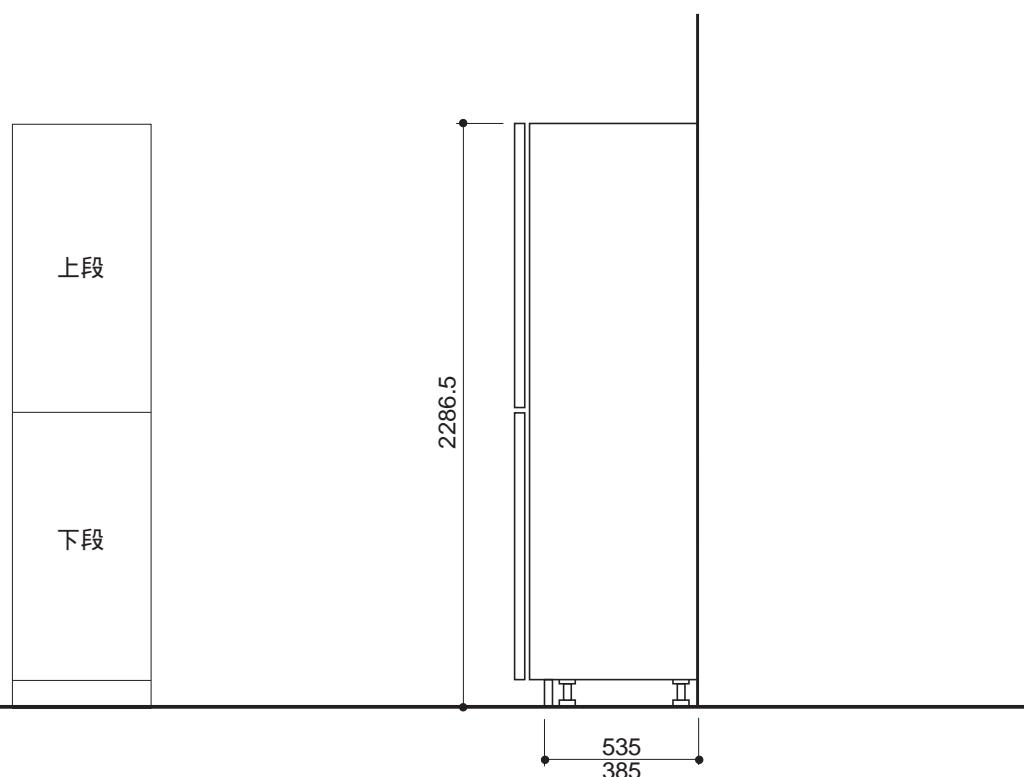


ユニット構成図

キッチン フロア・ウォールユニット



収納ユニット



キッチンパーツ 据付工事作業手順

- ・据付面のレベル出しを行う。
- ・壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
- ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面にフロアユニットの間口分に対し、H=820の墨出しを行う。
(これがすべての取付け基準になる。)
- ・L型についても入隅のカネ出し(直角)を十分にチェックする。
尚、壁背面側面はあらかじめ、9mm以上のコンパネ貼りをしておくのが望ましい。

ウォールユニットの取付け P 8を参照

レンジフードの取付け

（ステンレス壁面パネルがない場合は、ウォールユニットから）
(取付け、ある場合はフロアユニットから取付けをする。)

フロアユニットの取付け P 9を参照

ワークトップの取付け P 10を参照

調理機器用トップ・その他カウンター等の取付け P 11を参照

スペーサー・フィラーの取付け P 12～P 14を参照

エンドパネルの取付け

オプションの取付け

天井幕板・ケコミ板の取付け P 70～P 73を参照

収納ユニット 据付工事作業手順（作業標準）

- ・据付面のレベル出しを行う。
- ・壁の背面、側面に対し、下げ振りによりレベル出しを行う。
(水平、垂直、壁の倒れをパッキン材で補正する。)
- ・床面に対してもレベル出しを行い、一番高い所をチェックし、そこを基準で壁背面に据付けを行う。(キッチンと並ぶ場合は、キッチンに合わせる。)
- ・L型についても入隅のカネ出し(直角)を十分にチェックする。
尚、壁背面側面はあらかじめ、9mm以上のコンパネ貼りをしておくのが望ましい。

据付けスペースの確認と付属工具のチェック P 27を参照

収納ユニットの組立て P 28～P 32を参照

- ・ミニフィックスボルトを使用し、左側の側板、底板、背板、天板の順に組立てていく。

中板の取付け P 33～P 34を参照

本体の調整とキャップ類の取付け P 35を参照

スペーサー・フィラーの取付け P 36～P 40を参照

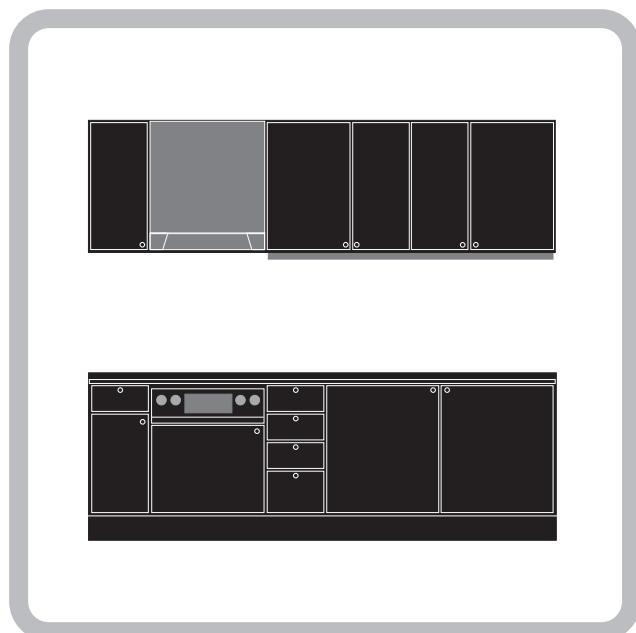
エンドパネルの取付け

その他オプション取付け

ケコミ板の取付け P 72～P 73を参照

扉の取付けおよび調整

【キッチンパーツの据付工事】



⚠ 警告

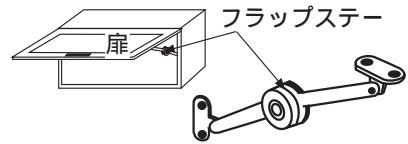
ウォールユニットの据付けは、建築壁の構造を確かめて正しく行ってください。



落下して、ケガをする恐れがあります。

⚠ 注意

マルチフラップアップ扉ウォールユニットを施工する際は、扉やフラップステーを絶対に取り外して施工しないでください。



破損して思わぬ事故の原因になることがあります。

壁面の取付け位置に強度上十分な桟が入っていることを確認してください。

取付け位置は全てネジ固定して、取付け忘れのないようにしてください。

- ウォールユニットの背板に取付穴 ($\varnothing 4.5$) をあけ、 \oplus ハイロラッパネジ 4.0×50 にて壁面に取付けてください。(図1)
- ウォールユニットの連結は側板の棚受けダボ両端の穴より \oplus サラタッピンネジ 3.5×30 にて連結してください。(図2)
- 上下の連結は上部ユニットの底板に下穴 ($\varnothing 3.5$) をあけ、 \oplus サラタッピンネジ 3.5×30 にて連結してください。(図3)

\oplus ハイロラッパネジ 4.0×50

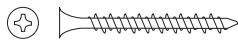
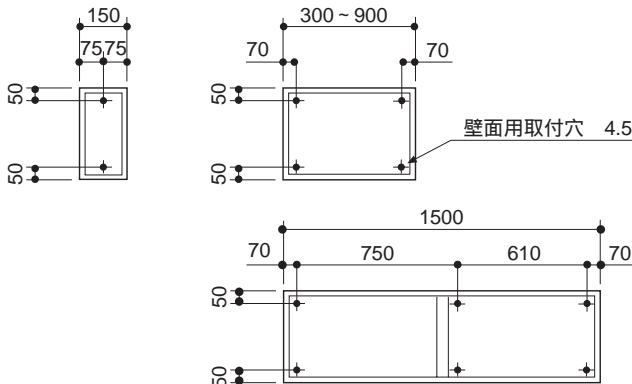


図1



\oplus サラタッピンネジ 3.5×30

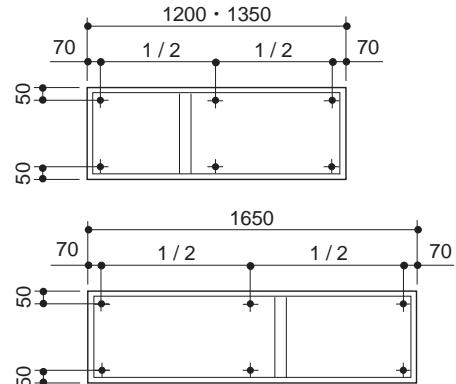
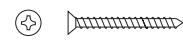


図2

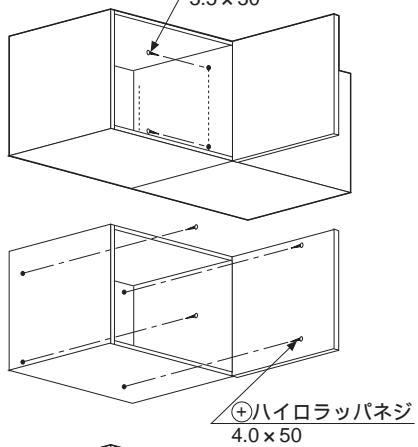
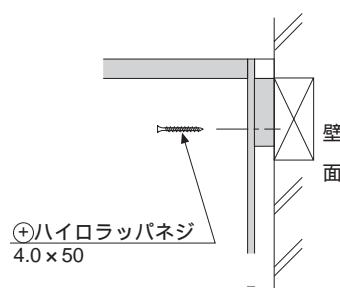
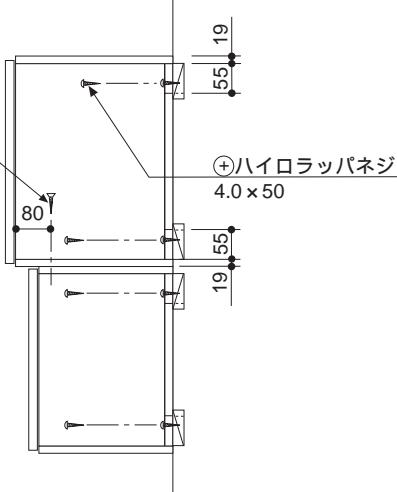
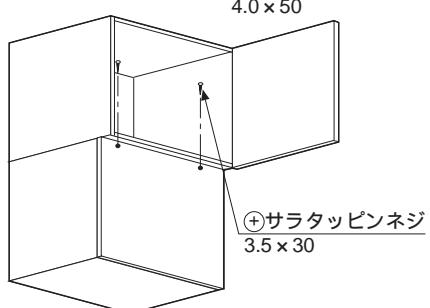


図3

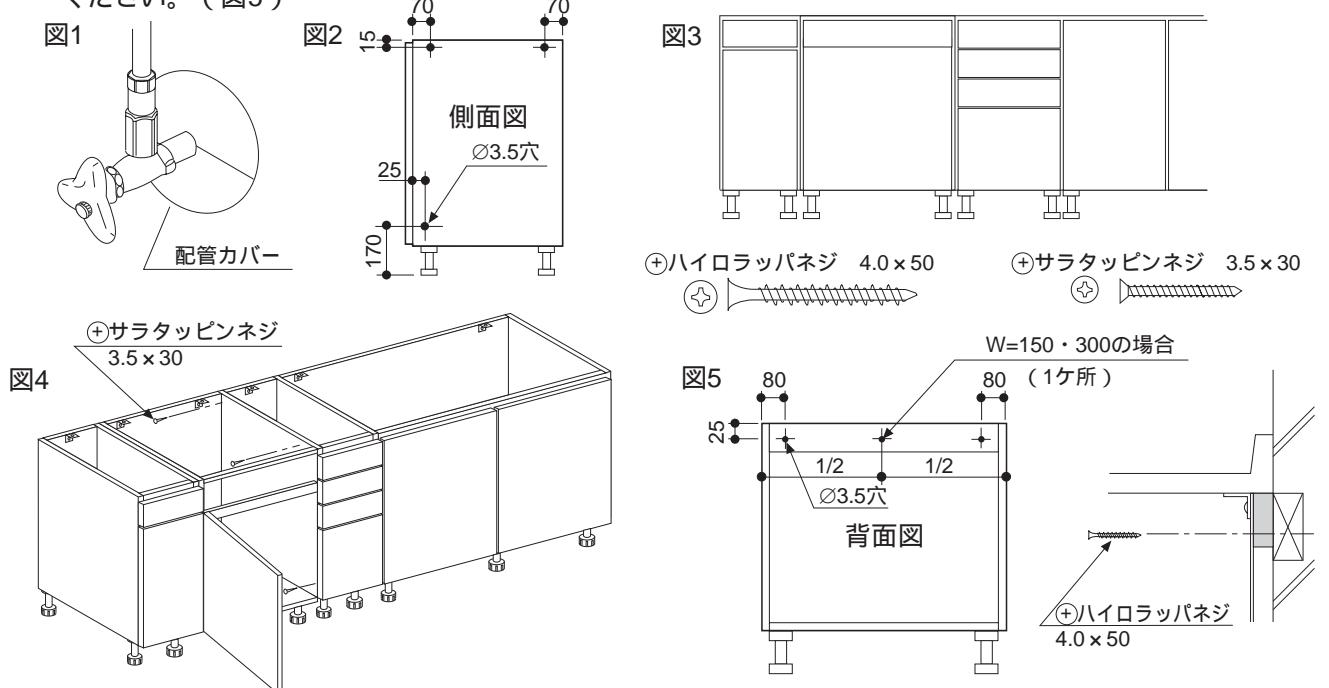


上下連結ネジ
 \oplus サラタッピンネジ
 3.5×30 下穴 $\varnothing 3.5$

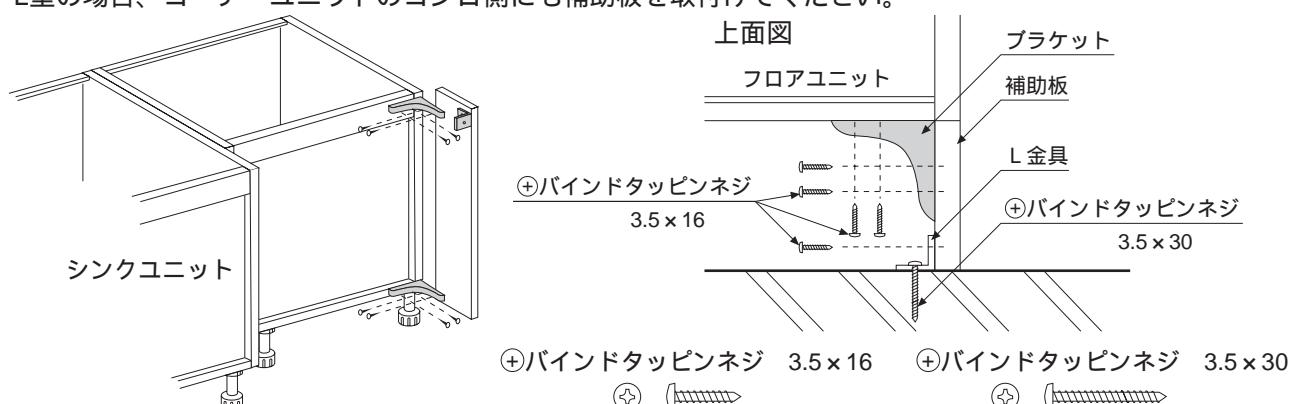


フロアユニットの取付け

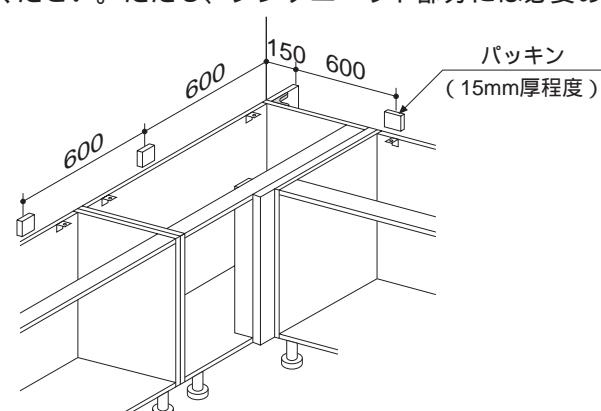
- ・底板にアジャスターを取付けてください。（P72参照）
 - ・シンクユニットは、給水・給湯管の取り出しを行い、止水栓取付け後、配管カバーの接着テープをはがして、配管と背板の隙間を塞ぐように貼り付けてください。（図1）
 - ・製品の組合せを確認して、片方の側板に連結穴（Ø3.5）をあけてください。（図2）
 - ・L型コーナーユニットの場合は、シンク側ユニットの側板に連結穴（Ø3.5）をあけてください。
 - ・製品の組合せを確認して壁側より、L型はコーナーよりユニットを並べてください。
(ユニットの水平はアジャスターで調整する。)（図3）
 - ・側板の連結穴より、④サラタッピンネジ3.5×30にて連結してください。（図4）
(L型コーナーユニットの場合は、シンク側のユニット内部より連結してください。)
 - ・フロアユニットの背板に下穴（Ø3.5）をあけ④ハイロラッパネジ4.0×50にて壁面に固定してください。（図5）



- ・奥行き750mmの製品を設置する場合、シンクユニット以外のフロアユニットは奥行きが555mmとなっているので下図のように、補助板・ブラケット・L金具を使用して取付けてください。
 - ・L型の場合、コーナーユニットのコンロ側にも補助板を取付けてください。



- ・奥行き750mmの人大ワークトップの場合、ユニット上面と同じ高さに15mm厚程度のパッキンを600mmピッチ以下で壁面に取付けてください。ただし、シンクユニット部分には必要ありません。



ワークトップの取付け

- ・図1のようにワークトップをフロアユニットに乗せてください。
- ・シンクユニットの前面はL金具がつけてありますので、図2のように下面より④サラタッピンネジ3.5×16にてワークトップに固定してください。
- ・その他のフロアユニットの前面は上桿の下穴Ø4より④サラタッピンネジ3.5×30にてワークトップに固定してください。
- ・後面は、L金具がつけてありますので、図2のように下面より④バインドタッピンネジ4.0×12にてワークトップに固定してください。
- ・人大ワークトップの場合は、端に位置する間口450mm以下のユニットのL金具と上桿より、図1に示す位置でワークトップに固定してください。

図 1

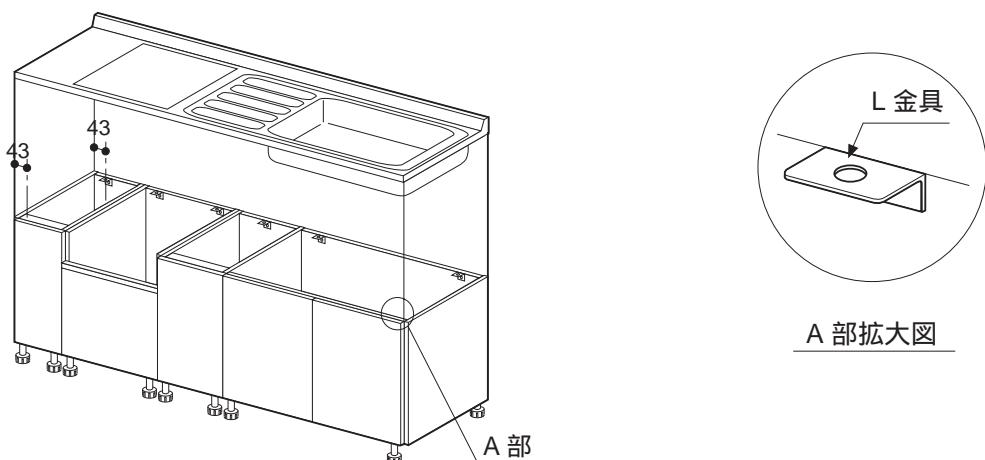
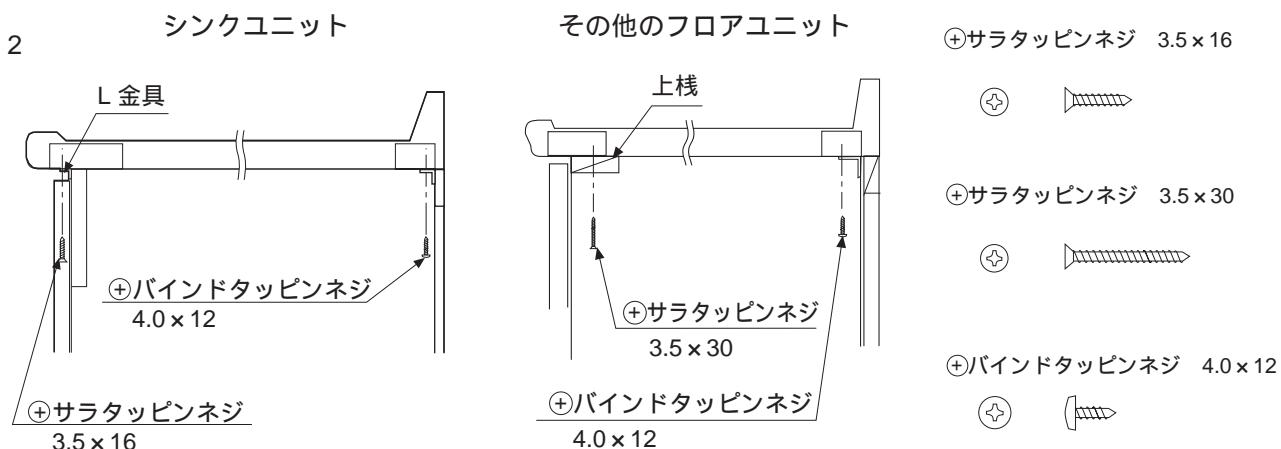


図 2



配管前の準備

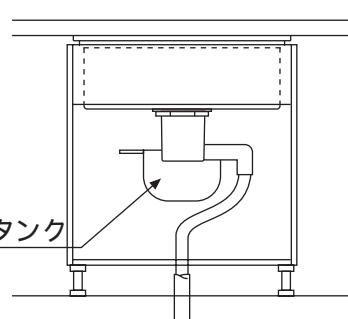
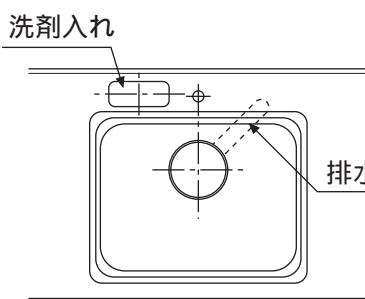
引出しシンクユニットの場合

シンクユニット横桟の取り外し

- ・排水管の配管を行う前に、作業しやすくするために、シンクユニットの横桿を外してください。
(下方からネジ止めしてあります。)



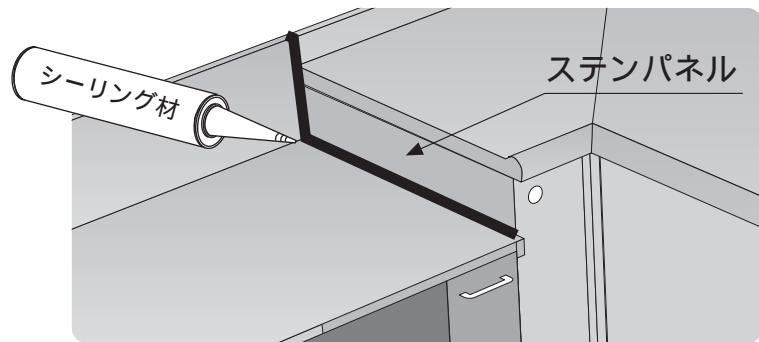
リカバリータンクの取付け



2 DS シンク用引出しシンクユニットにリカバリータンクを取付ける場合、リカバリータンクに当たらないように、排水用エルボを洗剤入れと逆の方向へ向けて取付けてください。

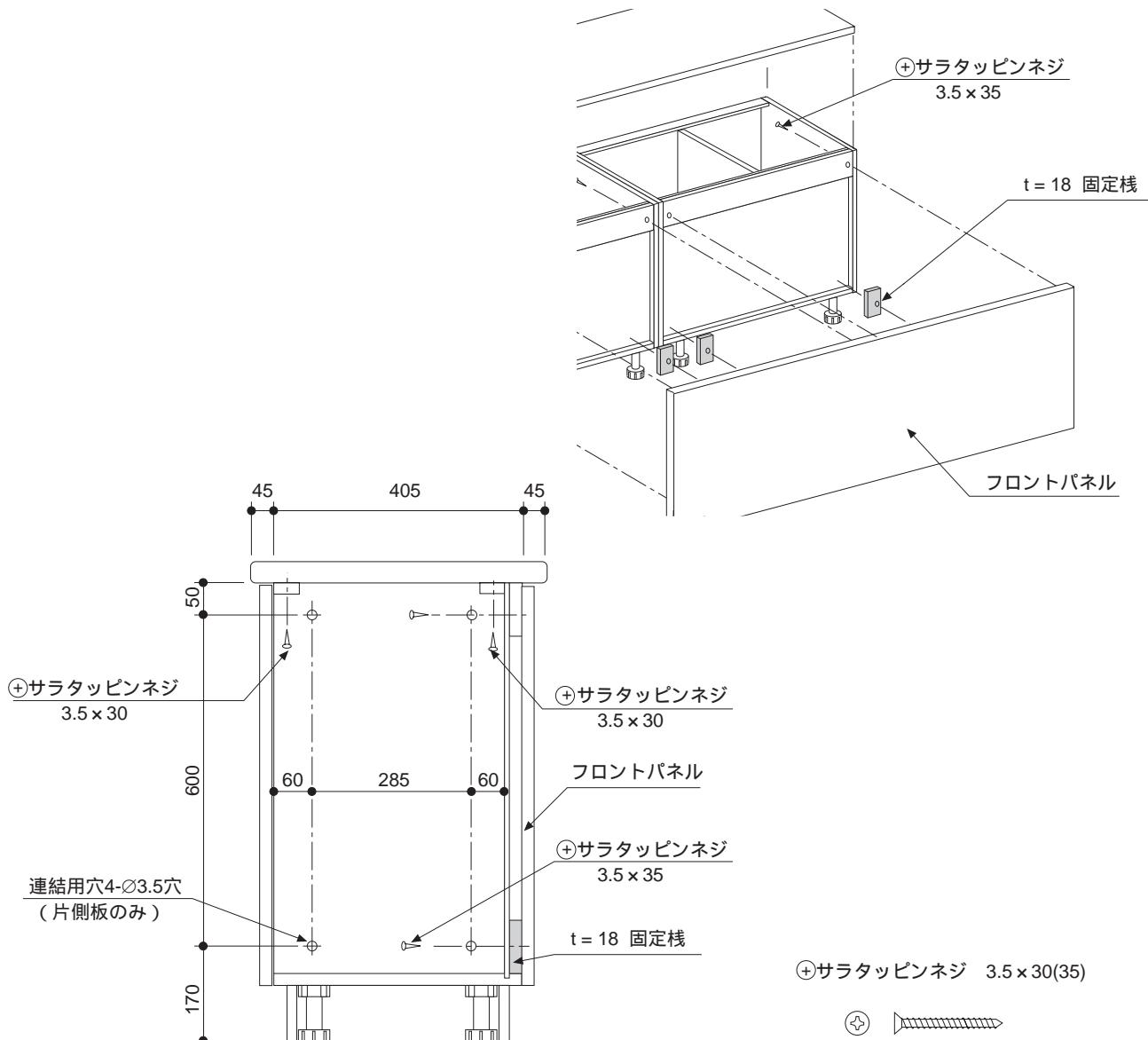
調理機器用トップの取付け

- ・ステンパネルの裏面にシリコンシーリング材を塗布し、フロアユニット側板に隙間のないように貼り付けます。
- ・調理機器用トップを、前記ステンレスワークトップと同様に取付けます。
- ・調理機器用トップとステンパネルの隙間を、シリコンシーリング材でシールします。



両面カウンターの取付け

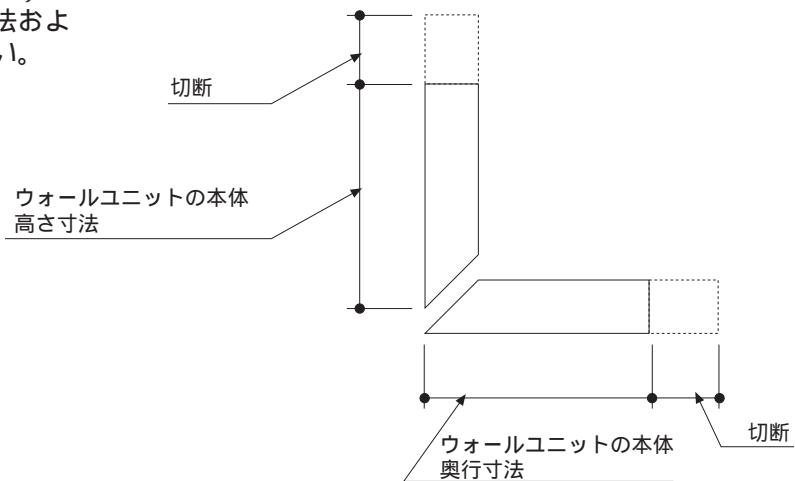
- ・ユニットの片方の側板に連結穴 ($\varnothing 3.5$) をあけ、 \oplus サラタッピンネジ 3.5×30 にて連結してください。
- ・フロントパネルに付属の固定棧をユニット背板の下側に仮止めします。
- ・フロントパネルをユニットに合わせ、ユニット内部の背板より \oplus サラタッピンネジ 3.5×35 にて固定してください。
- ・天板をユニットに乗せ（位置は図参照）、ユニット内部より \oplus サラタッピンネジ 3.5×30 にて固定してください。



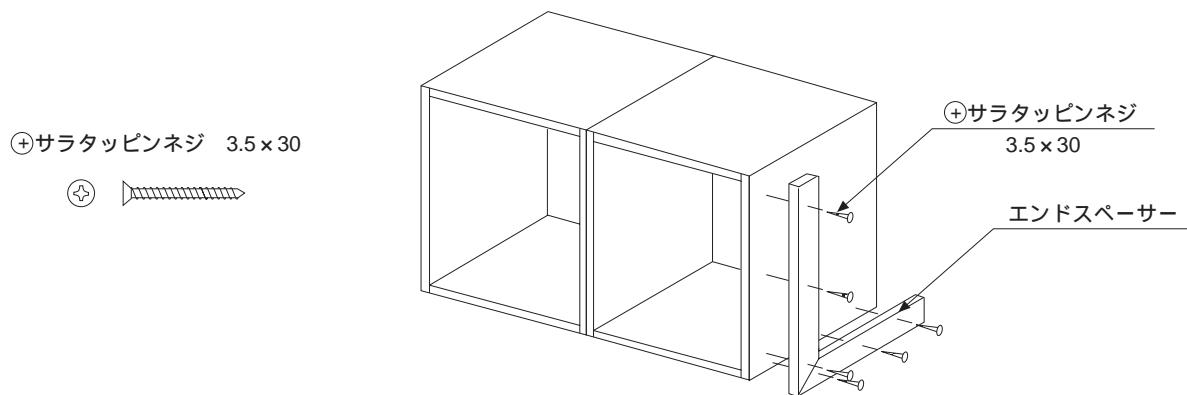
エンドスペーサーの取付け

ウォールユニット用

- ・エンドスペーサー部材 (L = 900) をウォールユニットの本体高さ寸法および奥行寸法にカットしてください。

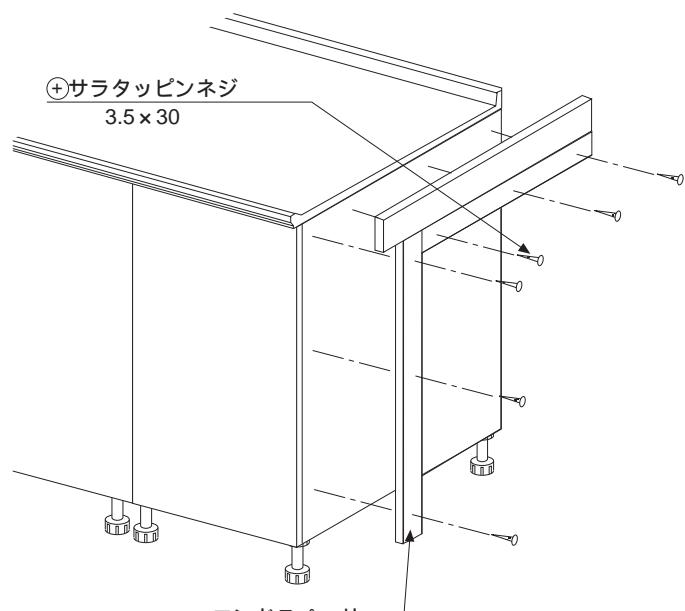


- ・ユニットにエンドスペーサーを④サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。

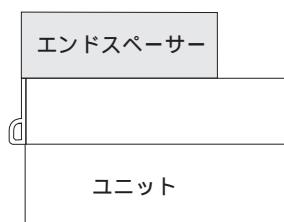


フロアユニット用

- ・フロアユニットにエンドスペーサーを④サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。
- ・人工大理石ワークトップの場合は、取付け後トップとの隙間をシリコンシーリング材（クリアーア）でシールしてください。



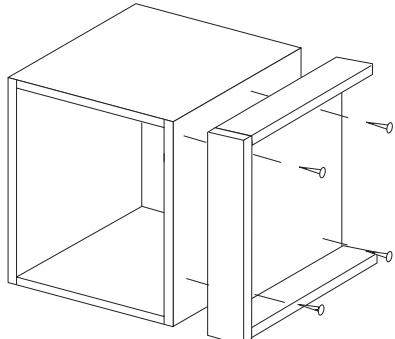
- ・エンドスペーサーはウォール用、フロア用共に側板の前面に合わせて取付けます。



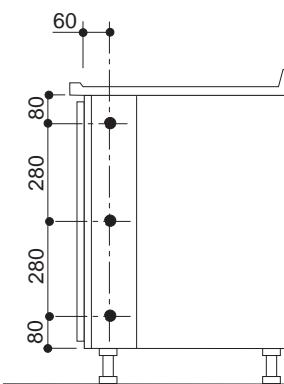
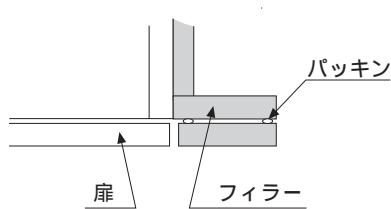
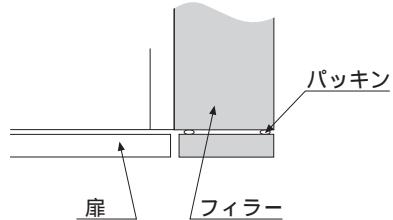
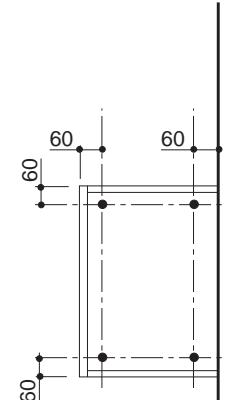
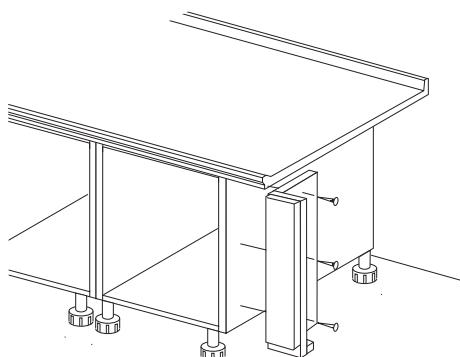
フィラーの取付け

- ・フィラーを取付ける場合は、 \oplus サラタッピンネジ3.5×30を使用し、指定の位置で固定してください。
- ・フィラーは、本体木口面に合わせて取付けます。

ウォールユニット用



フロアユニット用



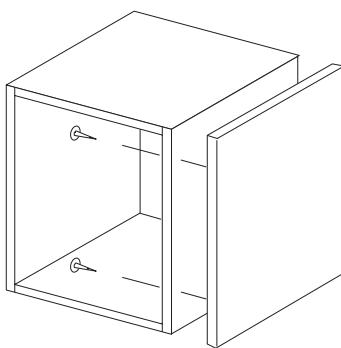
\oplus サラタッピンネジ 3.5×30



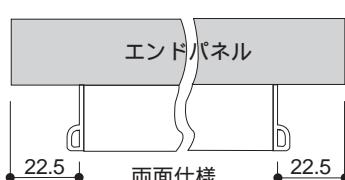
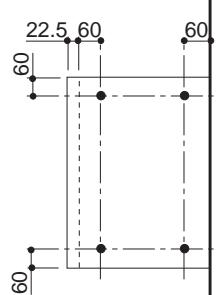
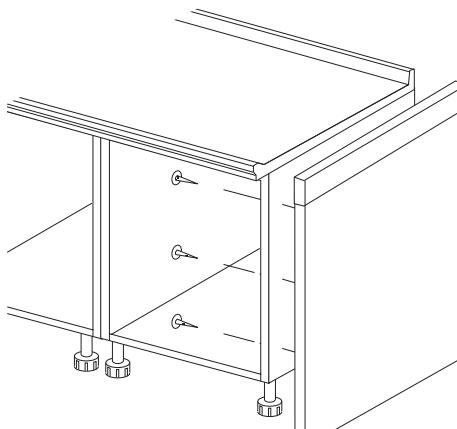
エンドパネルの取付け

- ・エンドパネルを取付ける場合は、 \oplus サラタッピンネジ 3.5×30を使用し、指定の位置で固定してください。
- ・エンドパネルは側板より22.5mmのちりを設けて取付けます。

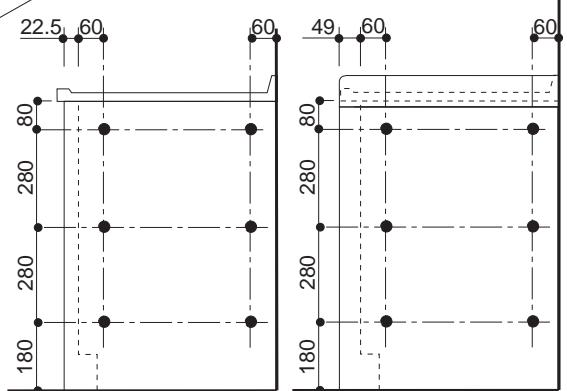
ウォールユニット用



フロアユニット用



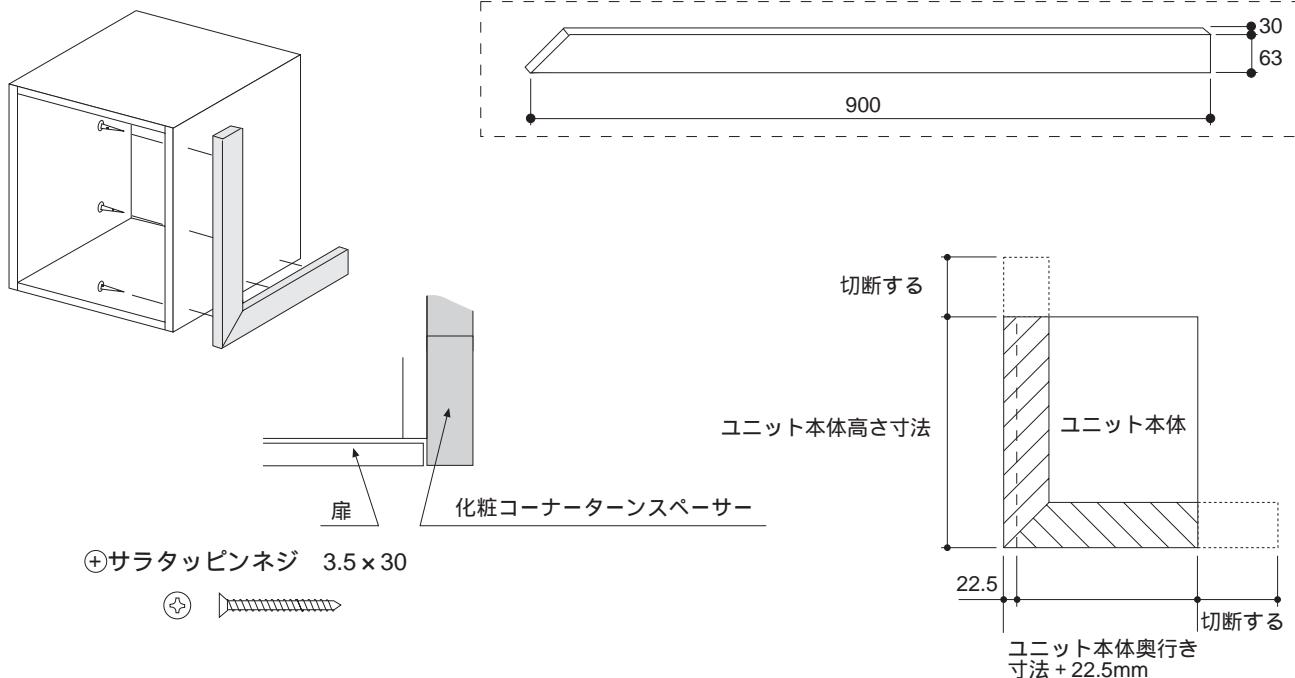
\oplus サラタッピンネジ 3.5×30



コーナーターンスペーサーの取付け

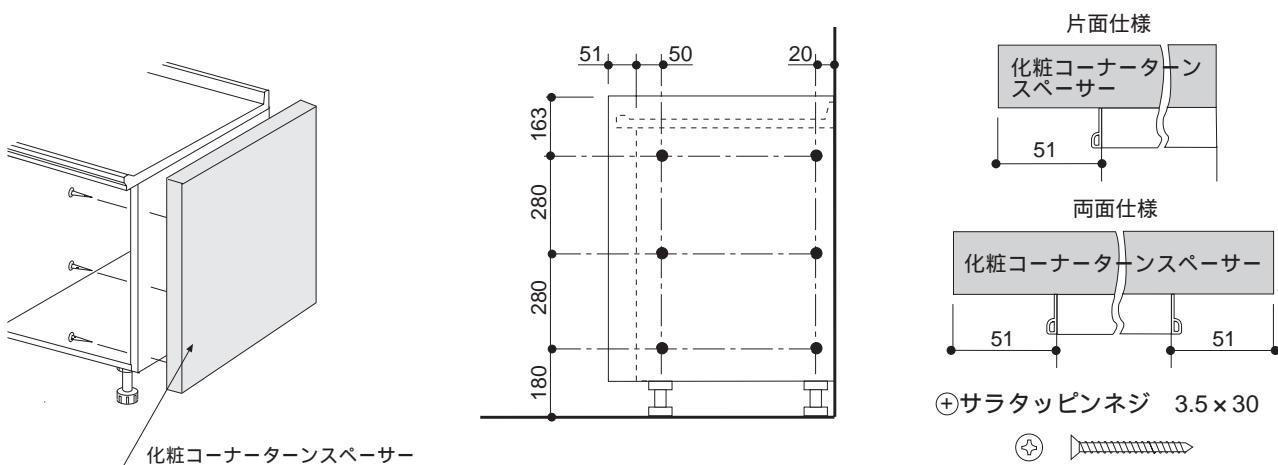
ウォールユニット用

- ・高さ方向に使用する部材寸法は「ユニットの本体高さ寸法」に切削してください。
- ・奥行方向に使用する部材寸法は「ユニットの本体奥行寸法 + 22.5mm」に切削してください。
- ・下記のように部材2本を加工した後、ユニットに取付けてください。



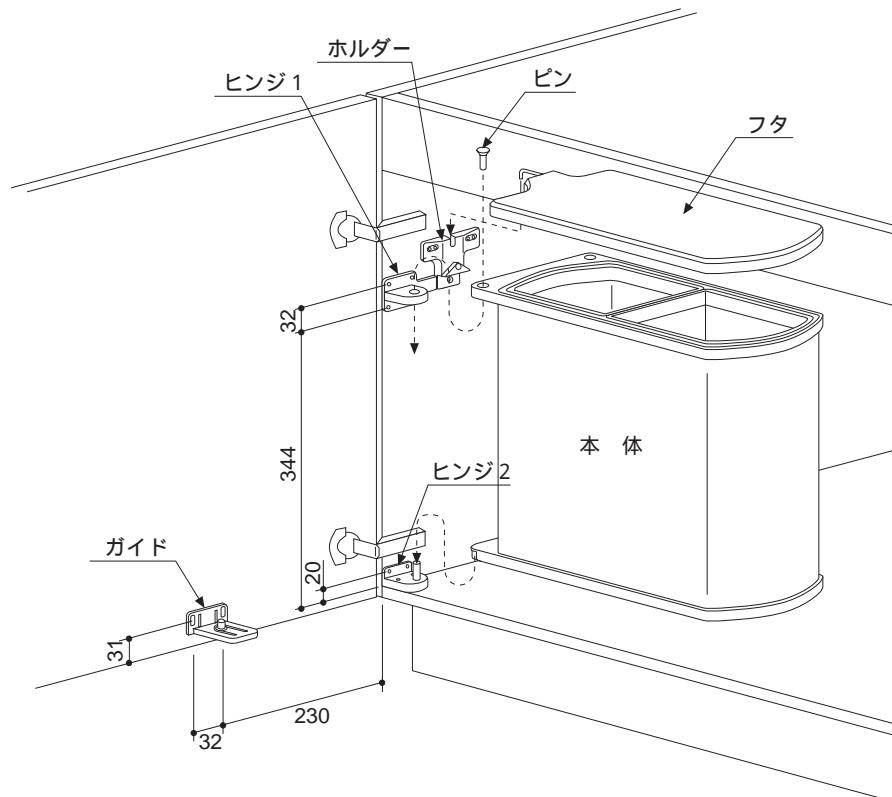
フロアユニット用

- ・下図に従ってコーナーターンスペーサーをユニットに取付けてください。



ダストカンの取付け

- ・図の位置にヒンジ1・ヒンジ2を取付けます。
- ・図の位置にガイドを取付けます。
- ・図の位置にホルダーを取付け、フタを差し込み抜け止めのネジで固定します。
- ・本体をヒンジ2へ乗せながらガイドに付いているピンを本体底の溝に入れ、ヒンジ1へピンを差し込みます。



調理機器パックパネルの取付け

- ・調理機器パックパネル下地を図1の位置に④サラタッピンネジ 3.5×35で固定してください。
- ・次に固定した調理機器パックパネル下地の上にシリコンまたは弾性接着剤を全面に塗布してください。
- ・図2のようにパックパネルを、下地の上から落とし込むようにして取付けてください。

接着剤は別売りです。

必要と思われる場合は別途御注文ください。

図1

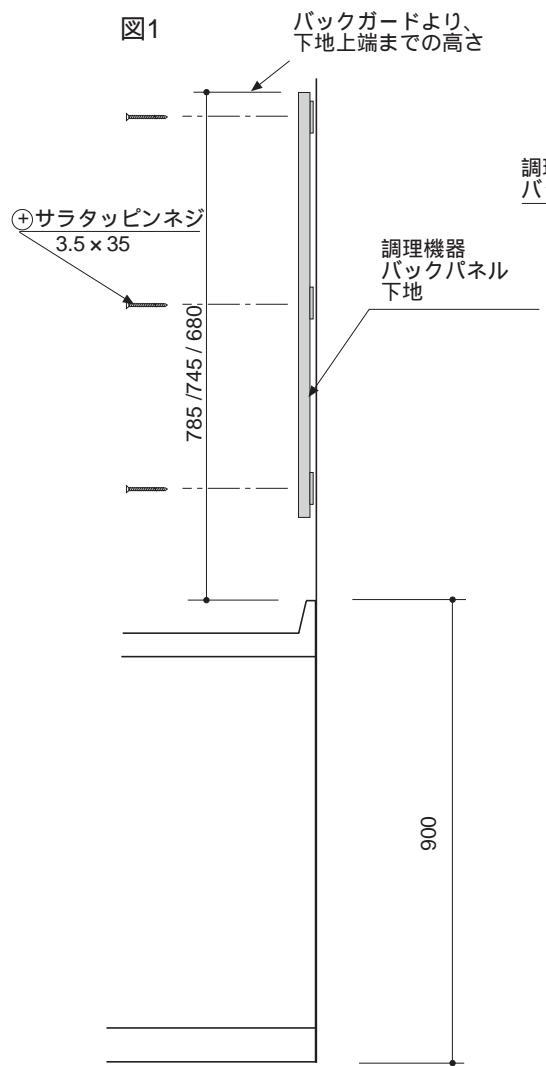
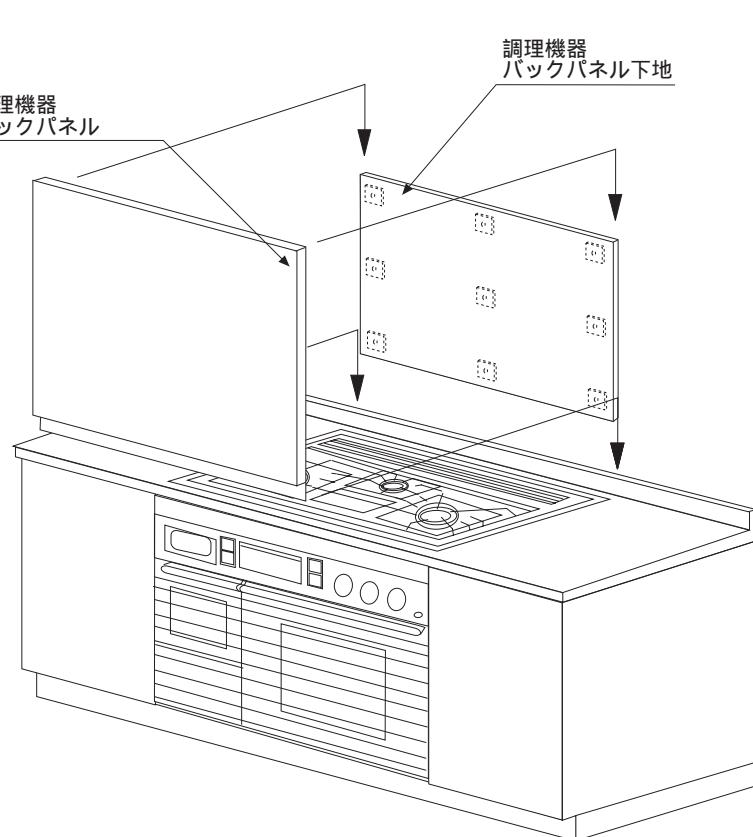
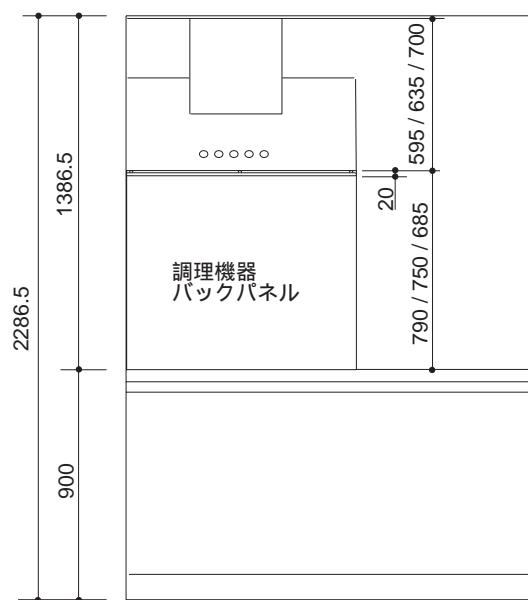


図2



④サラタッピンネジ 3.5×35



パイプラックパートの取付け

- ・図2の位置に付属取付金具を付属ネジで取付けます。
- ・ブラケットにパイプを通して付属取付金具に差し込みます。
- ・ブラケットの下から六角レンチでパイプを固定します。
- ・パイプの両端にエンドキャップを取付けます。

図1

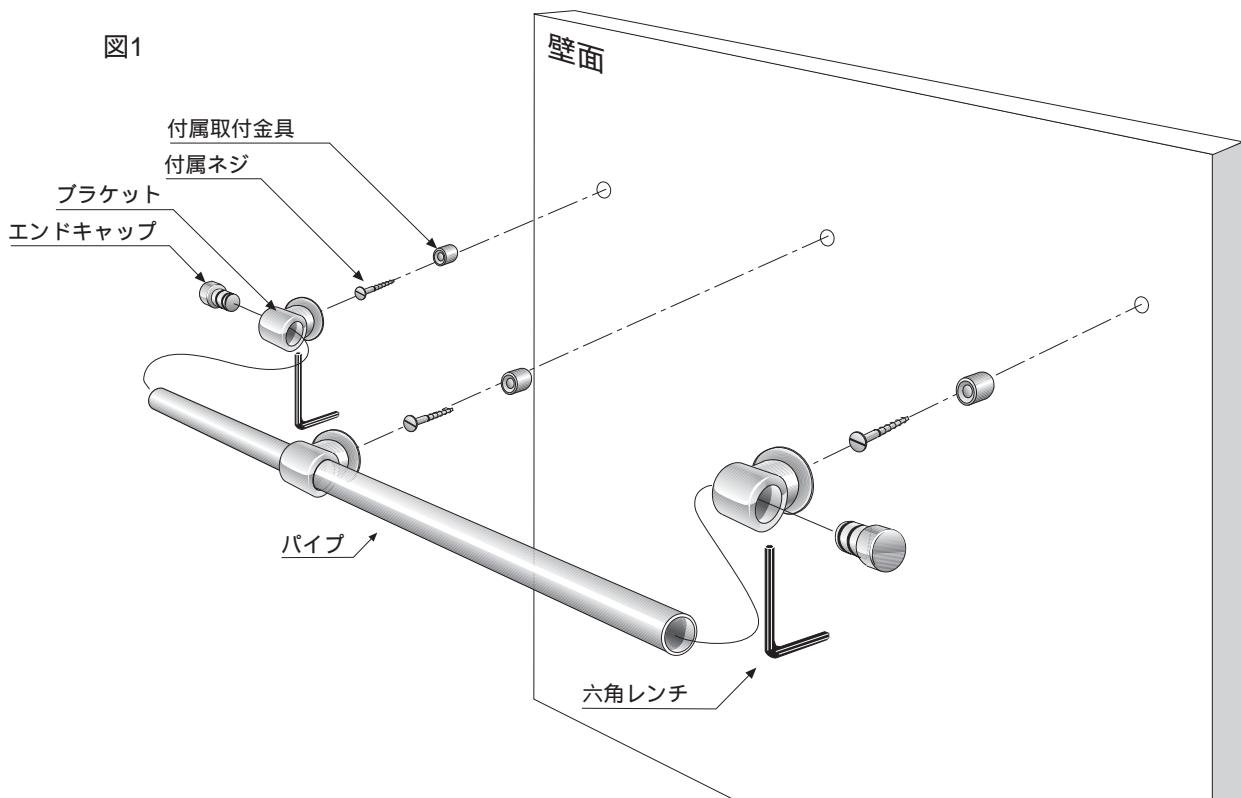
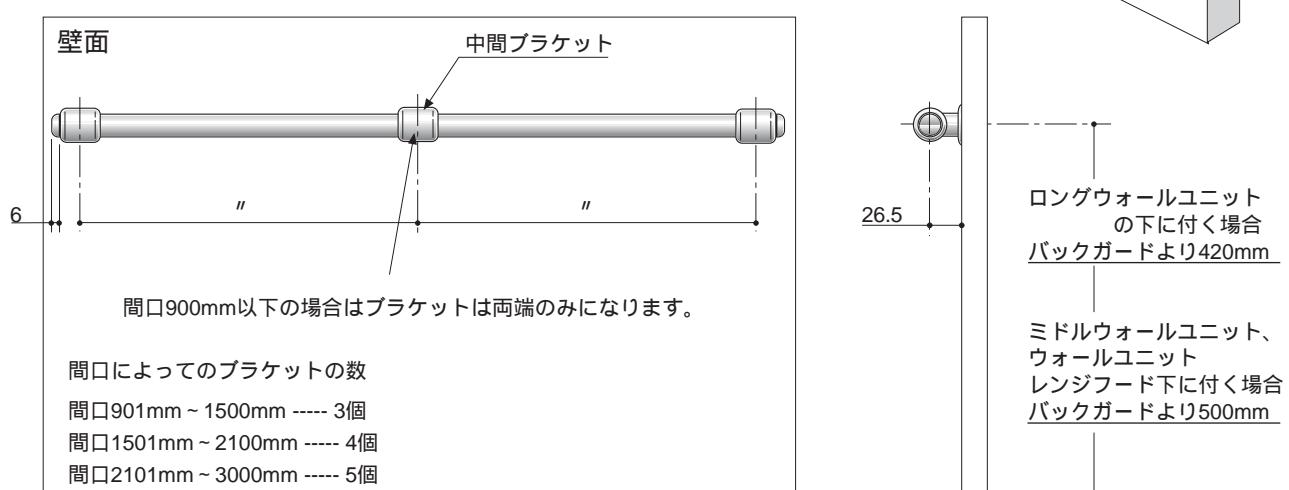


図2

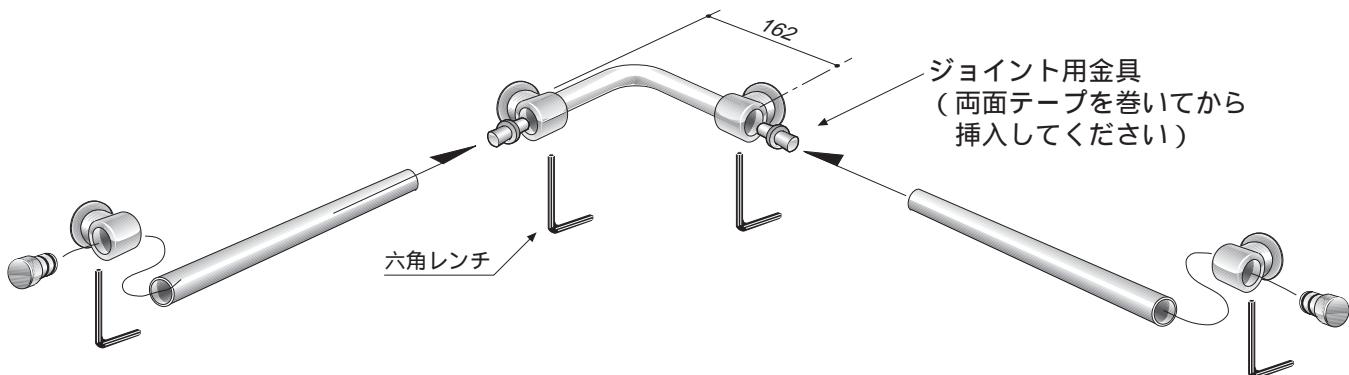


注意 !!

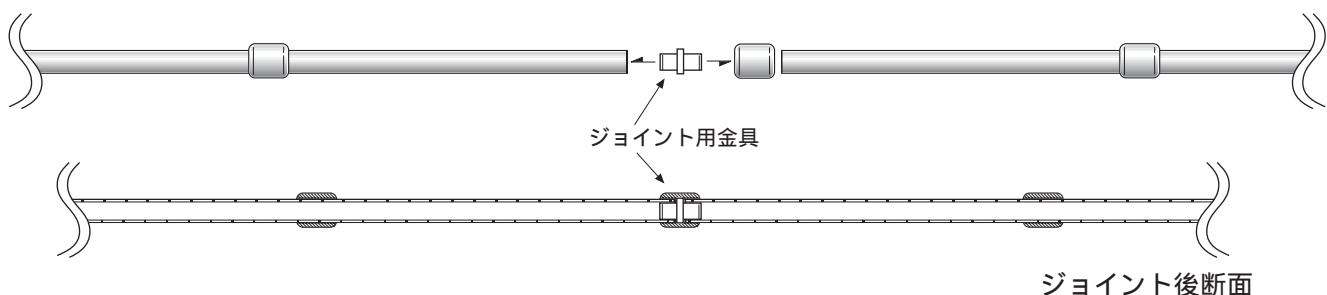
中間ブラケットの位置は基本的に均等割ですが、間口によっては均等割にすると使用できないラックが出てきますので、選んだラックの種類により中間ブラケットの位置を考慮してください。
またブラケット間最大寸法は900mmまでです。

パイプラックパーツの取付け【コーナー用】

コーナー用パイプの取付け



- ・イモネジを六角レンチで締めコーナー用パイプを固定します。
(コーナー用パイプにつながる側の直線パイプの固定はジョイント用金具に差し込むだけです。)
- ・コーナー用パイプと直線パイプをつなぎブラケットを通してます。そして壁面に固定した付属取付金具にブラケットを固定した後、パイプとブラケットの固定をすると施工が簡単です。
- ・パイプとパイプをジョイントする（直線パイプの延長）



ウォールラック用フックの取付け

- ・図1のように付属のサイドキャップ（R・L）をアルミフックラインに差し込んで固定してください。
- ・図1のようにウォールユニットの下に左右振り分けて、アルミフックラインを付属ネジで図2のようにウォールユニットの底板最後部分に取付けてください。（壁にメラミン壁面収納パネルが付く場合は、アルミフックラインを7mm以上離してください。）
- ・照明カバーが付く時は、図3のようにアルミフックラインの両サイドに2mmのスペースがあけてありますので、アルミフックラインのサイドキャップの上に照明カバーを取付けてください。

図1

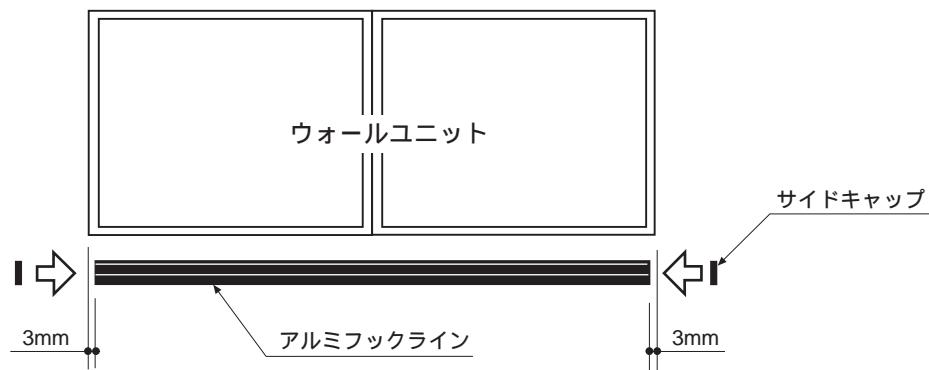


図2

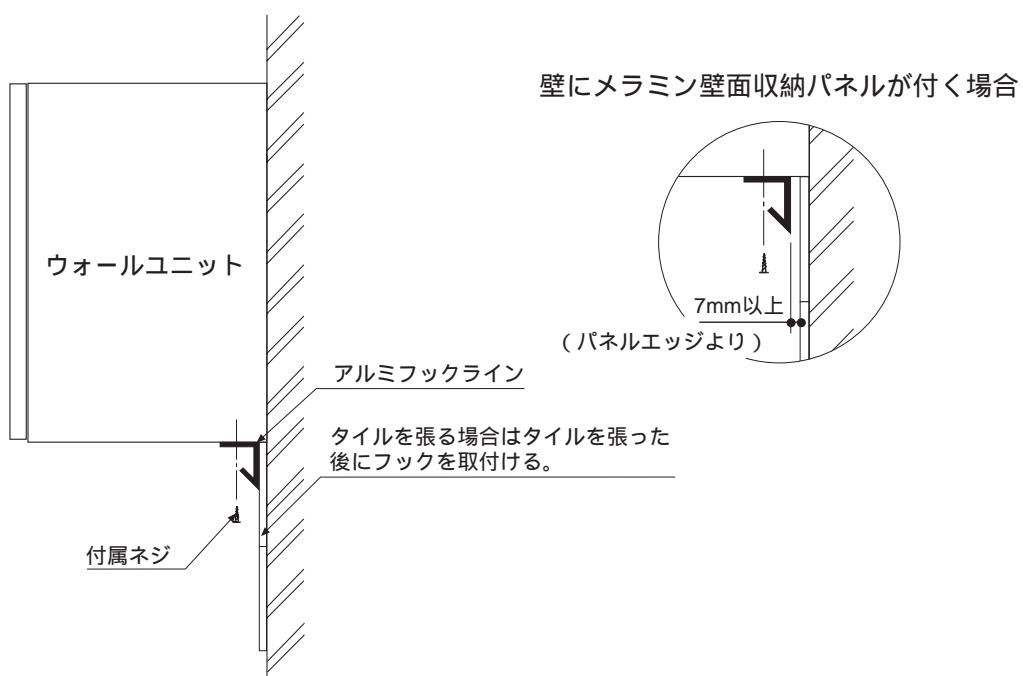
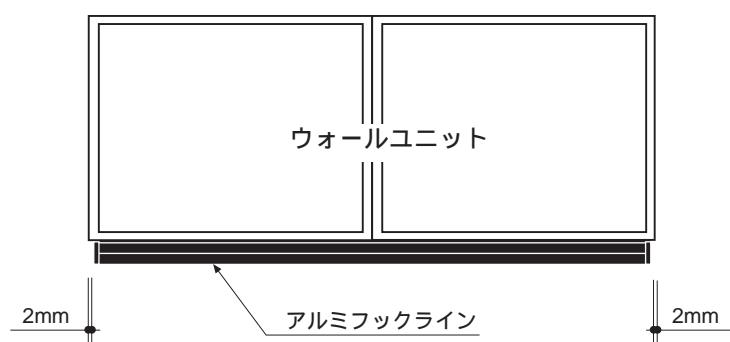


図3



照明器具・照明カバー【アルミ製】の取付け



電気工事は、関連する法令・規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電の原因になることがあります。

壁付け用の場合

- 図1のようにウォールユニットの下に照明カバーを、付属ネジ+トラスタッピンネジ3.5×12で図2の位置（底板前づら）に取付けてください。
- 照明サイドカバーを+トラスタッピンネジ3.5×12で取付けてください。照明サイドカバーはウォールユニットの奥行に合わせて片方をカットして使用してください。
- 図2のように照明器具を付属ネジで照明カバーの後ろに取付けてください。
- 壁面より電源を取った場合、ウォールユニットの下はコードカバーによってコードをカバーしてください。
- 図3のように2本の照明器具を連結する場合は延長コードによって連結してください。
- 図4、図5のようにウォールユニットが段になっている場合は、延長コードによって連結してコードをコードカバーで保護してください。

図1

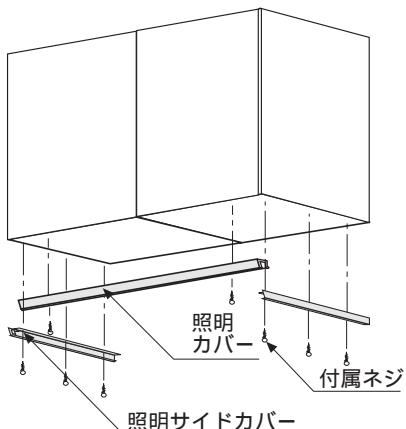


図2

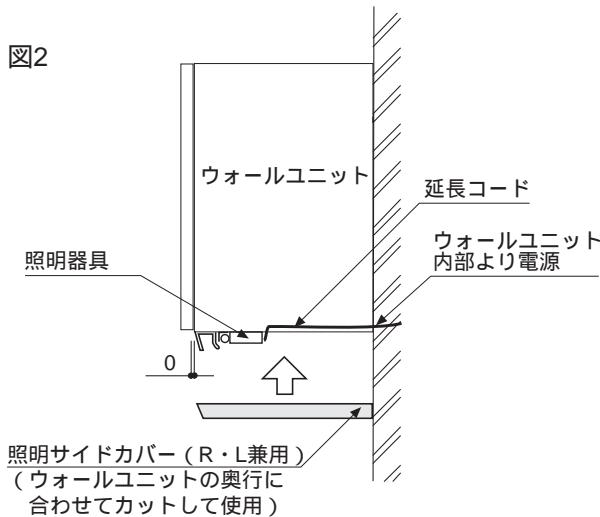


図3

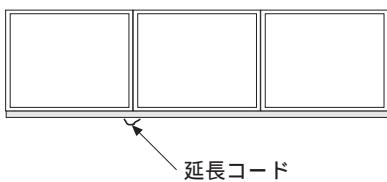


図4

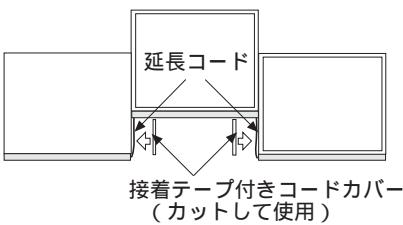
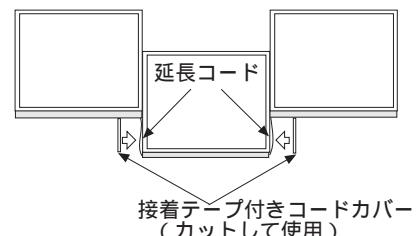


図5



両面用の場合

- 両面用ウォールユニットの場合は、ウォールユニットの両側に照明カバーを取付けてください。
- 照明器具は図6のように片面用の時と対称に取付けてください。

④トラスタッピンネジ 3.5×12

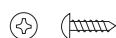
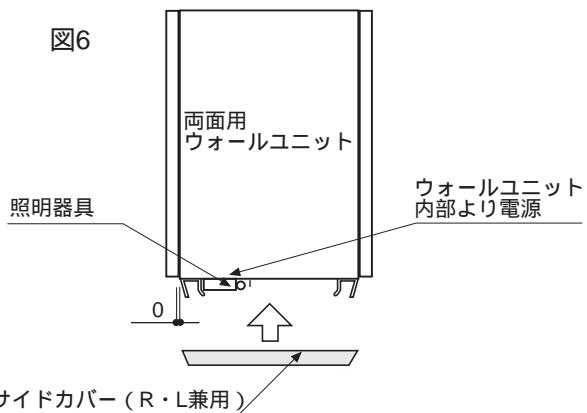
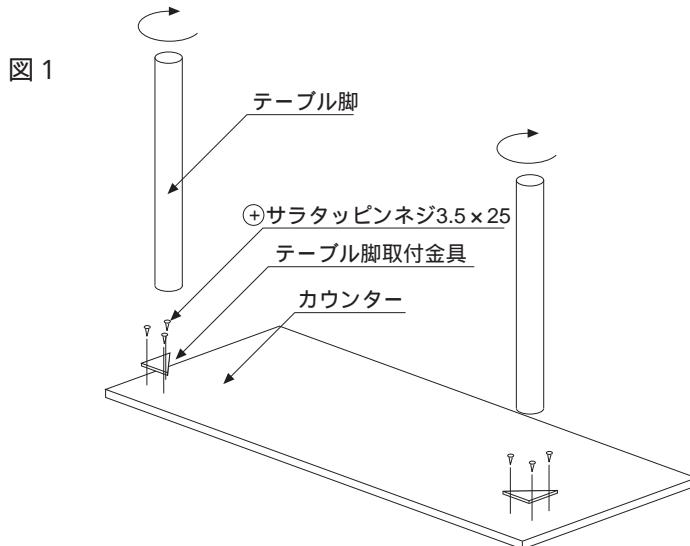


図6



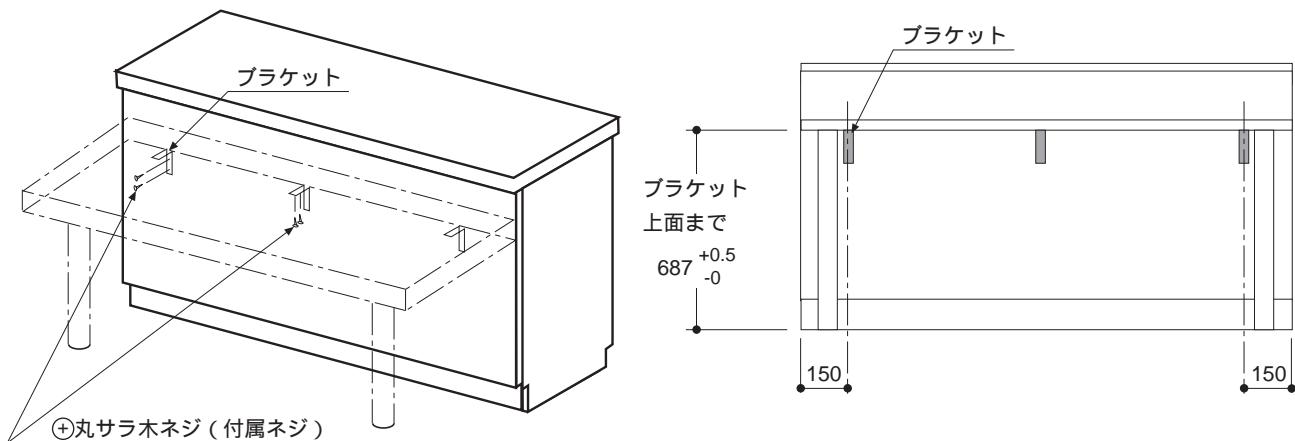
カウンターの取付け

- 図1のようにカウンター裏面にテーブル脚取付金具を指定の位置に④サラタッピンネジ3.5×25で固定し、テーブル脚を回してネジ込んでください。



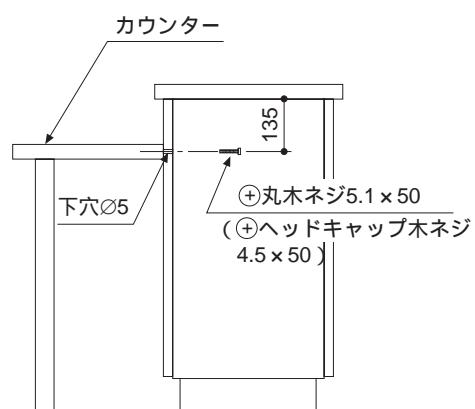
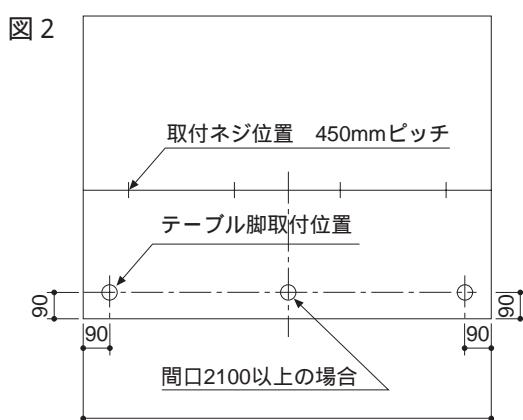
[プラケットを使用する場合]

- プラケットの長い方を縦にして、付属ネジでフロントパネルに固定してください。
- カウンター脚を取付けたカウンターをプラケットに乗せ、アジャスター調整で高さを決め、プラケットより付属ネジにて固定してください。



[直接固定する場合]

- 図2の位置にØ5の下穴を取付ネジの数だけ開けてください。
- カウンターユニット内部より④丸木ネジ5.1×50でカウンター木口に固定してください。
(④ヘッドキャップ木ネジ4.5×50)



人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】天板の取付け

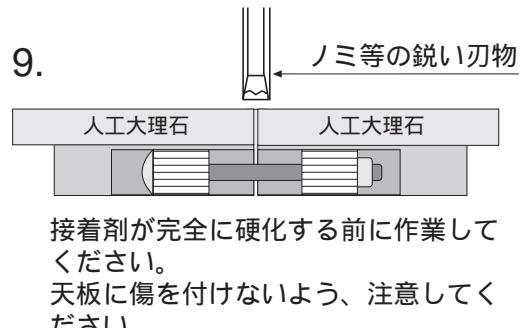
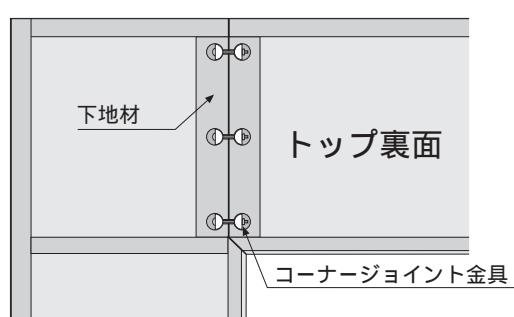
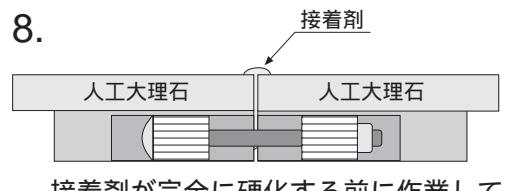
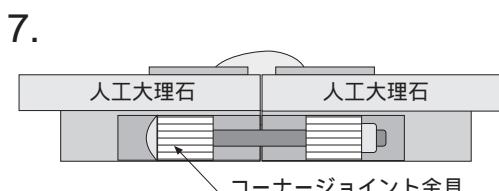
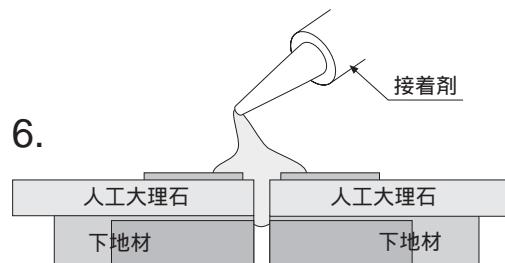
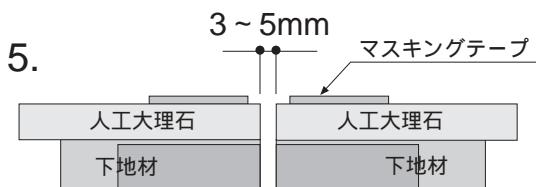
L型天板の連結

1. フロアユニットを据付けてレベルの確認をします。
2. 天板をセットして、L型の片側をフロアユニットに取付けます。（固定側とする）
3. もう片側の天板をフロアユニットの上にのせます。（この時には固定しません）
4. すり合わせを行い、2つの天板の段差がなくなるよう、調整してください。

4. 段差が出ないよう、調整を行ってください



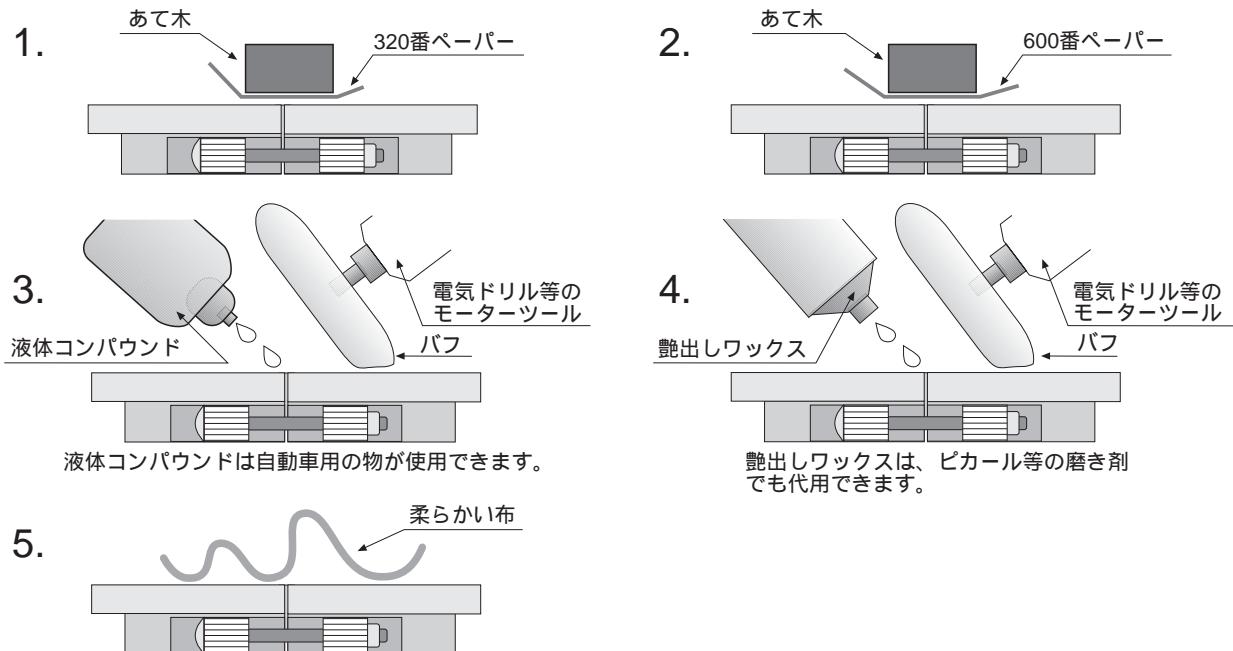
5. イソプロピルアルコール（イソプロパノール）または水を使用して、接着部を掃除、脱脂し、十分に乾燥させてください。シンナー・ベンジンは接着力が低下しますので使用しないでください。天板上面に、マスキングテープを貼り付けます。
6. 天板の間に3~5mmほどの隙間を開けておき、接着剤（別売品）を流し込みます。
7. コーナージョイント金具を締め込み、天板どうしを固定します。接着剤が全て押し出されてしまうような過多のクランプ圧力をかけないでください。（奥行き600トップ3ヶ所、奥行き750トップ4ヶ所）（奥行き750トップの場合、人大トップ奥のジョイント金具は、コーナーユニットを後ろへずらして固定します。）
8. 接着剤が完全に硬化する前に、マスキングテープを取り除きます。（5~15分で硬化が始まります。）
9. 接着剤が完全に硬化する前に、ノミ等の鋭い刃物ではみ出した接着剤を削り取ります。（天板に傷を付けないよう、注意してください。）
10. 固定していなかった天板をユニットに固定します。



人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】接合部の仕上げおよび補修方法

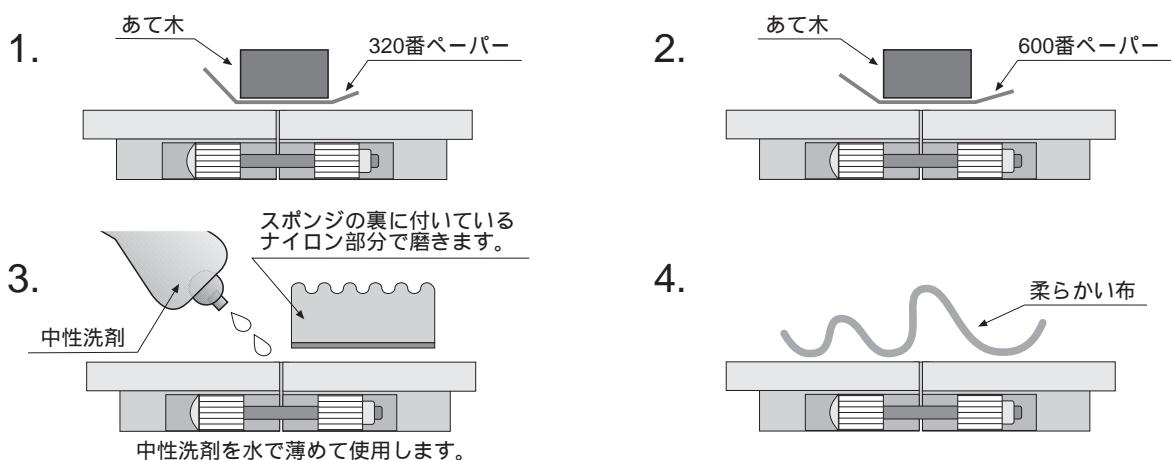
・アクアストーンの場合【鏡面仕上げ】

- ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
- 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
- 市販の研磨材入り液体コンパウンドを使用し、バフをかけてください。
- 市販の艶出し用ワックスを使用し、バフをかけます。
- 最後に、きれいな柔らかい布でから拭きして、ワックスを拭き取ります。



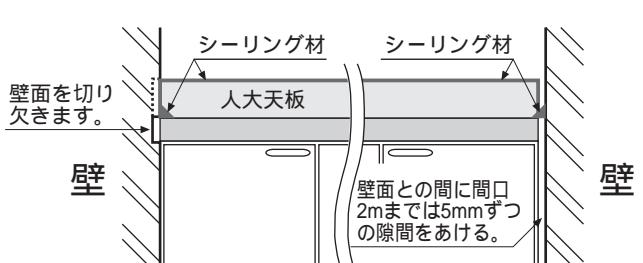
・カームストーンの場合【艶消し仕上げ】

- ジョイント部分を320番ペーパーでサンディングします。【あて木を使用するときれいに仕上がります】
- 次に600番ペーパーでサンディングします。
【ジョイント部分の段さ・傷が小さな場合は600番ペーパーのサンディングから始めてください】
- スコッチブライトに中性洗剤をつけて磨きます。
【食器洗い用のスポンジの裏に付いている、ナイロン部分も使用できます】
- 最後に、きれいな柔らかい布でから拭きしてください。



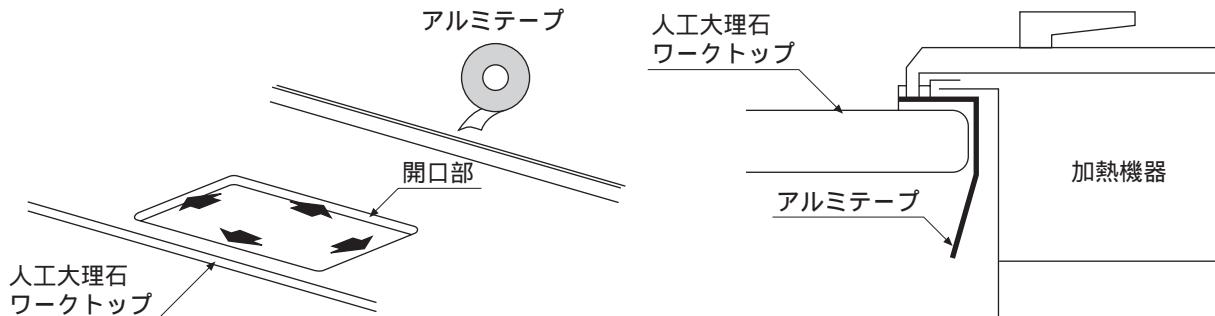
人工大理石【アクアストーン】【カームストーン】の施工上の注意

人工大理石は熱により膨張します。壁と壁の間に設置する場合は、必ず両側に間口2mまでは5mmずつの逃げ、以後1mごとに+3mmずつの逃げを設けてください。壁面の加工が不可能な場合は、ユニットと壁面の間に間口2mまでは5mmずつの隙間、以後1mごとに+3mmずつの隙間をあけて、天板を逃がすようなレイアウトにしてください。人大天板と壁との隙間の全周をシーリング材等で仕上げてください。



加熱機器設置前の準備（人工大理石ワークトップの場合）

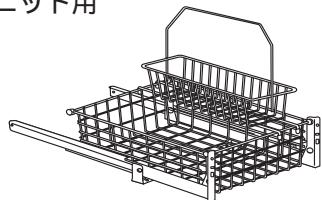
- ・人大ワークトップの場合、加熱機器を設置する前に開口部全周に付属のアルミテープを貼ります。アルミテープは加熱機器からはみ出ない程度に人大ワークトップの上面に貼り、下側は少し折り曲げてください。アルミテープを貼らないで加熱機器を設置すると、開口部からヒビや割れが発生する恐れがあります。加熱機器は開口部の中心に設置し、人大ワークトップに接触させないでください。



オプションパーツの取付け位置

- ・下図の内装パーツを取付ける場合は、スライドレールを底板に固定します。
指定の位置にスライドレールを取付けてください。

シンクユニット用



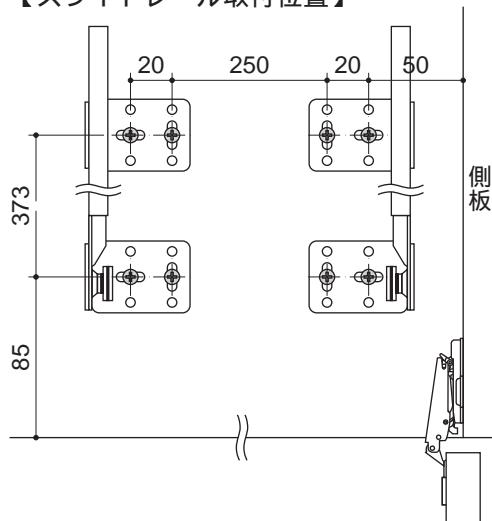
スライドボトルラック

FOP-BT3345 (335 × 460 × 450)

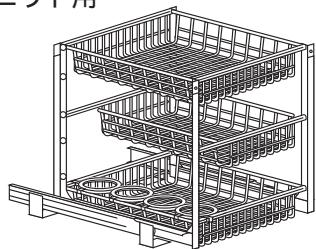
④サラタッピンネジ 3.5 × 16



【スライドレール取付位置】



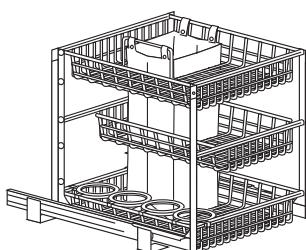
フロアユニット用



スライドバスケット3段
(ピン立て付)

VOP-SK3050C1 (235 × 460 × 498)

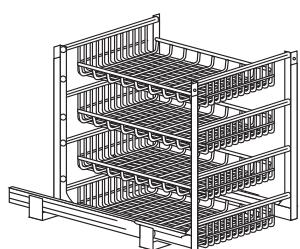
VOP-SK4550C1 (385 × 460 × 498)



スライドバスケット3段
(ピン立て・フクロ付)

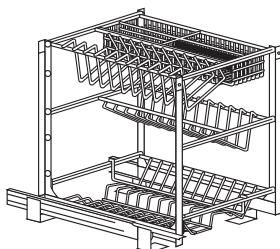
VOP-SK3050C3 (235 × 460 × 498)

VOP-SK4550C3 (385 × 460 × 498)



スライドバスケット4段

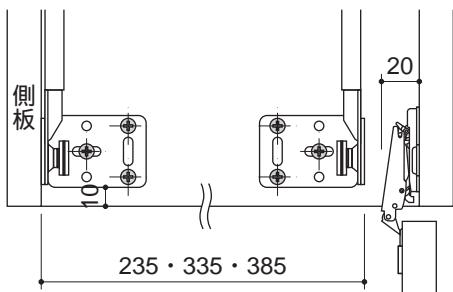
VOP-SK4550D4 (335 × 460 × 498)



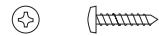
スライドバスケット3段
(皿立て)

VOP-SK4550C2 (335 × 460 × 498)

【スライドレール取付位置】



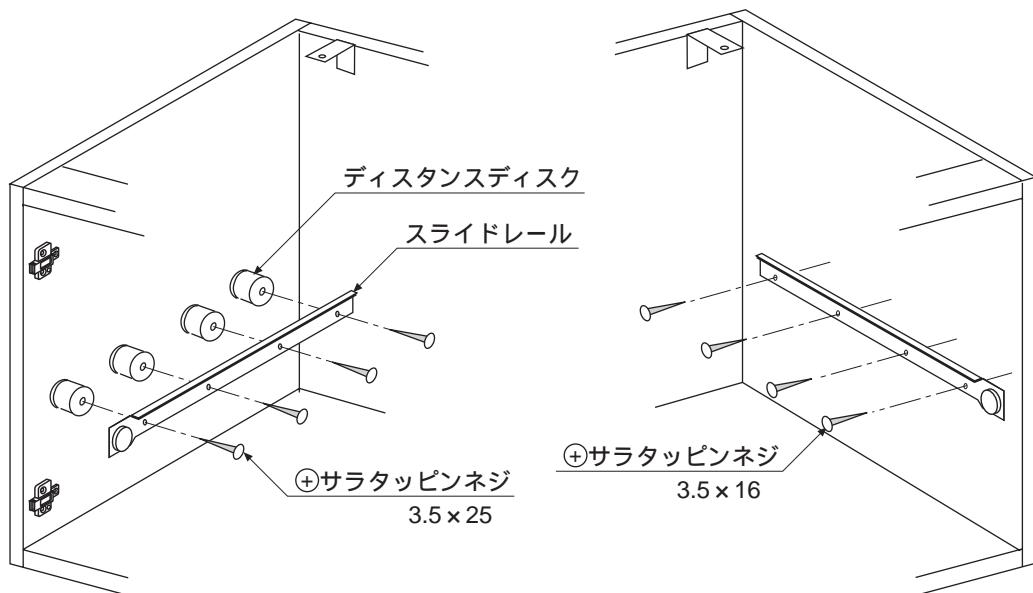
④バインドタッピンネジ 3.5×16



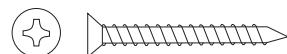
丁番がある場合は、丁番に当たらないように側板より離して取付けてください。

スライド棚の取付け

- スライドレールを指定位置に、丁番がついている側板には、側板とレールの間にディスタンスディスクをはさみ、④サラタッピンネジ3.5×25を使用し取付ける。丁番なしの側板には、④サラタッピンネジ3.5×16を使用し取付ける。



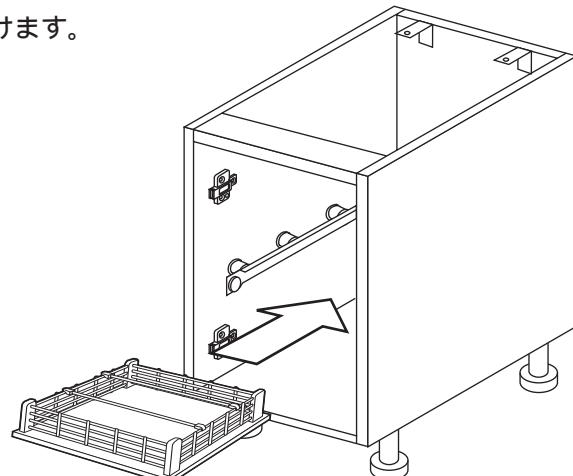
④サラタッピンネジ 3.5×25



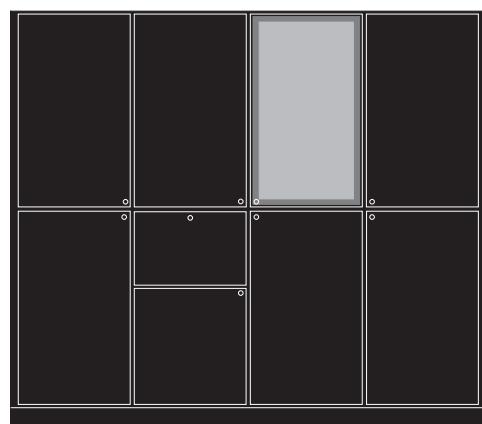
④サラタッピンネジ 3.5×16



- スライド棚を取付けます。



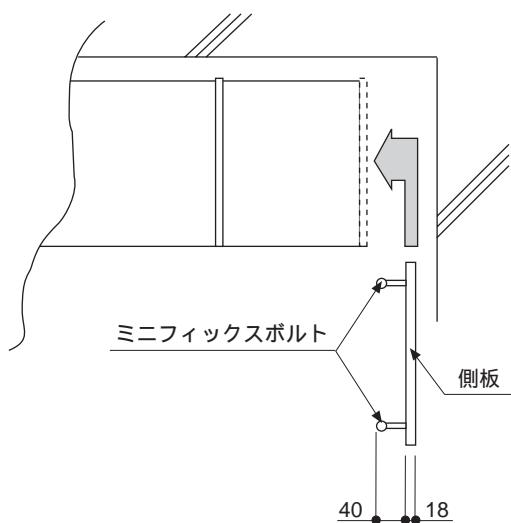
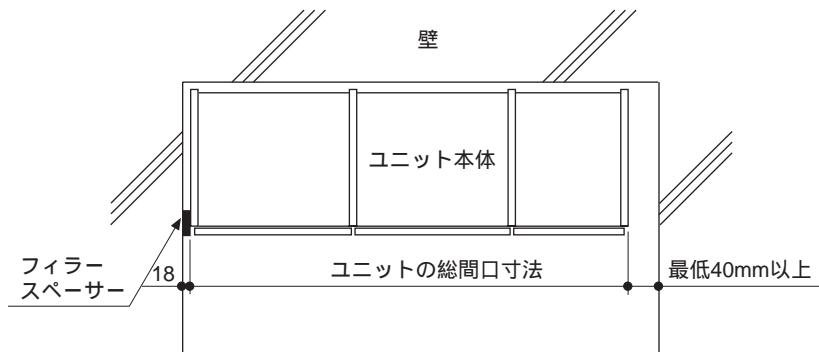
【収納パーツの据付工事】



据付けスペースの確認・付属工具

間口方向の納まり

- ユニット据付けに必要な間口スペースは、据付けしようとするユニットの総間口寸法（化粧パネル等を含む）より最低40mm以上の寸法が必要です。



- 側板には、天板・底板と連結するためのミニフィックスボルトを取付けますので、ミニフィックスボルトの長さ分だけのクリアランス（40mm以上）が必要です。

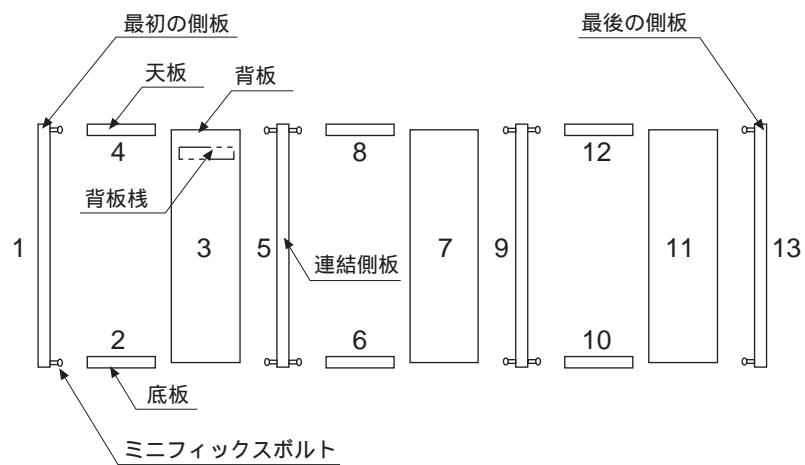
付属工具

- ユニット組立てに必要な工具として下記の物が付属されています。
組始める前に確認してください。

名 称	六 角 ド ラ イ バ ー
姿 図	
使用用途	4mm用六角 1本 底板、天板の連結金具（ミニフィックス）の連結用

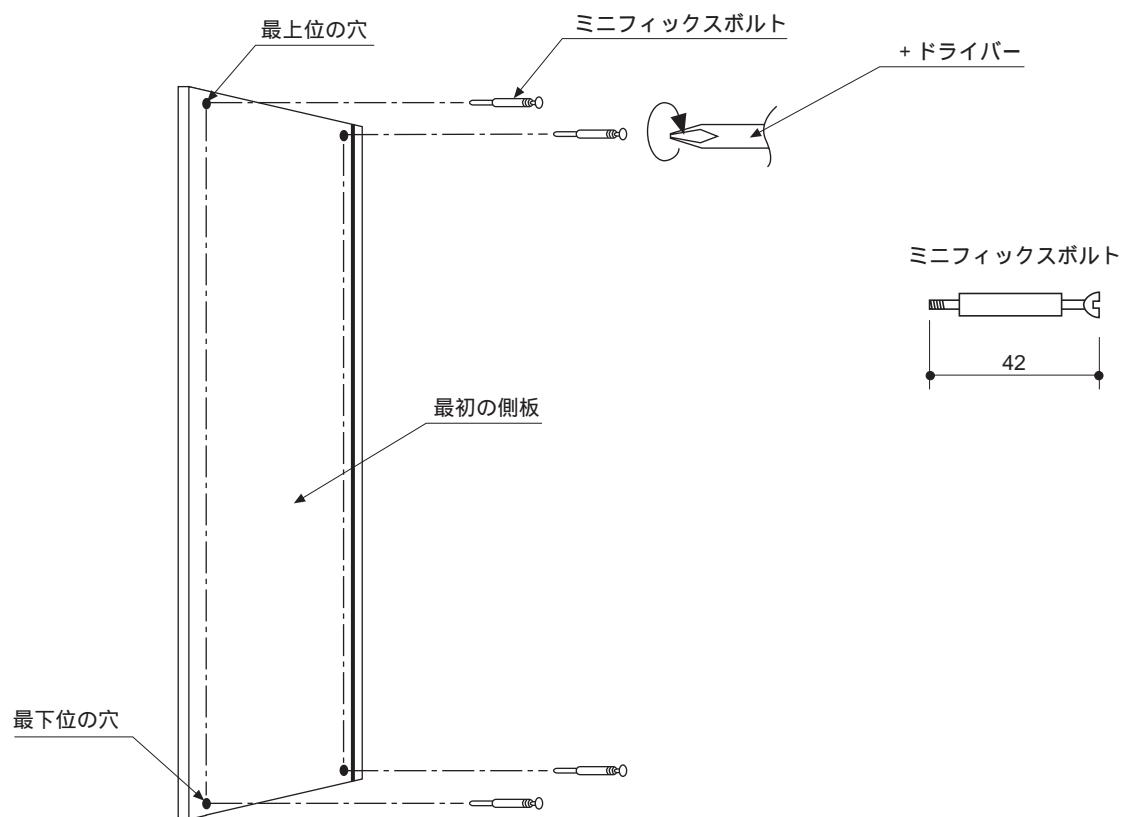
基本的な収納ユニット本体の組立て順序

- ・収納ユニットはミニフィックスボルトを使用して側板・底板・背板・天板を組立てます。



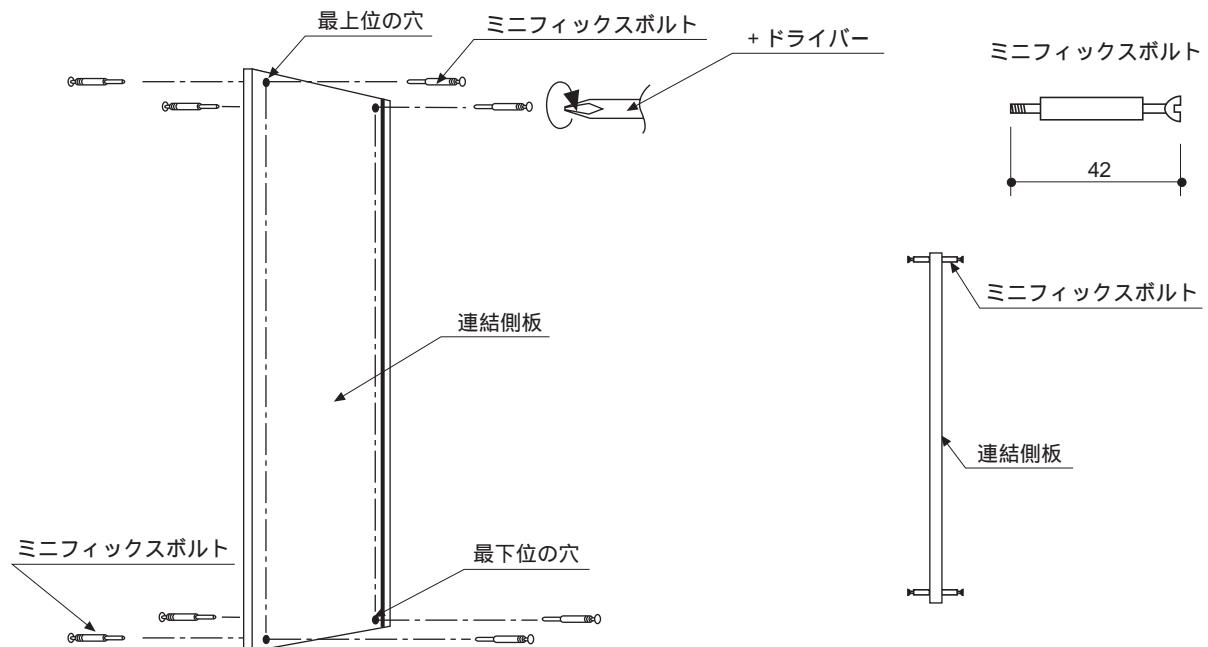
ミニフィックスボルトの取付け

- ・最初の側板（片面のみ穴があいている）に、天板・底板・取付用のミニフィックスボルトを、側板にあいているダボ穴の最上位と最下位の穴（インサートナットが打ち込んであります）に + ドライバーで取付けてください。



収納ユニット本体の組立て 2

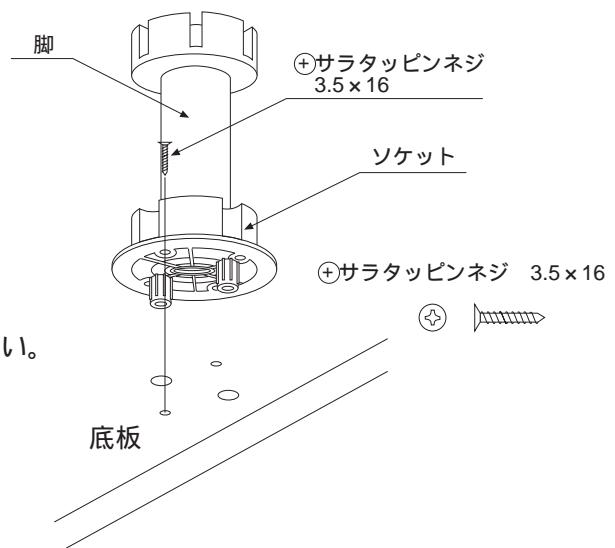
- 連結側板（側板の両面に穴があいている）の両面に、天板・底板取付用のミニフィックスボルトを取付けてください。



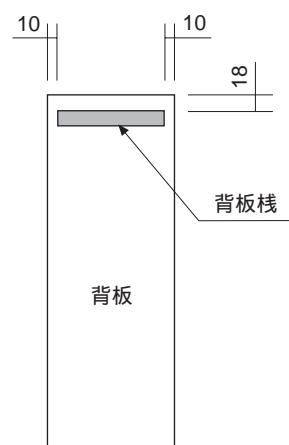
アジャスターの取付け

- 底板にアジャスターを取付けてください。

- ① 底板にソケットを打ち込み取付ネジ（+ サラタッピンネジ 3.5 × 16）1本で底板に固定してください。
- ② 次に脚をソケットの取付穴にはめ込んでください。

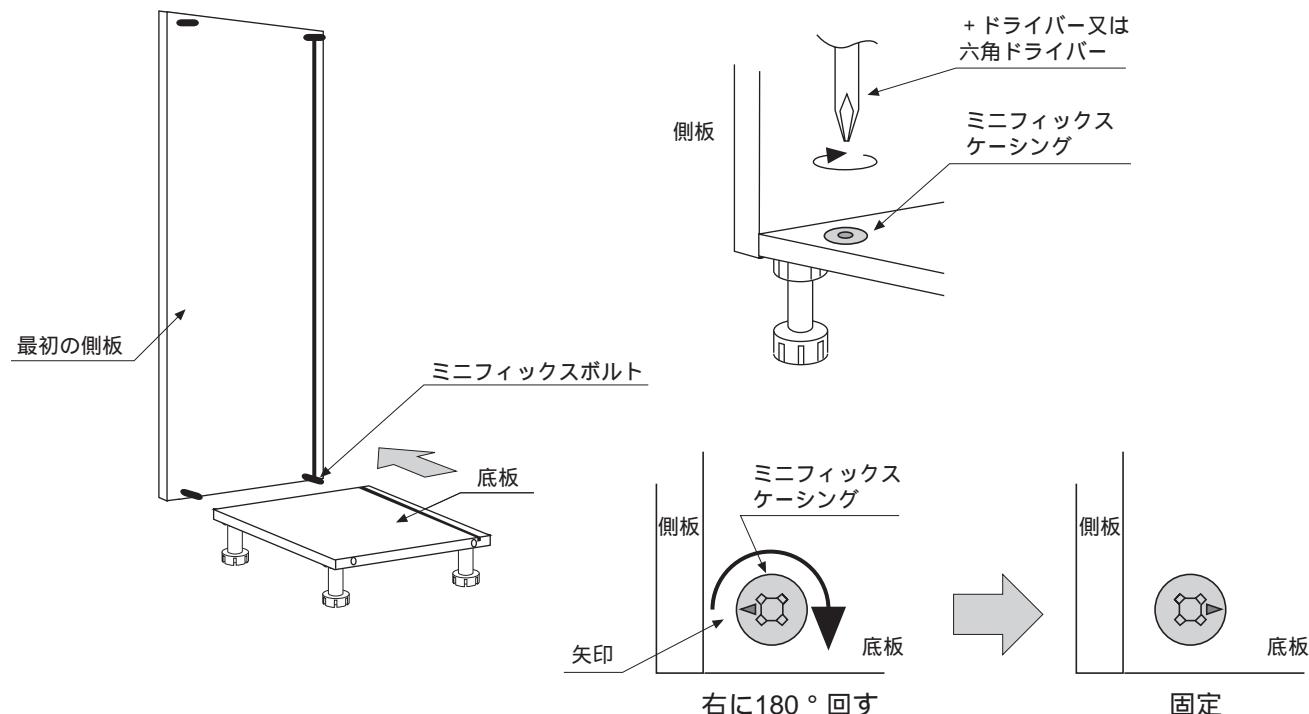


- 背板に背板棧を、図に示す位置に両面テープで貼り付けてください。
- 壁面の取付棧の位置が指定位置でない場合には、取付棧の位置に合わせて背板棧を貼り付けてください。

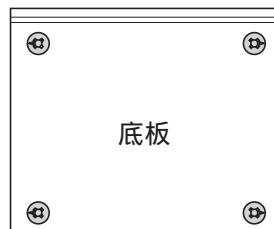
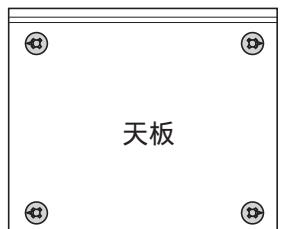


収納ユニット本体の組立て 3

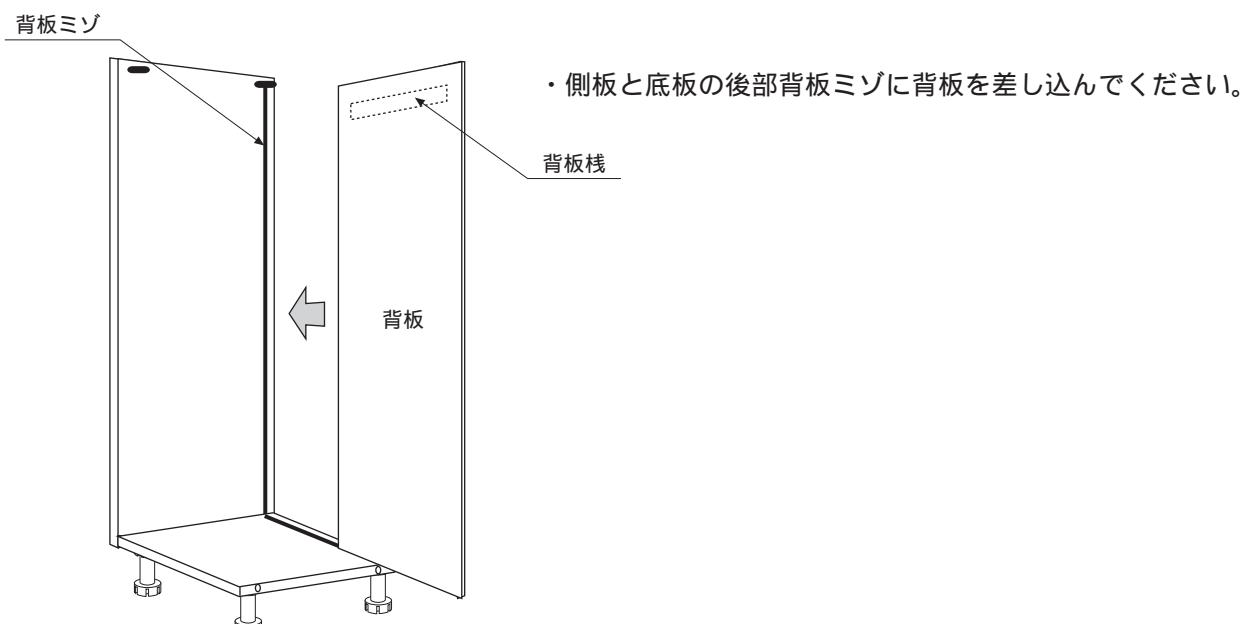
- ・底板を床面に置いてください。
- ・側板に取付けたミニフィックスボルトに、底板の側面木口にあけてある穴を合わせてしっかりと差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- ・底板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図に示すように締め付けてください。



天板と底板はよく似ていますので取付けの時は、注意してください。

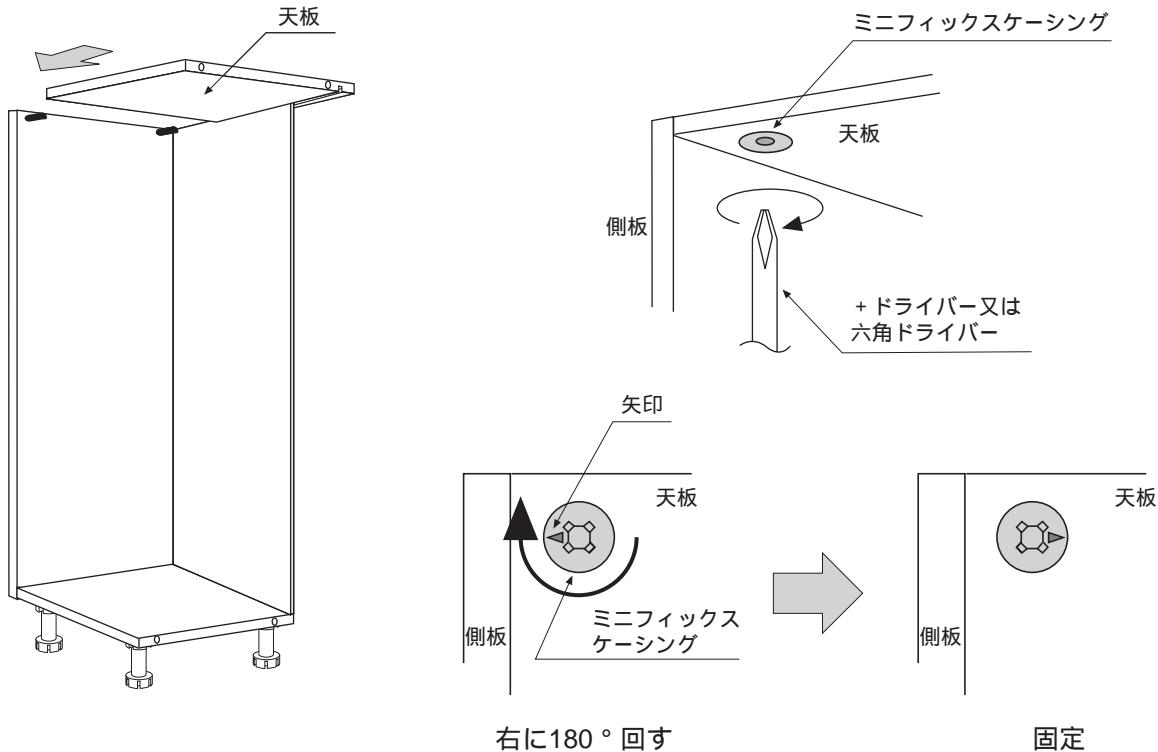


底板の裏にはアジャスター取付用の穴が
8ヶ所にあいています。

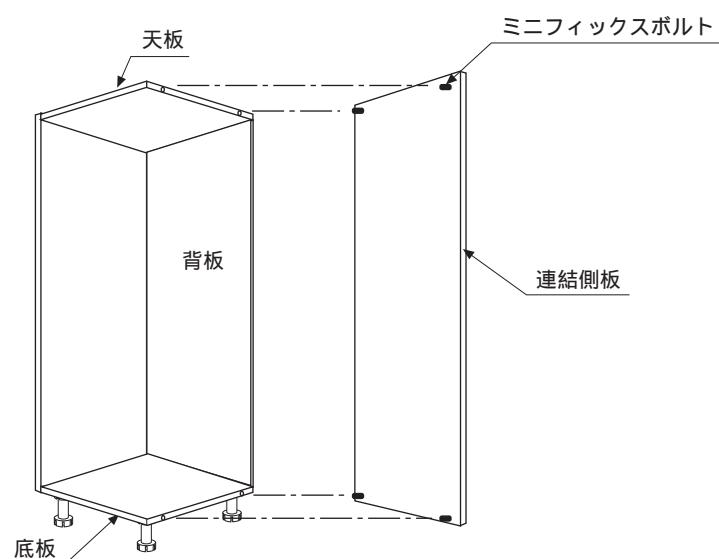


収納ユニット本体の組立て 4

- 天板の後部のミゾを背板に乗せてすべらせるようにして移動させ、側板に取付けたミニフィックスボルトに天板の側面木口にあけてある穴を合わせて差し込んでください。
(ミニフィックスケーシングに付いている矢印が側板側に向いているか確認してください。)
- 天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで図のよう
に締め付けてください。



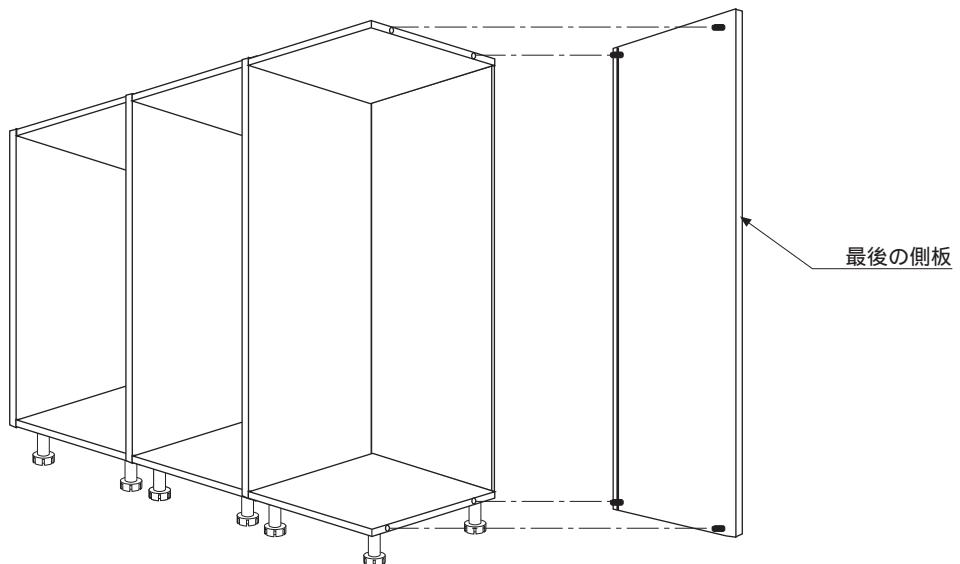
- 連結側板に取付けたミニフィックスボルトを、底板・天板の側面木口にあけてある穴に合わせて
しっかりと差し込んでください。
- 底板・天板に取付けてあるミニフィックスケーシングを+ドライバー又は六角ドライバーで締め
付けてください。



収納ユニット本体の組立て 5

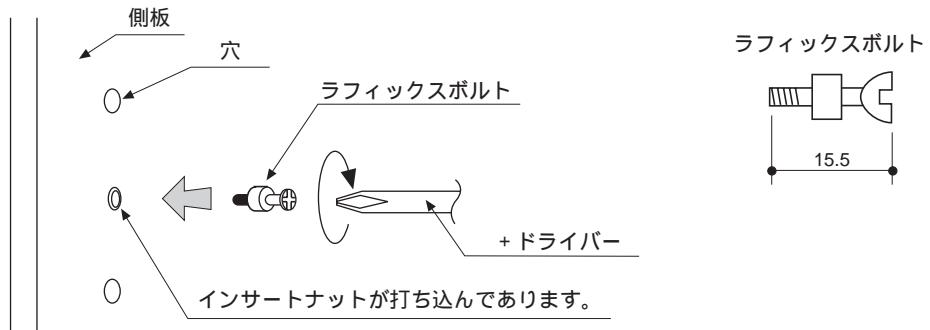
- ・P28～P31の施工を繰り返し行うことによりユニットの連結をしてください。
- ・最後の側板は最初の側板と同様で側板の片面のみ穴があいています。
- ・それぞれの側板は、ユニットの種類によってインサートナットの打込位置が異なっています。
組立て順に注意して組立ててください。

オープンユニットは、単独で組立ててください。
通常の収納ユニットとは、連結できません。

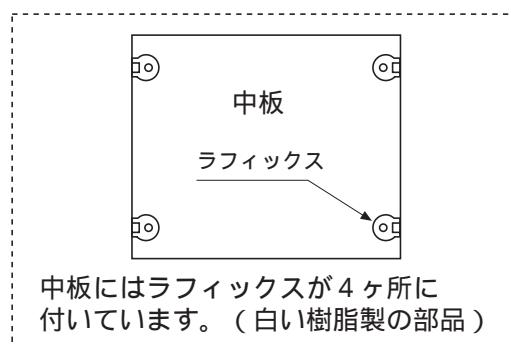
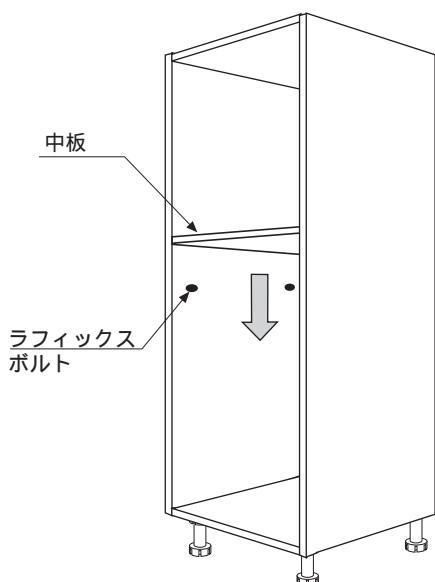


中板の取付け

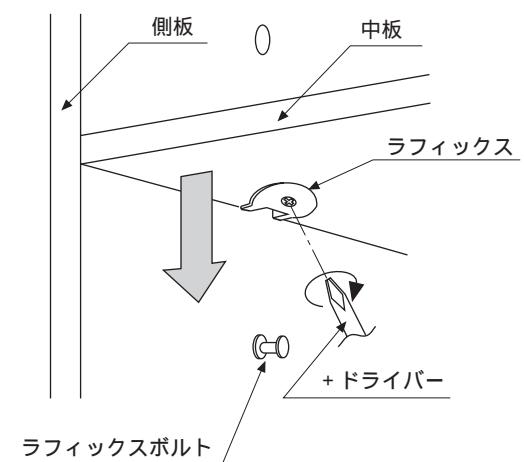
- ラフィックスボルトを側板の指定位置に取付けます。
ラフィックスボルト・中板の取付け位置はユニットによって異なります。
「中板の取付け位置」を参照して取付けてください。



- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板に取付けてあるラフィックスの穴を合わせて中板を落とし込んでください。
ラフィックスのネジを + ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



中板にはラフィックスが4ヶ所に付いています。（白い樹脂製の部品）



中板の取付け位置

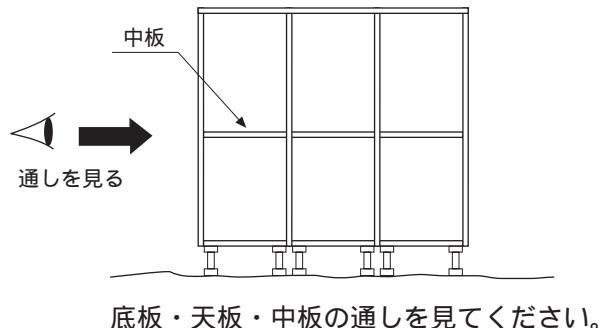
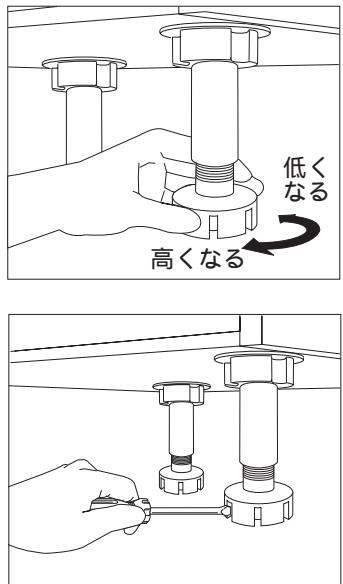
- 中板の取付け位置は収納ユニットの機種によって異なりますので、下図を参照して取付けてください。

標準ユニット	フラップダウン扉ユニット	大型食品庫
コーナーユニット	オープンユニット	

収納ユニット本体の調整・キャップ類の取付け

アジャスターの調整方法

- 手やドライバーを使いユニットの高さや水平を調整してください。
調整範囲 - 0 ~ + 15 mm



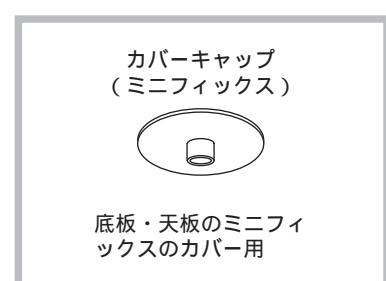
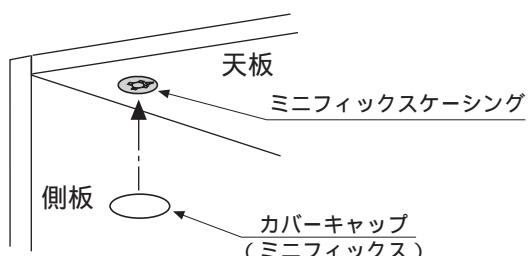
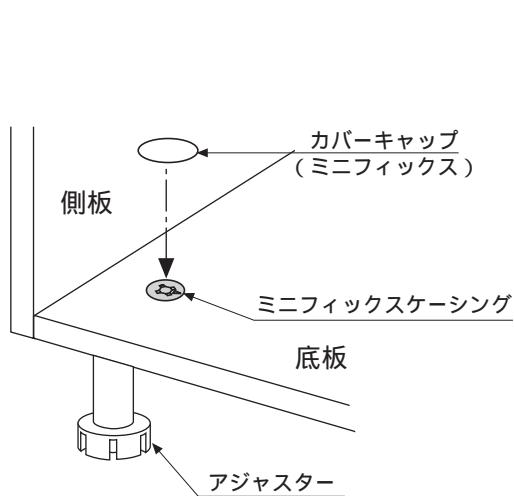
底板・天板・中板の通しを見てください。

ユニットのレベル出しの方法

- 取付けスペースの床面で一番高い場所を探して、その床面から1メートル高さを計り、墨を打ちます。側板後側の下端から900mmの所に印を付けます。レベル墨にその印を合わせて側板後側を調整し、建て起こしを確認してから側板前側を調整しユニットを組立てていきます。

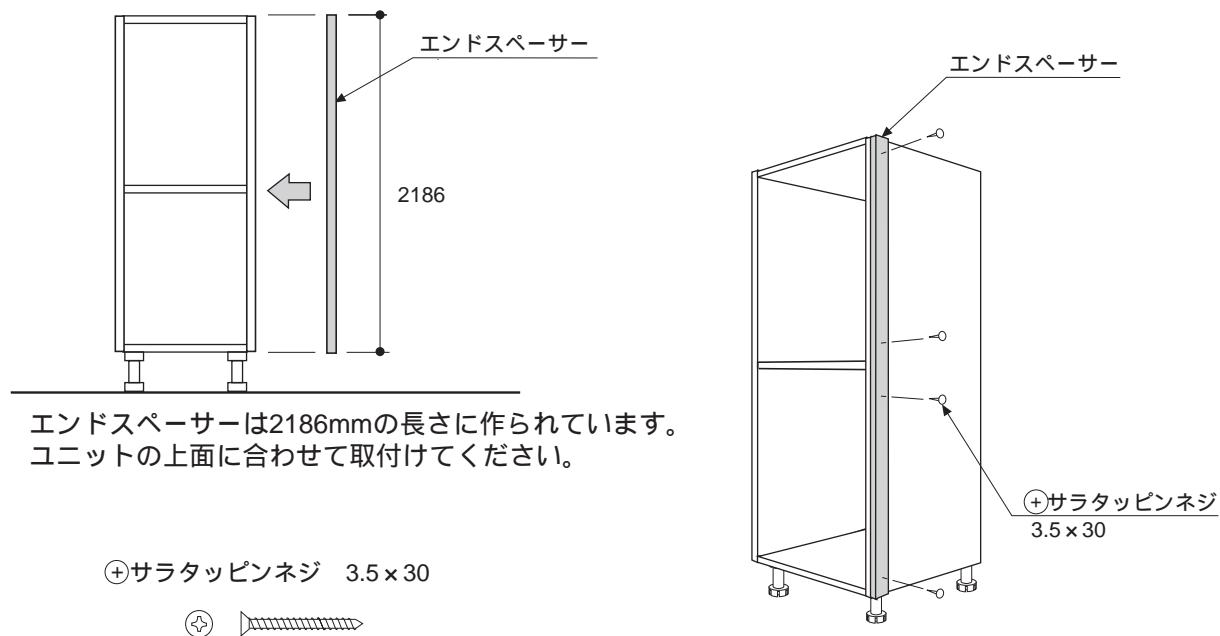
キャップ類の取付け

- ユニットの調整が終了した後、下記のキャップ類を取付けてください。

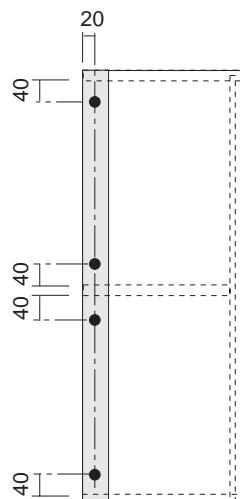


収納ユニット用エンドスペーサーの取付け

- エンドスペーサーは収納庫本体と同色のパーツです。下図に従って取付けてください。



- エンドスペーサーを固定する時は下記の位置に④サラタッピンネジ3.5×30で固定してください。



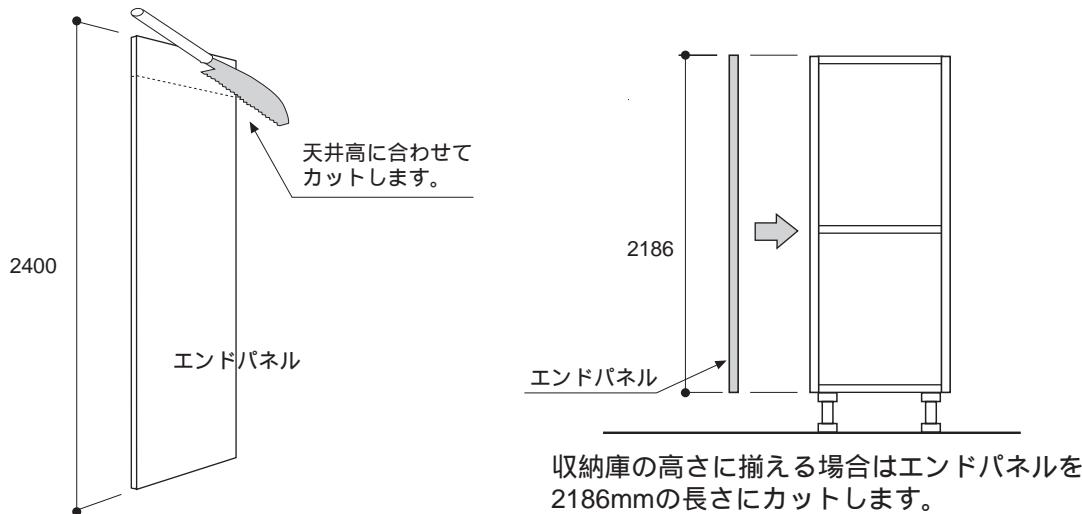
- エンドスペーサーは側板の前面に合わせて取付けます。



収納ユニット用エンドパネルの取付け

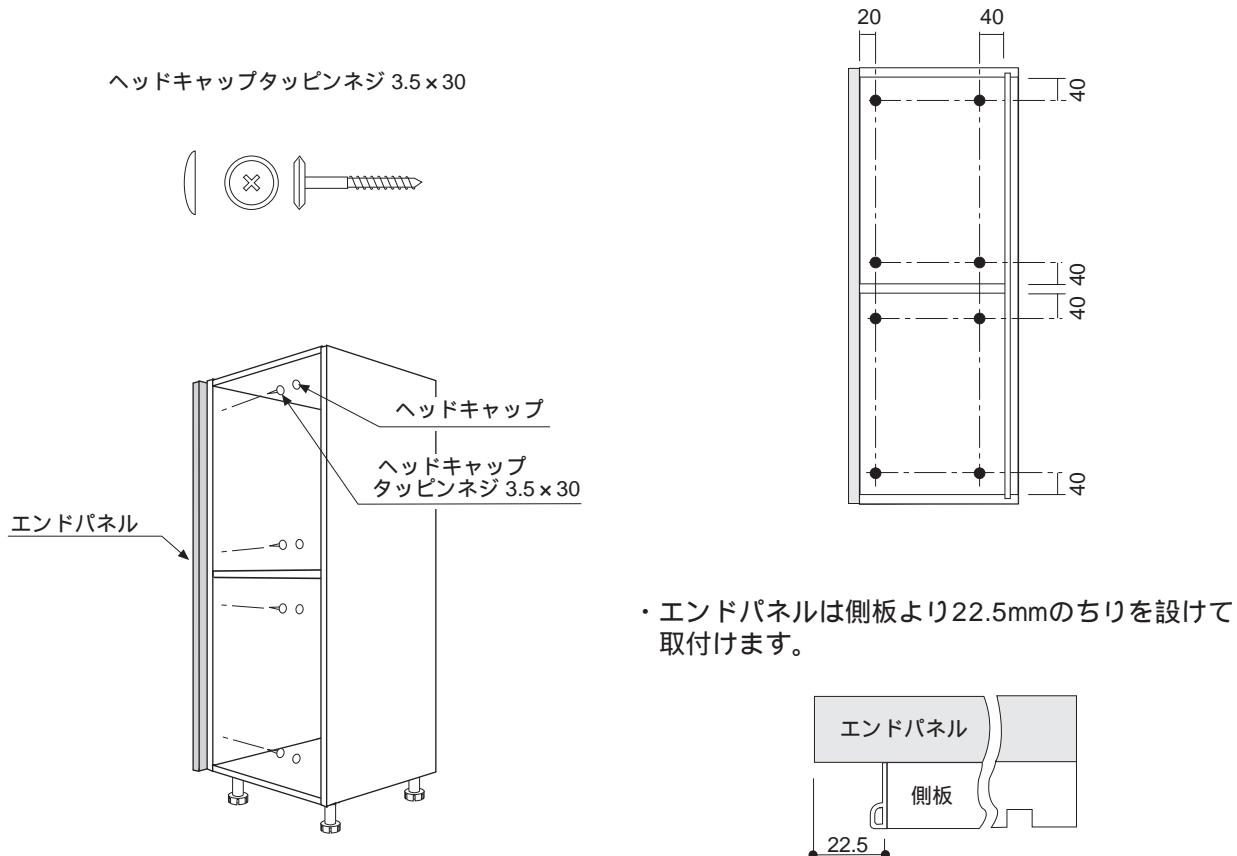
エンドパネルのカット

- ・収納庫用エンドパネルは2400mmの長さで作られています。天井高に合わせてカットしてください。
- ・収納庫の高さに揃える場合は、エンドパネルを2186mmの長さにカットして使用してください。



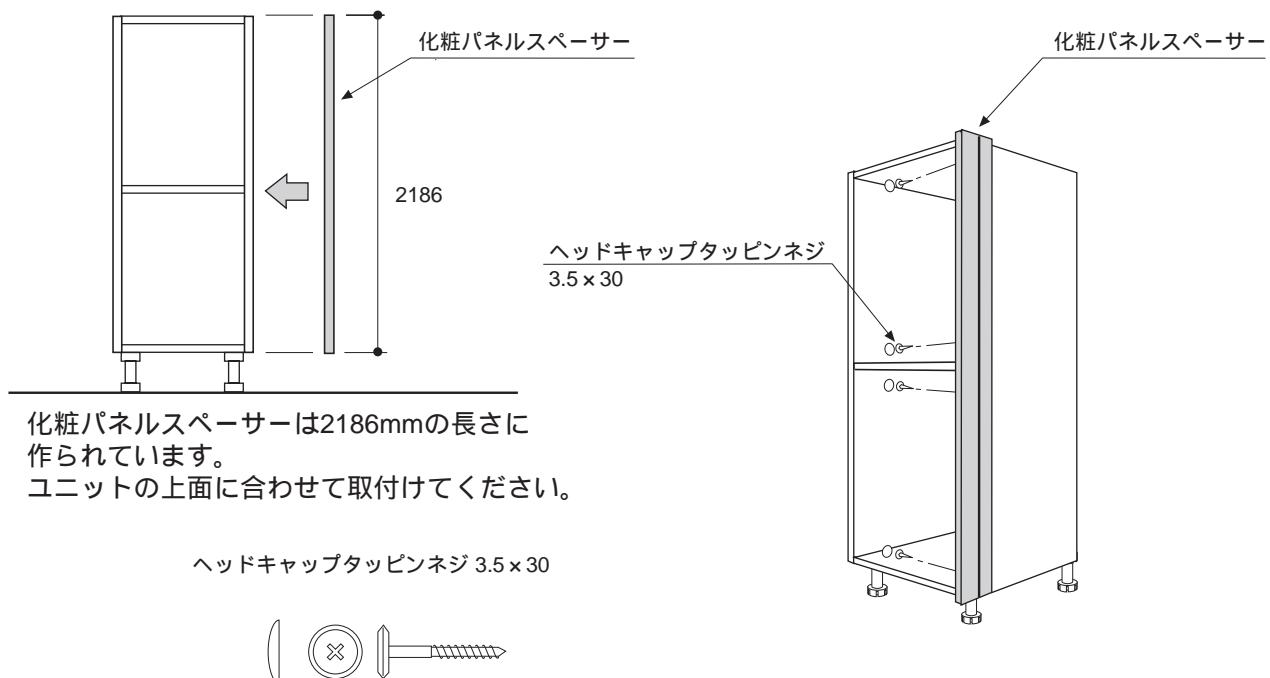
エンドパネルの取付け

- ・エンドパネルを固定する時は、下記の位置にØ4の下穴をあけヘッドキャップタッピンネジ3.5×30で固定してください。

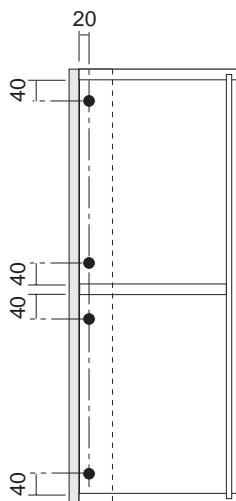


収納ユニット用化粧パネルスペーサーの取付け

- 化粧パネルスペーサーはエンドパネルと同色のパートです。
下図に従って取付けてください。



- 化粧パネルスペーサーを固定する時は、下記の位置にØ4の下穴をあけヘッドキャップタッピングネジ 3.5 × 30で固定してください。



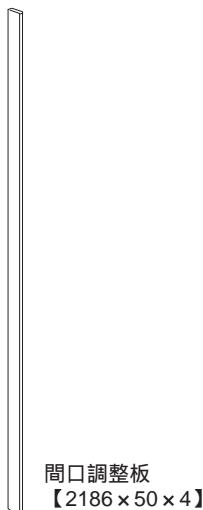
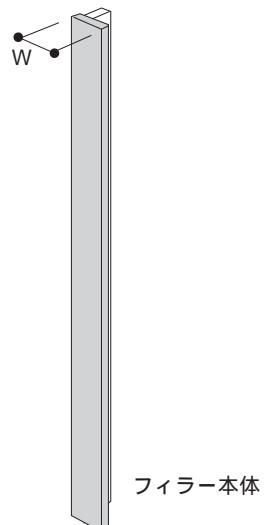
- パネルスペーサーは側板より22.5mmのちりを設けて取付けます。



収納ユニット用化粧フィラーの取付け 1

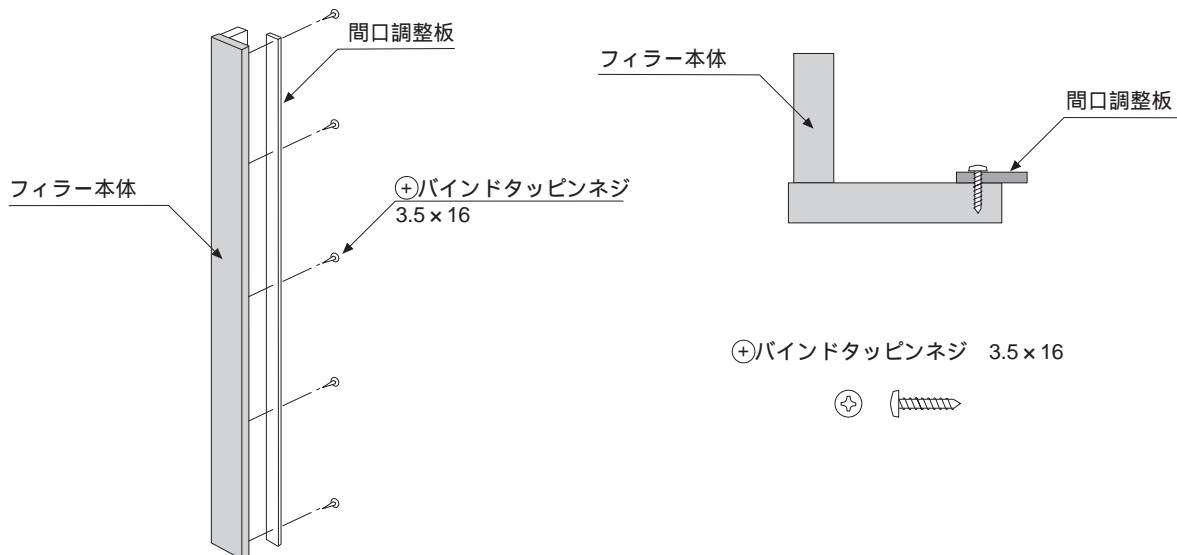
- 化粧フィラーには下記の部品が付属しています。

間口寸法 W は
指定寸法で
出荷されます。



フィラー取付補助板×6
【300×83×18】

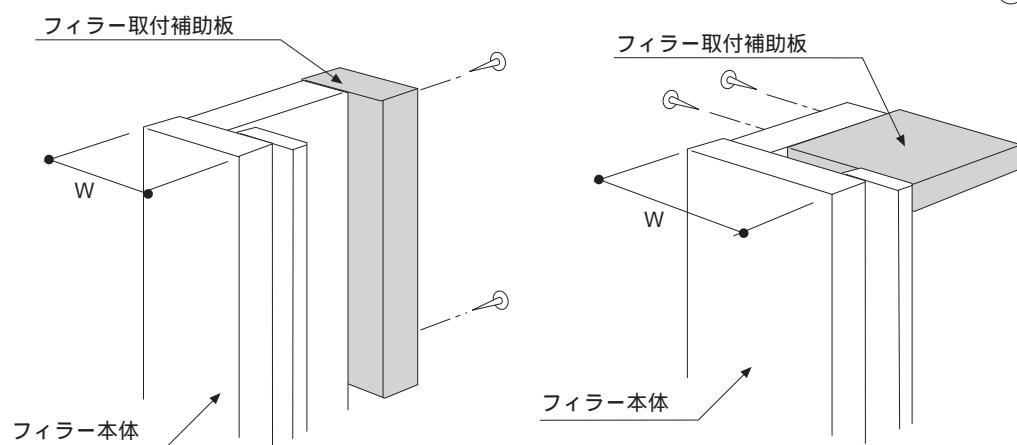
- 化粧フィラーは指定寸法で出荷されます。壁との間に隙間が出る場合は間口調整板を取付けてください。



- 化粧フィラーの間口【W寸法】に合わせて、下図のようにフィラー取付補助板を適当な寸法にカットして補強に使用してください。

フィラー取付補助板は、化粧フィラーの上下2ヶ所に取付けてください。

④サラタッピングネジ 3.5×30



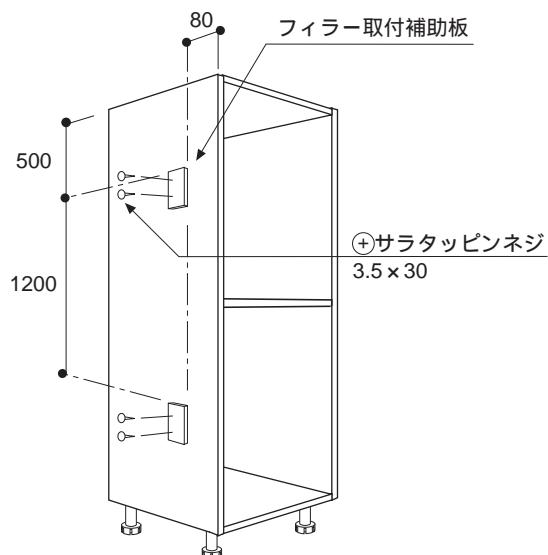
W = 35 ~ 53 の場合

W = 54 ~ 199 の場合

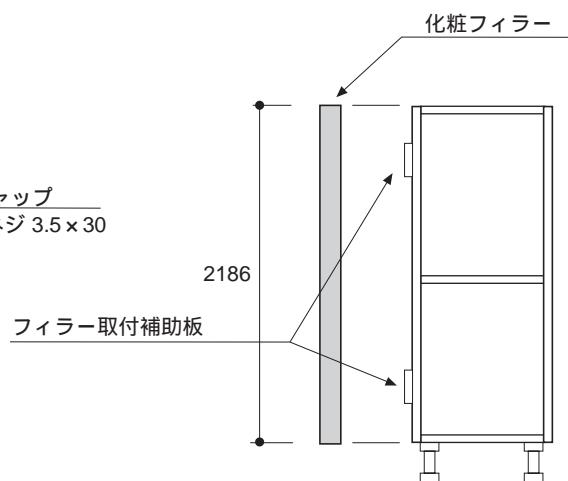
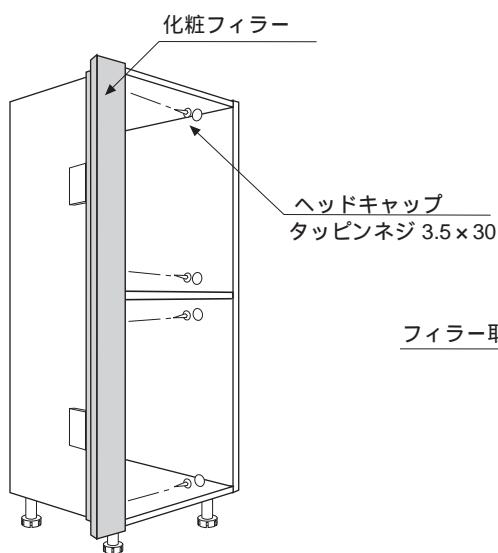
収納ユニット用化粧フィラーの取付け 2

- 化粧フィラーを取付けるユニットにフィラー取付補助板を取付けます。
右図の位置に取付けてください。

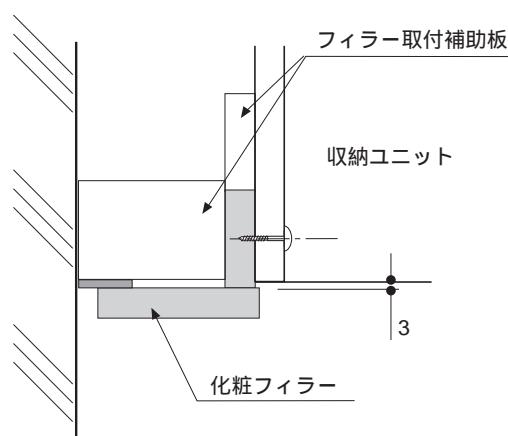
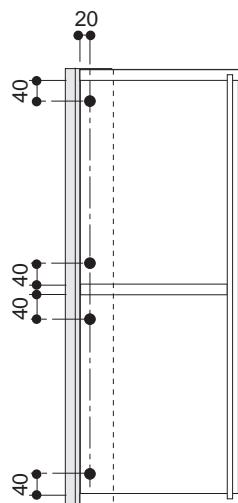
④サラタッピンネジ 3.5×30



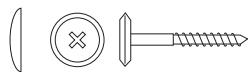
- 化粧フィラーを下図に従って取付けます。



化粧フィラーは2186mmの長さに作られています。
ユニットの上面に合わせて取付けてください。



ヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30



- 化粧フィラーを固定する時は、上記の位置に Ø4の下穴をあけヘッドキャップタッピンネジ 3.5×30で固定してください。

収納ユニット本体の固定

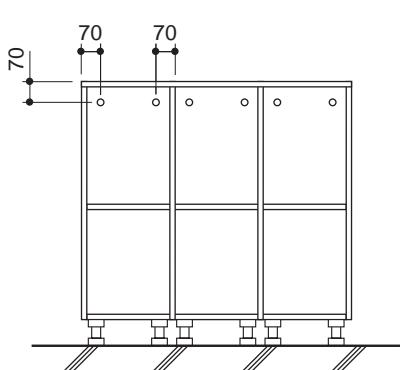


収納ユニットの据付けは建築壁の構造を確かめて正しく固定してください。

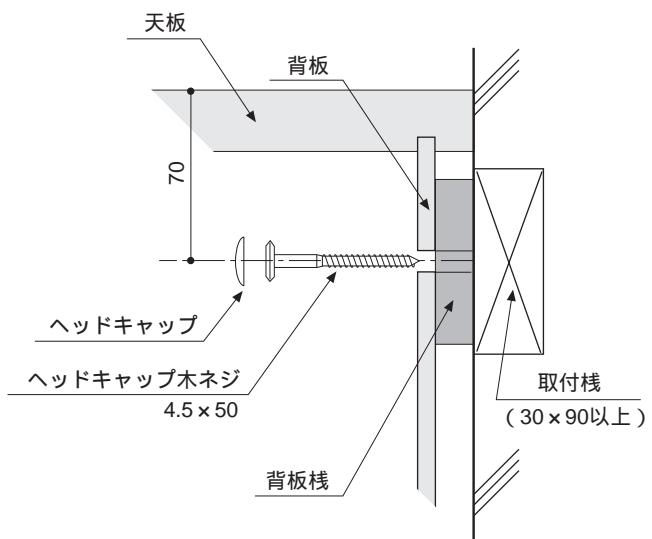
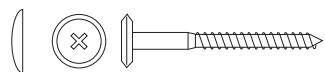


据付けを誤ると、転倒してケガをする恐れがあります。

- ユニット内側から図に示す位置に下穴 $\varnothing 4.6 \sim \varnothing 5.0$ をあけヘッドキャップ木ネジ 4.5×50 で壁面に固定してください。

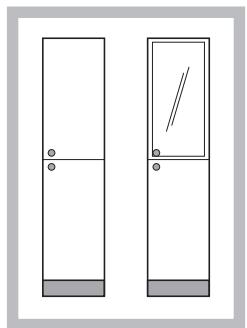
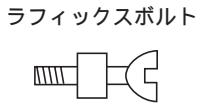
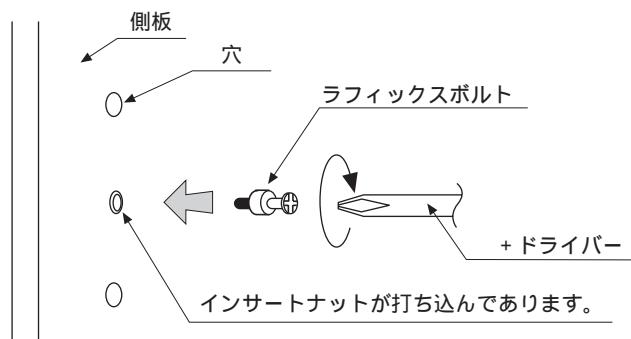


ヘッドキャップ木ネジ 4.5×50

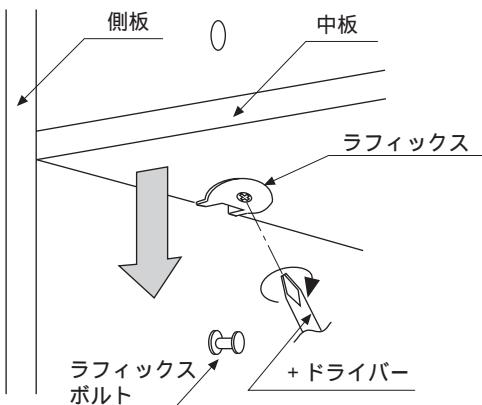
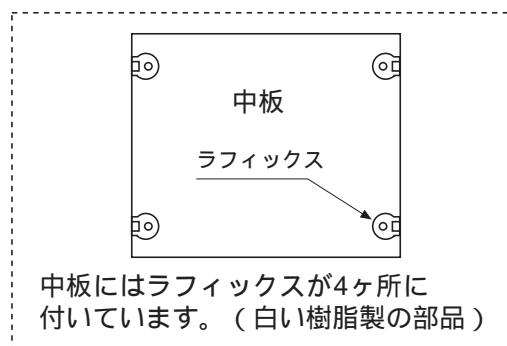
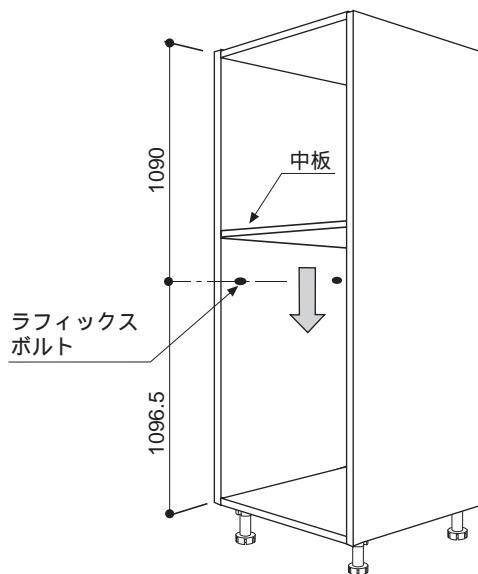


標準ユニットの組立て

- 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

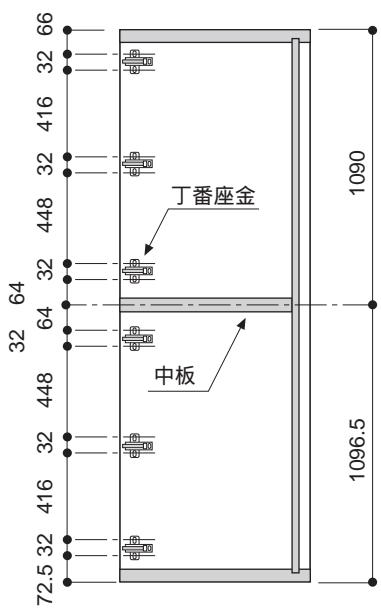
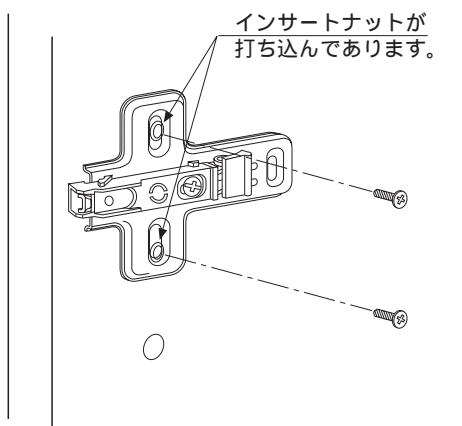


- ・側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
 - ・ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



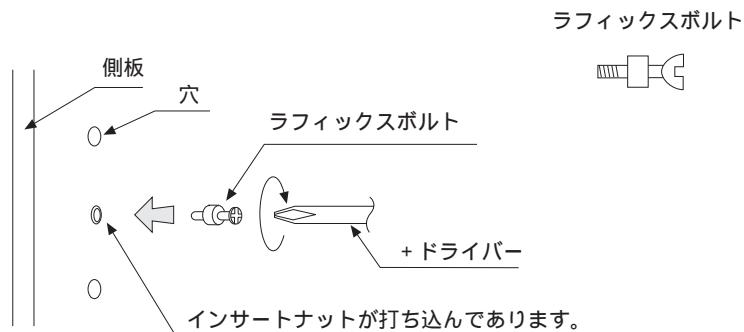
取付けは、トルク9kgf以下で、+ ドライバーを使用して行ってください

- 右図の位置に丁番座金を取付けます。
取付け位置にはインサートナットが
打ち込んであります。

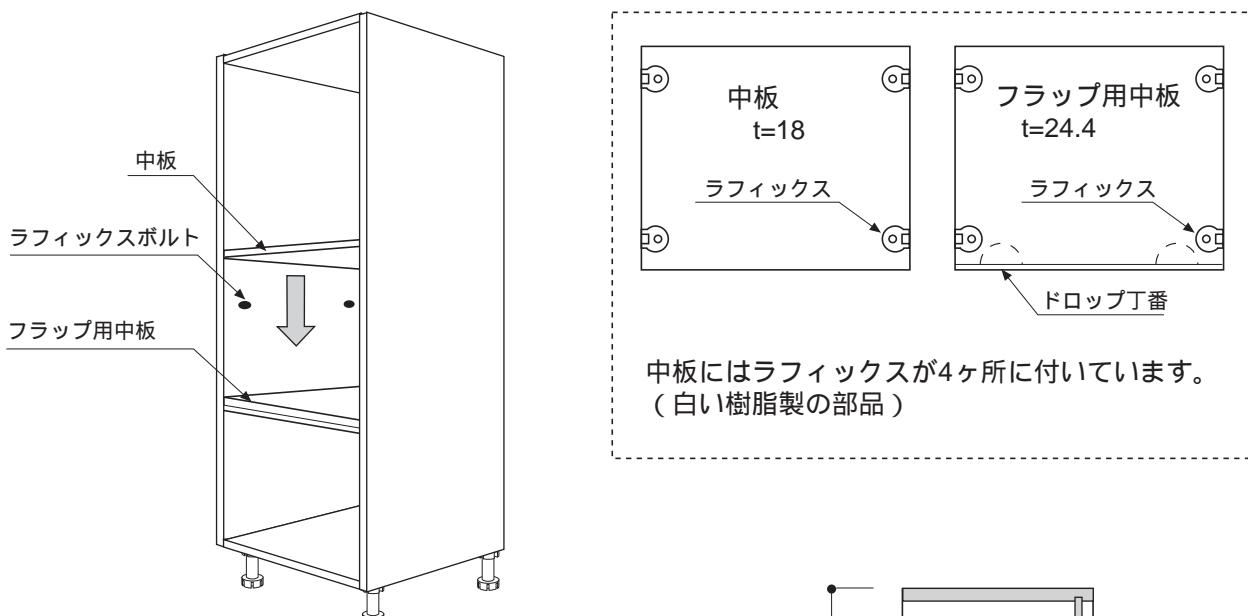


中板・フラップ用中板の取付け方

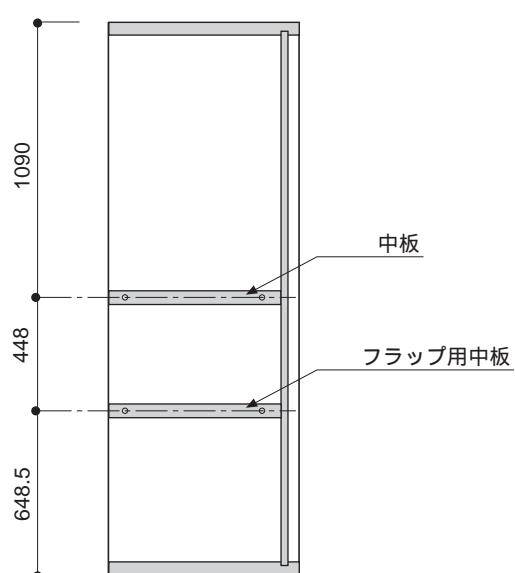
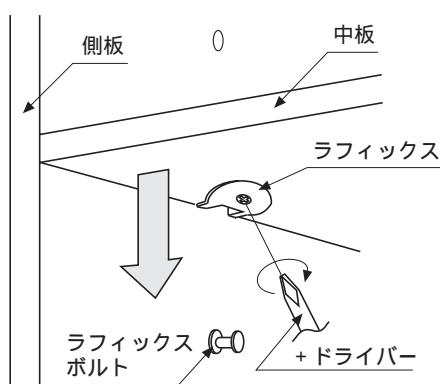
- 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板に取付けてあるラフィックスの穴を合わせて中板を落とし込んでください。
- 中板には普通の中板とフラップ用中板がありますので取付ける位置を注意してください。



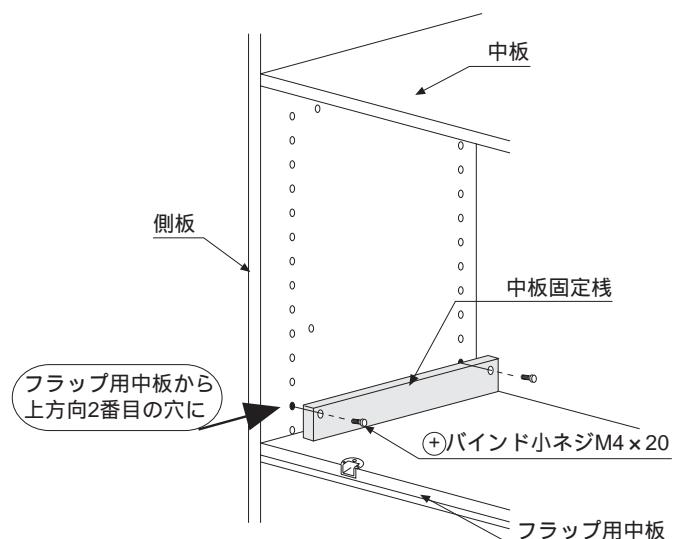
- ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



中板固定桿の取付け方

- 図に示すように中板固定桿の取付穴と、フラップ用中板から2番目の側板のダボ穴を合わせて取付けてください。
(中板固定桿は左右の側板に取付けてください。)

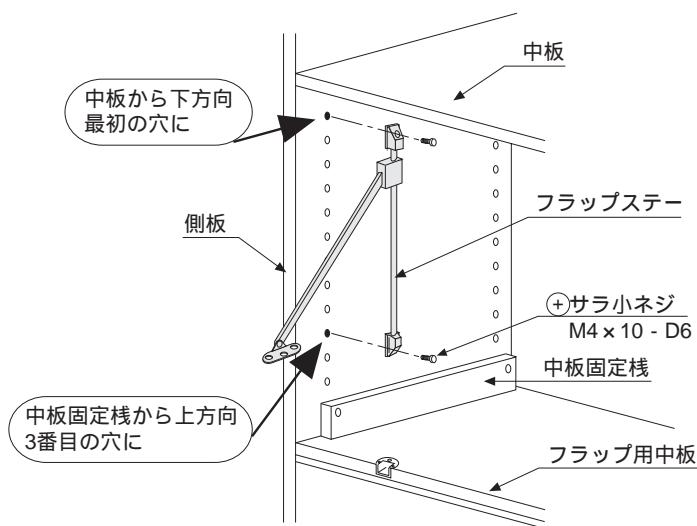
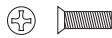
④バインド小ネジ M4×20



フラップステーの取付け方

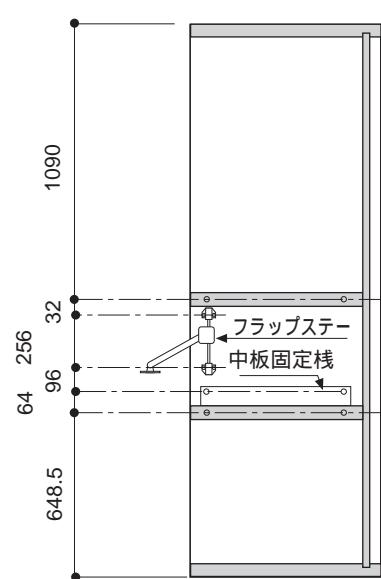
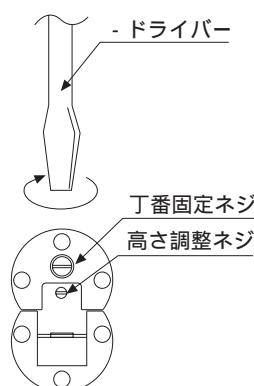
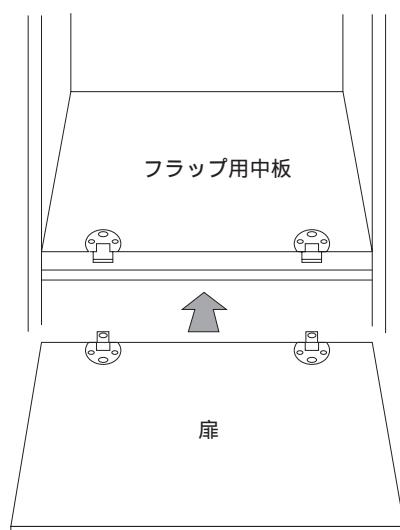
- 側板にあいているダボ穴(右図参照)に、フラップステーの取付穴前部を合わせて取付けてください。(フラップステーは間口寸法に関係なく左右の側板に取付けてください。)

④サラ小ネジ M4×10 - D6



フラップ扉の取付け方

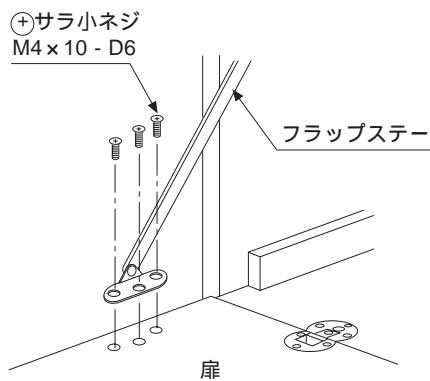
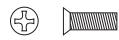
- フラップ用中板に取付けてある丁番に、扉に取付けてある丁番の突出部を差し込んでください。
- フラップ用中板と扉に段違いが出ないように、高さ調整ネジで調整して水平を出した後に丁番固定ネジを締め付けてください。



フラップステーと扉の取付け方

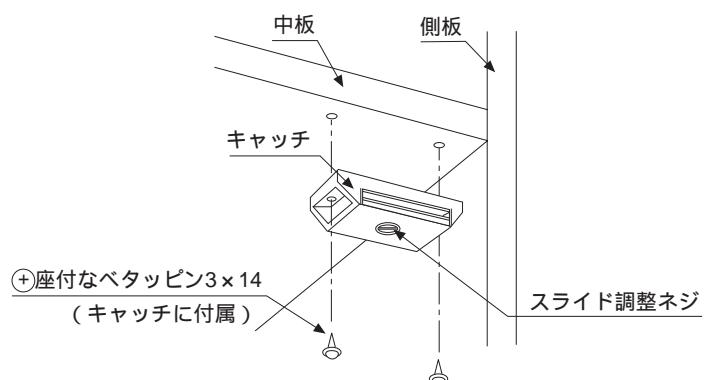
- ・ フラップダウン扉に開いている3つの穴（インサートナットが打ち込んである）とフラップステーの穴を合わせて取付けてください。

④サラ小ネジ M4×10 - D6



キャッチの取付け方

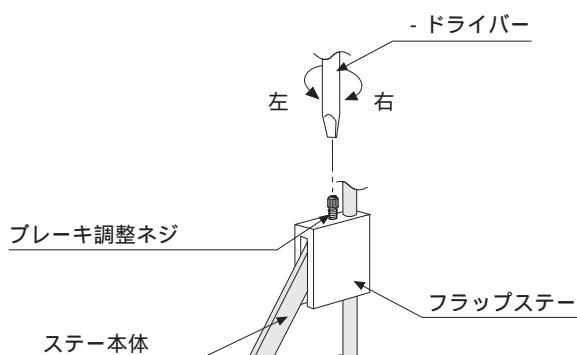
- ・ フラップステー上部にある中板の裏面に開いている2つの穴にキャッチの穴を合わせて取付けてください。
- ・ スライド調整ネジでキャッチの前後調整を行ってください。



フラップステーの調整

- ・ ブレーキ調整ネジを - ドライバーで調整することでフラップ扉のダウンスピードを変えることが出来ます。

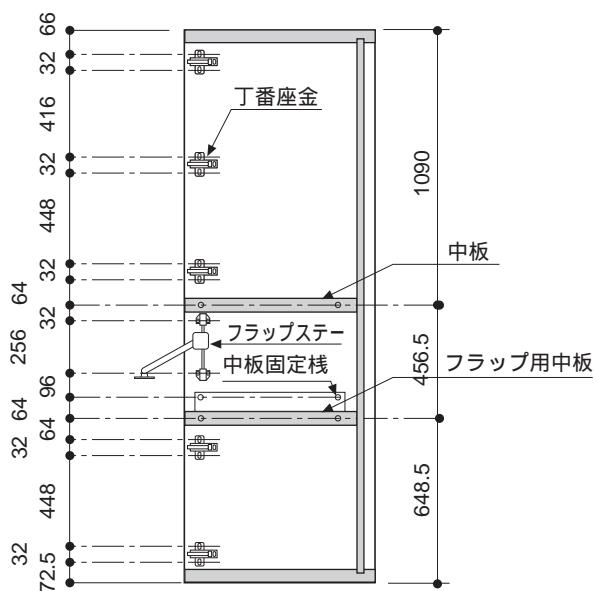
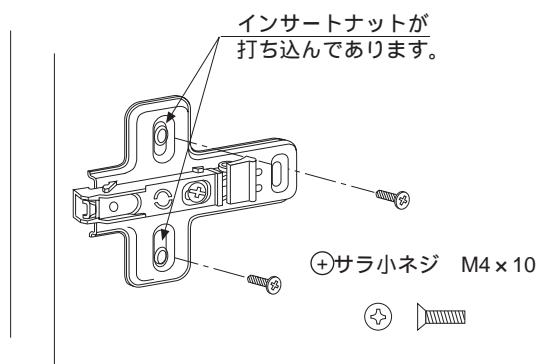
右に回す：ブレーキがきかなくなる。
左に回す：ブレーキがきいてくる。



丁番座金の取付け

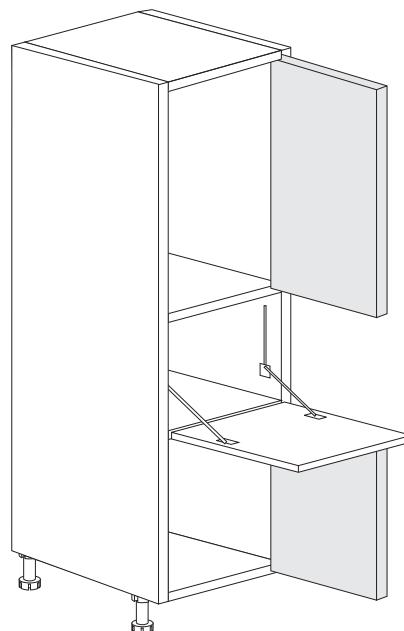
取付けは、トルク9kgf以下で + ドライバーを使用して行ってください。

- ・ 右図の位置に丁番座金を取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



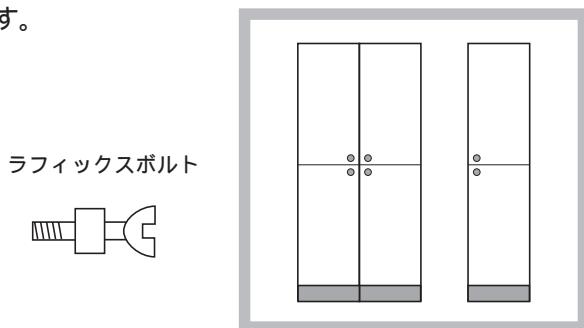
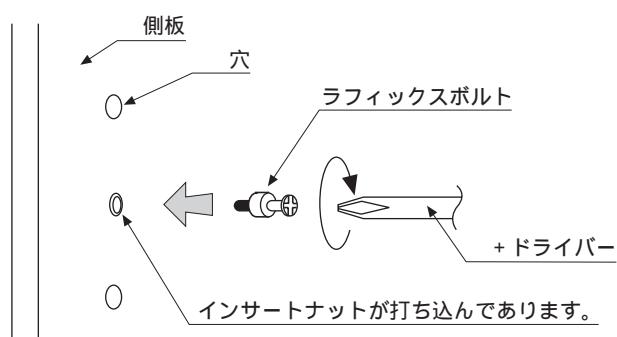
扉の取付け

- ・扉 2 枚を取付けてください。

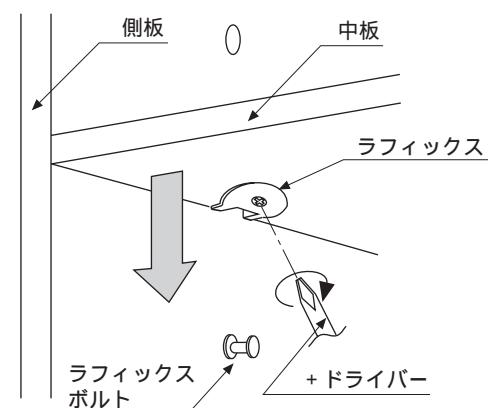
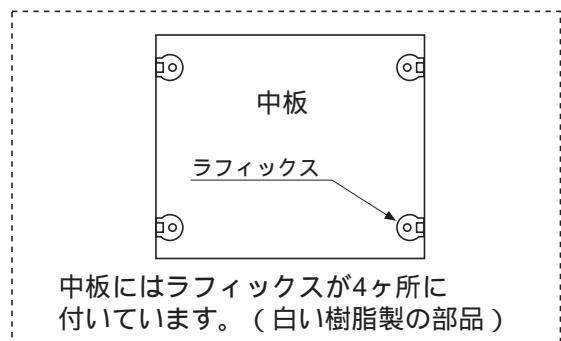
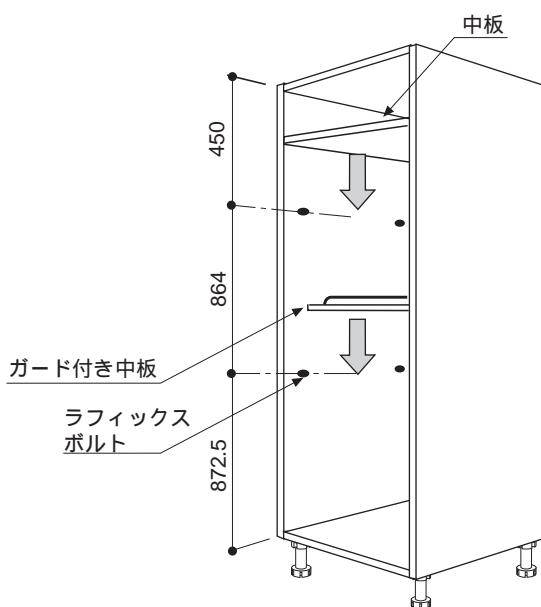


大型食品庫の組立て 1

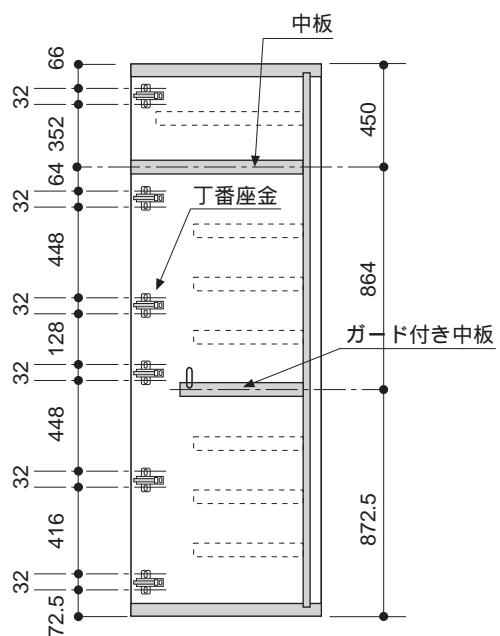
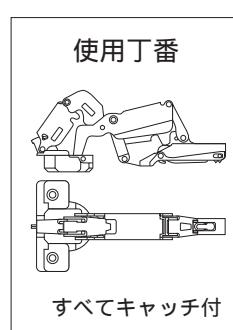
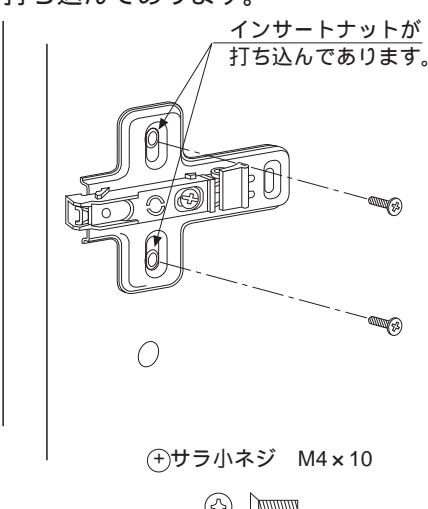
- 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



- 取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。
- 右図の位置に丁番座金を取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

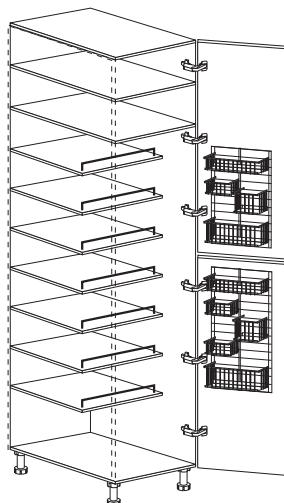


ワイヤーハンガーとハンガーバスケットの取付け

- 図は右扉を開いた状態を表します。
- 図中に示す寸法位置にワイヤーハンガーを取付けてください。(取付ネジ \oplus トラスタッピンネジ 3.5×20)
(図中寸法はワイヤーの端から扉の木口までの寸法を表します。)
- ハンガーバスケットを図中に示すようにワイヤーハンガーに取付けてください。
- ハンガーバスケットは自由に移動が可能ですので、使用用途に合わせて移動させてご使用ください。

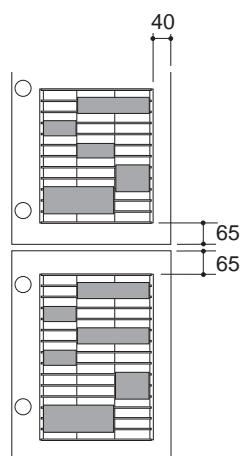
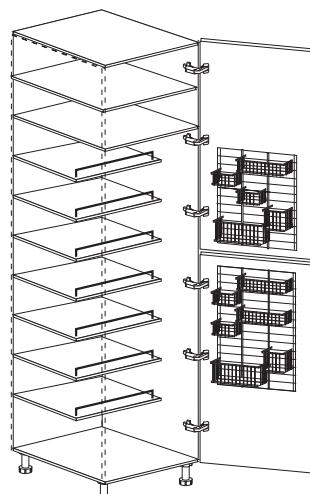
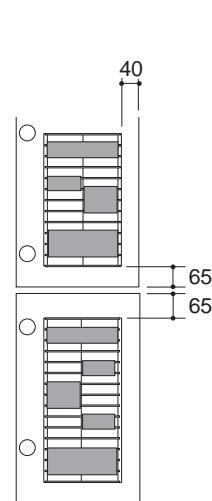
間口450mmの場合

 ハンガーバスケット



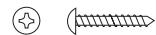
間口600mmの場合

 ハンガーバスケット



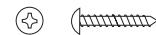
図は(R)を示し(L)は図と対称となります。

⊕ トトラスタッピンネジ 3.5×20



図は(R)を示し(L)は図と対称となります。

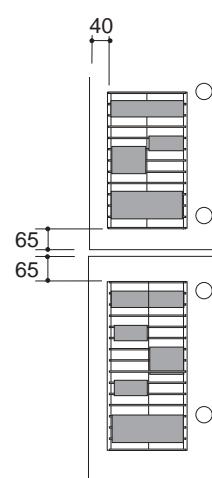
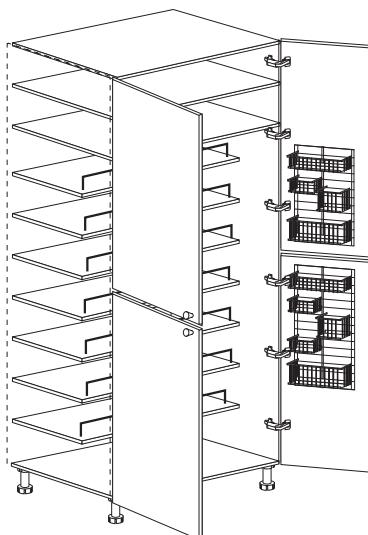
⊕ トトラスタッピンネジ 3.5×20



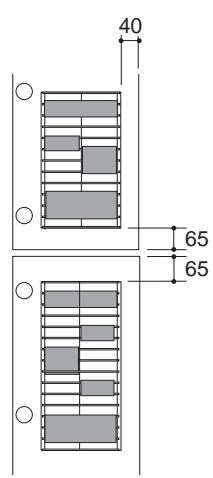
間口 900mmのユニットの場合

- 間口 900mmのユニット扉は観音扉となっていますので、左右の扉に図中の寸法位置にワイヤーハンガーを取付けてください。(取付ネジ \oplus トラスタッピンネジ 3.5×20)
- ハンガーバスケットを図中に示すようにワイヤーハンガーに取付けてください。

 ハンガーバスケット

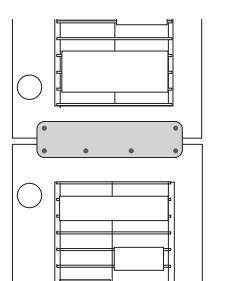


(左扉)

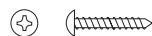


(右扉)

扉の調整を行った後にジョイントプレートを使用して上下の扉を連結します。

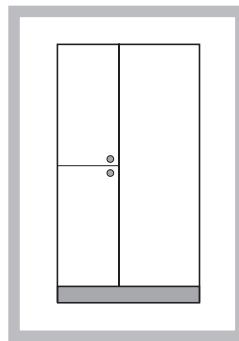
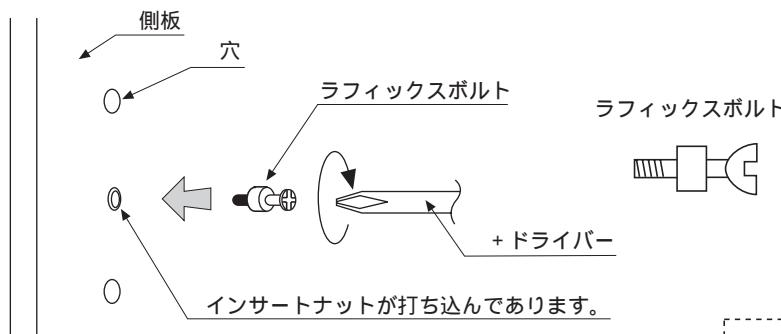


⊕ トトラスタッピンネジ 3.5×20

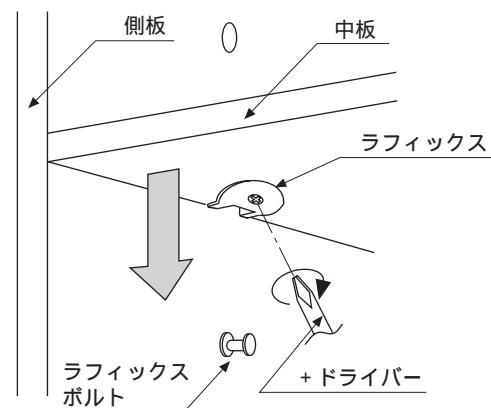
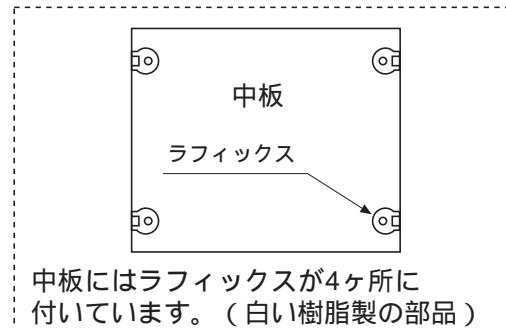
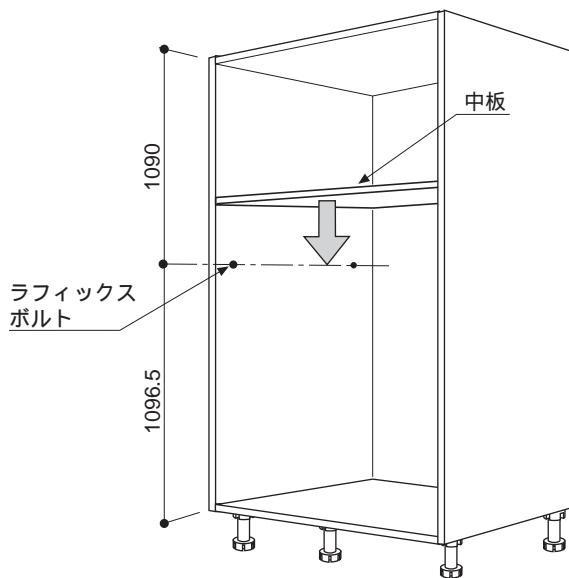


コーナーユニットの組立て 1

- 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
- 取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。

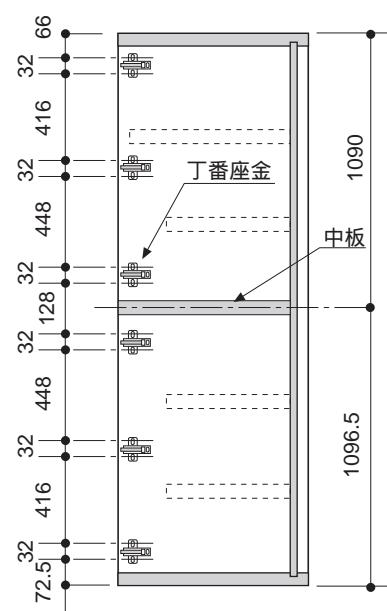
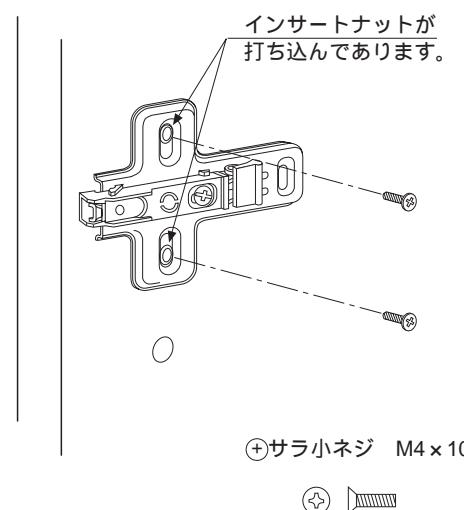


- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ラフィックスのネジを+ドライバーでしっかりと締め付けてください。



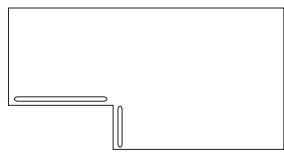
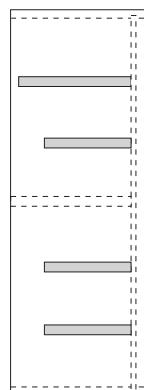
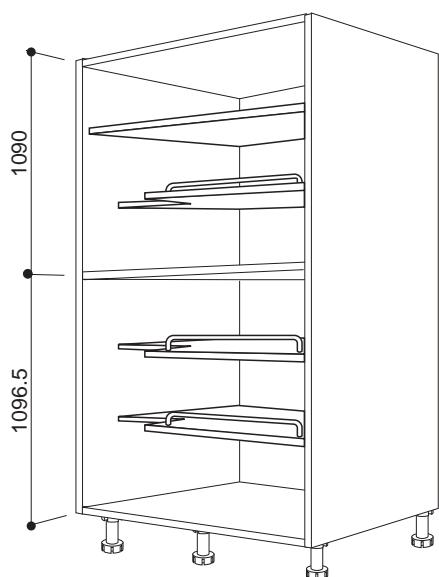
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- 右図の位置に丁番座金を取付けます。取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



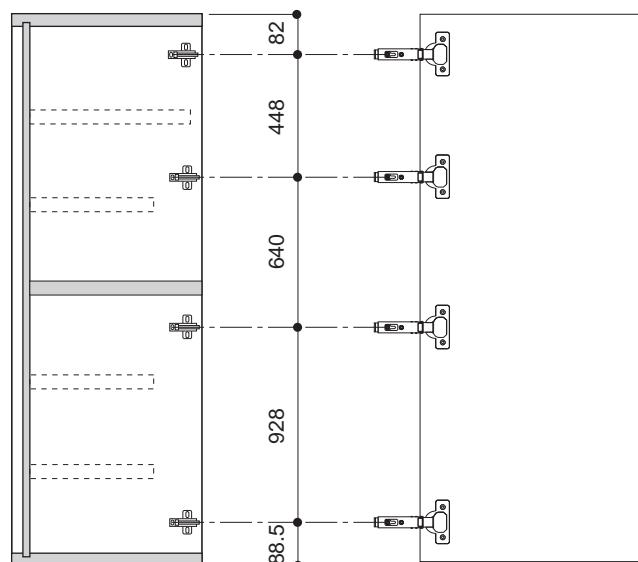
棚板の取付け

- 下図に従って棚板を取付けます。



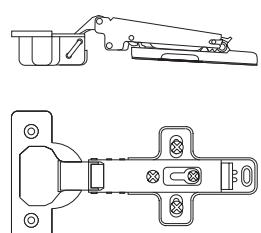
フサギ板の取付け

- 取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。
- フサギ板を丁番を使用して取付けます。



- フサギ板の取付けには右図の全カブセ丁番を使用します。

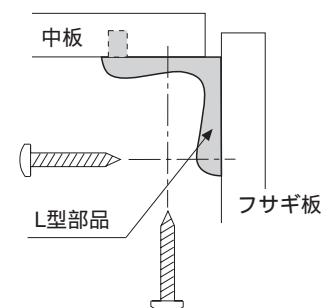
使用丁番



すべてキャッチ付

- フサギ板と中板をL型部品を使用して固定してください。

フサギ板固定金具

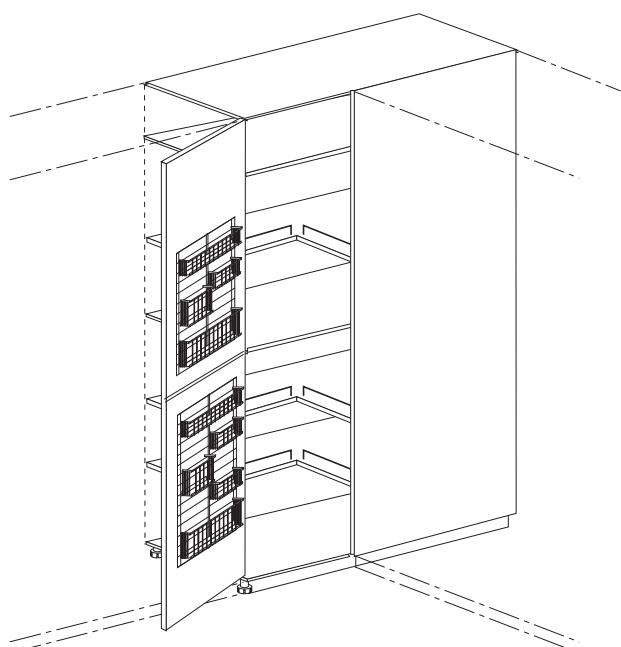


④バインドタッピンネジ3.5×16

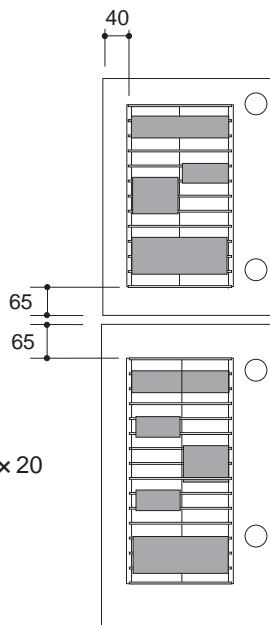
ワイヤーハンガーとハンガーバスケットの取付け

- 図中に示す寸法位置にワイヤーハンガーを取付けてください。(取付ネジ④トラスタッピンネジ3.5×20)(図中寸法はワイヤーの端から扉の木口までの寸法を表します。)
- ハンガーバスケットを図中に示すようにワイヤーハンガーに取付けてください。
- ハンガーバスケットは移動が可能ですので使用用途に合わせて移動させてご使用ください。

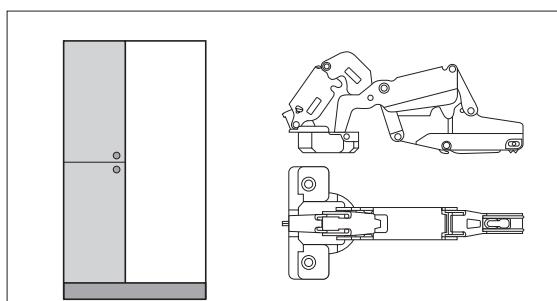
 ハンガーバスケット



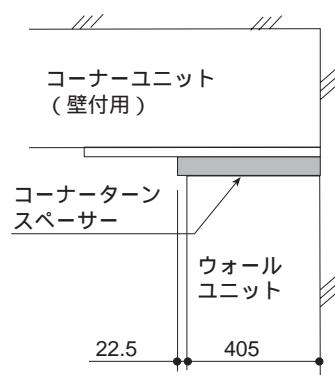
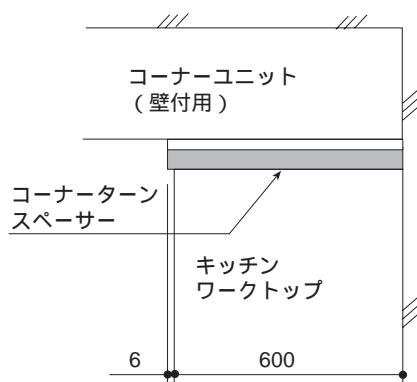
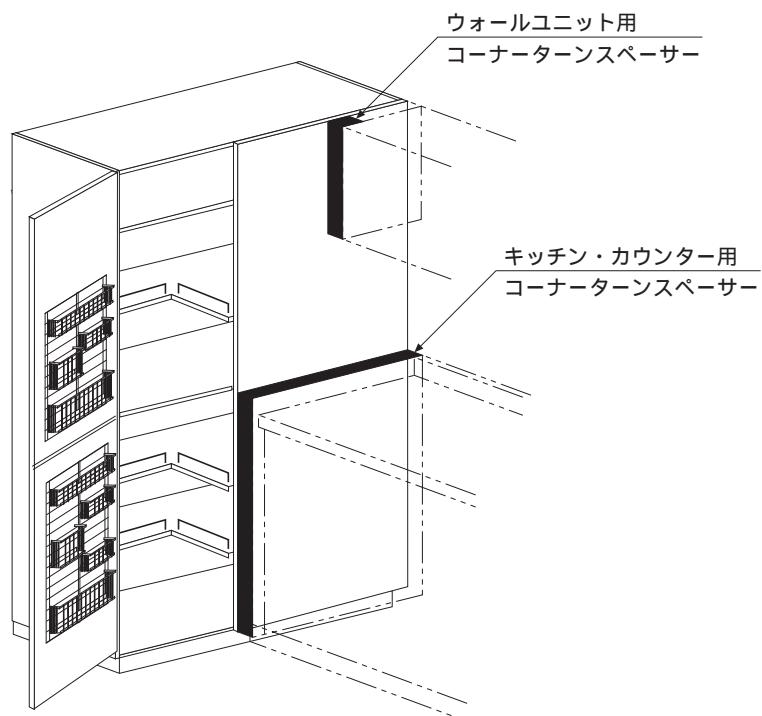
④ トラスタッピンネジ 3.5×20



- 扉の取付けには右図の広角度丁番を使用します。



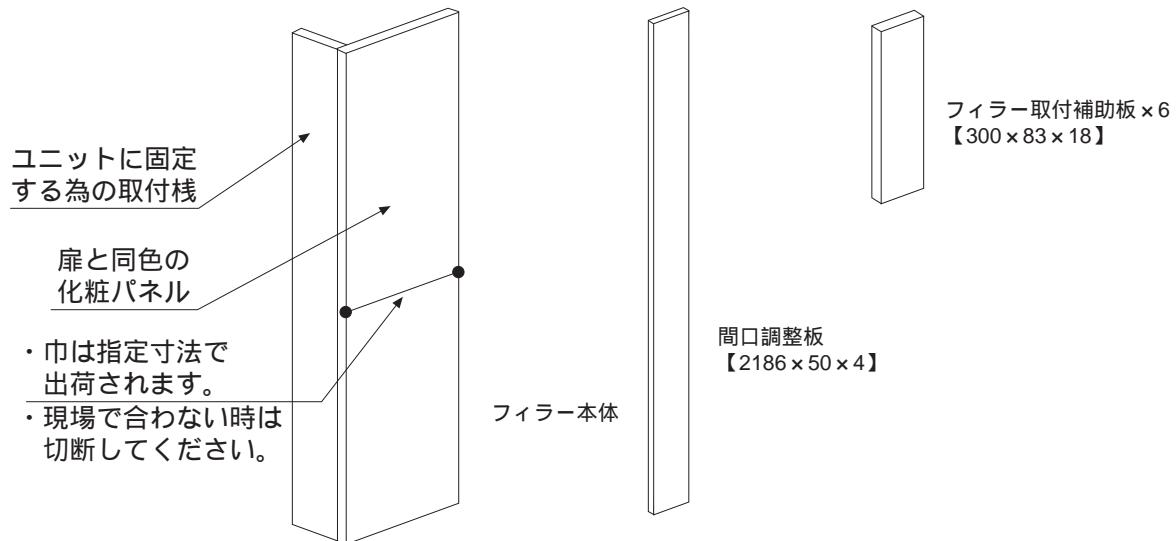
キッチン・カウンターと収納コーナーユニットとの接合



コーナーユニットの組立て 5

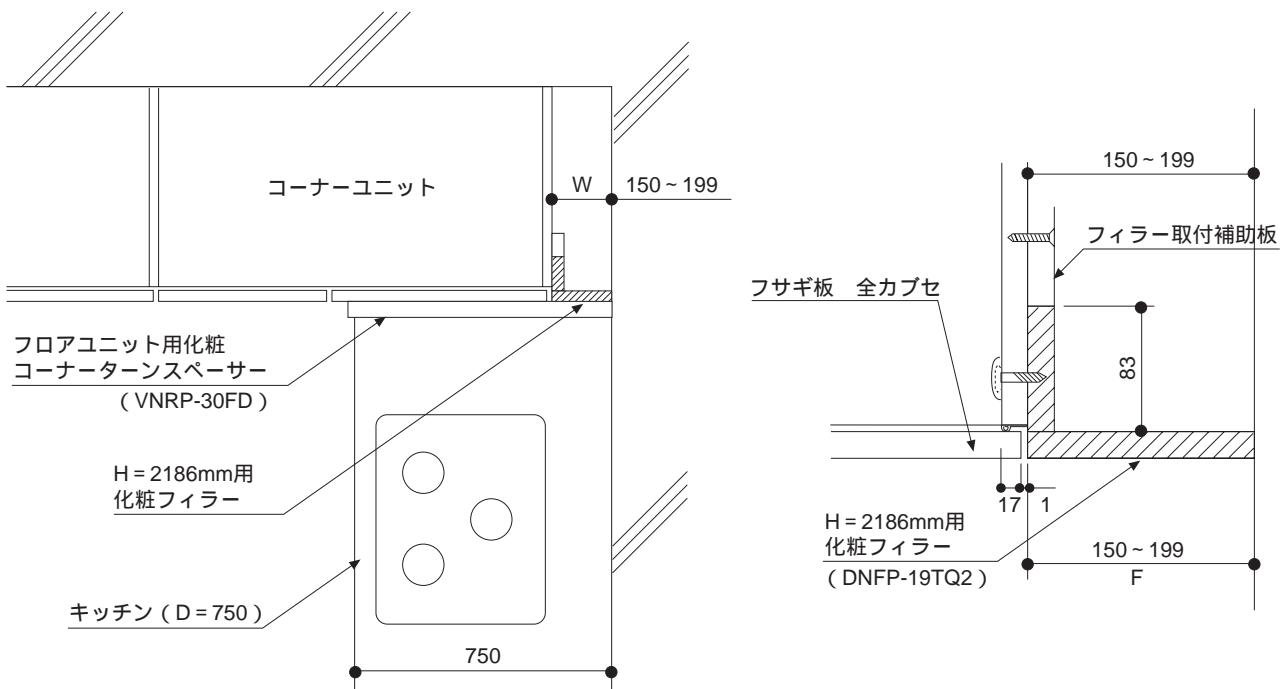
D = 750のキッチンと収納コーナーユニットとの接合

1. H = 2186用化粧フィラーを使用します。



2. H = 2186用化粧フィラーの納まり図

- ・化粧フィラーの納まりは上から見ると下図のようになります。
- ・化粧フィラーの取付け方は「収納ユニット用化粧フィラーの取付け」を参照してください。
- ・発注時のW寸法の指定によりF寸法で出荷されます。

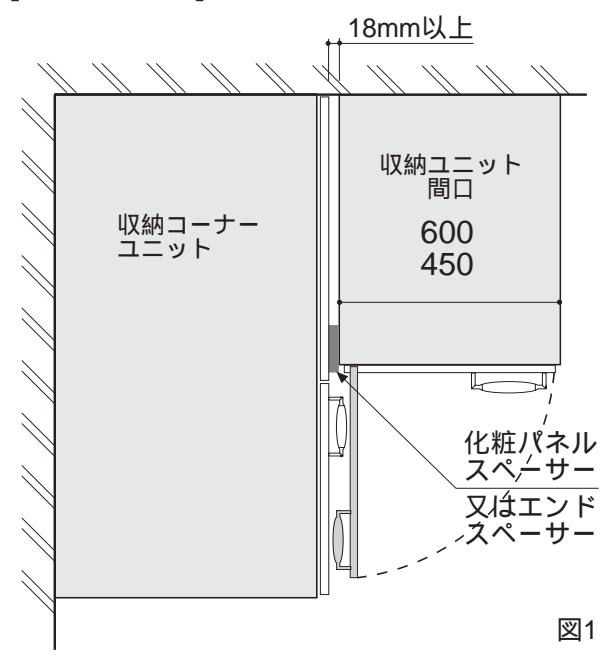


収納コーナーユニットの納まり

収納ユニットと収納コーナーユニットとの接合 フィオレX1(2・3・4)把手の場合

- 標準の納まりはコーナー部に化粧パネルスペーサー又は、エンドスペーサーを入れます。（図1）
フィオレのX1(2・3・4)把手の場合、間口300の中開き収納ユニット又は、外開き収納ユニットについては、図2・3のように納めてください。

[標準の納まり]



[間口300の中開き収納ユニット]

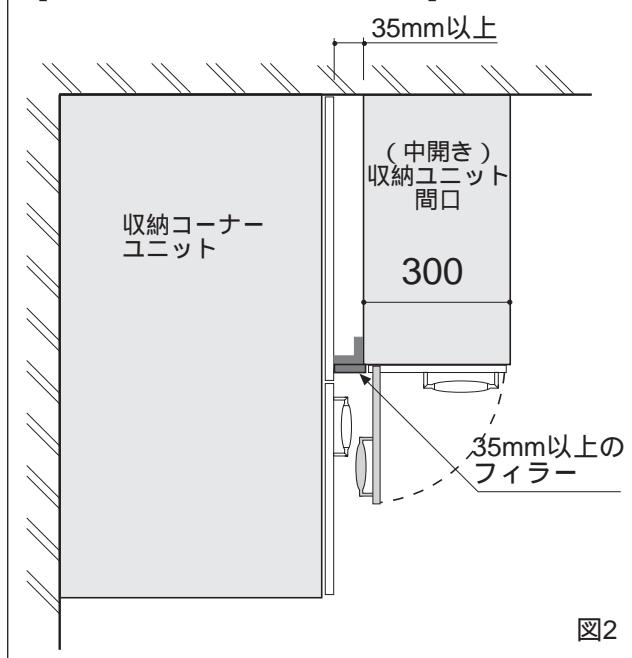
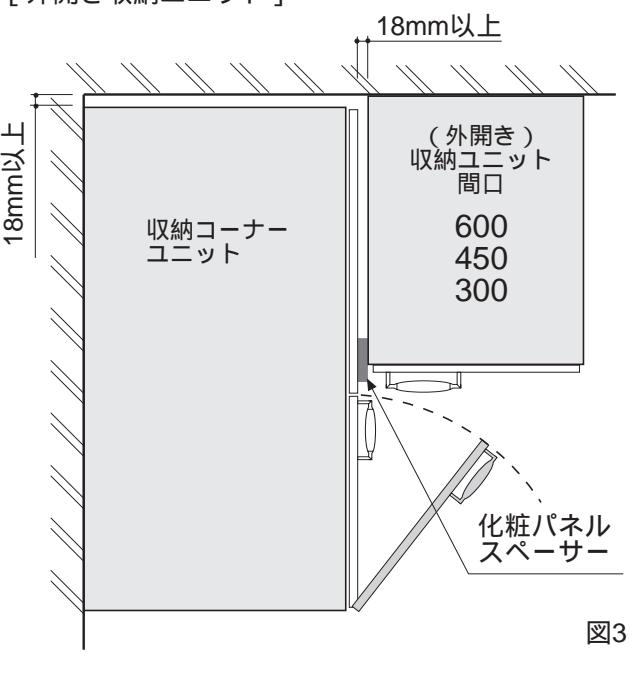


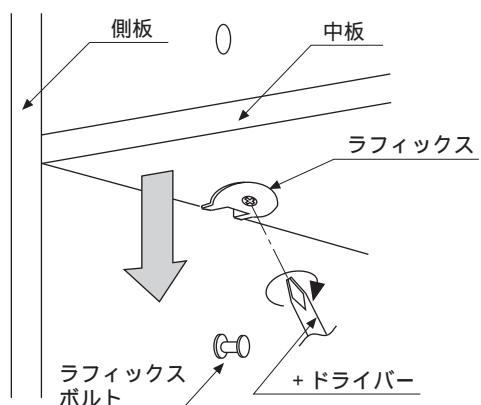
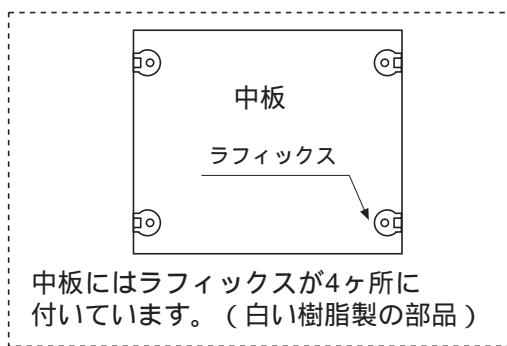
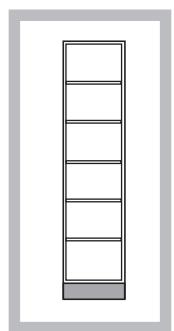
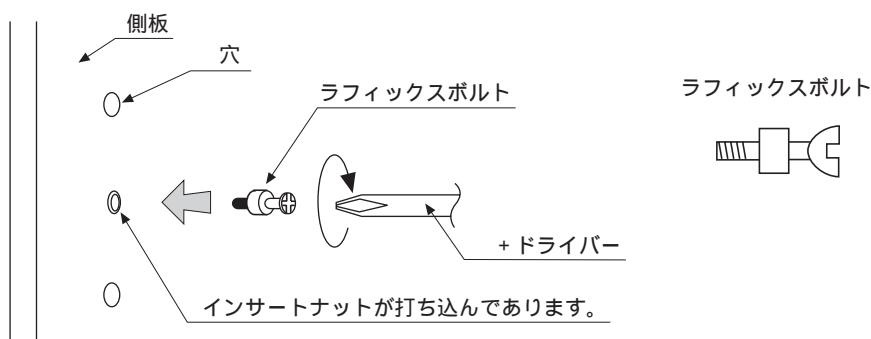
図2

[外開き収納ユニット]

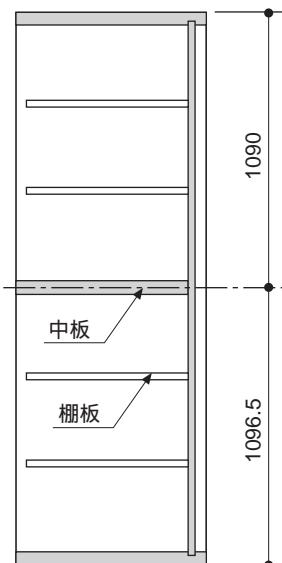
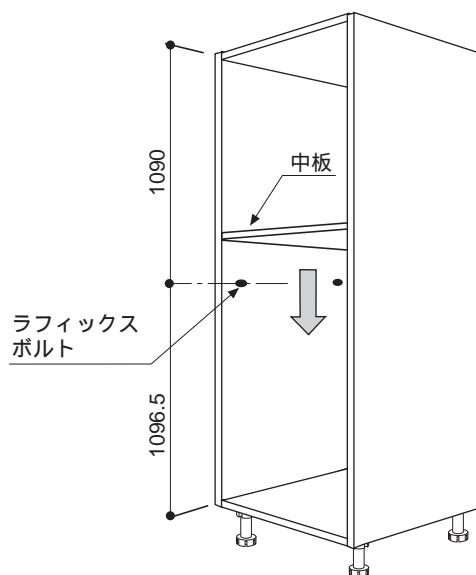


オープンユニットの組立て

- 下図にある中板取付け指定位置にラフィックスボルトを取付けます。
取付け位置にはインサートナットが打ち込んであります。



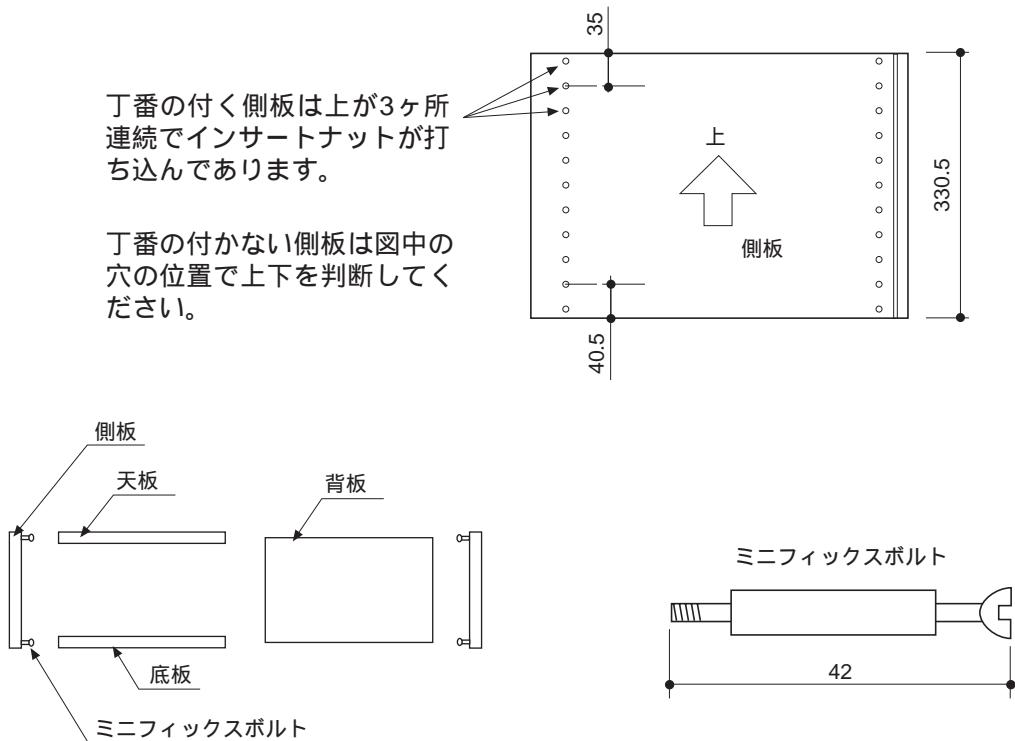
- 側板に取付けたラフィックスボルトに、中板のラフィックスの穴を合わせて落とし込んでください。
- ラフィックスのネジを + ドライバーでしっかりと締め付けて固定してください。



収納ウォールユニットの取付け

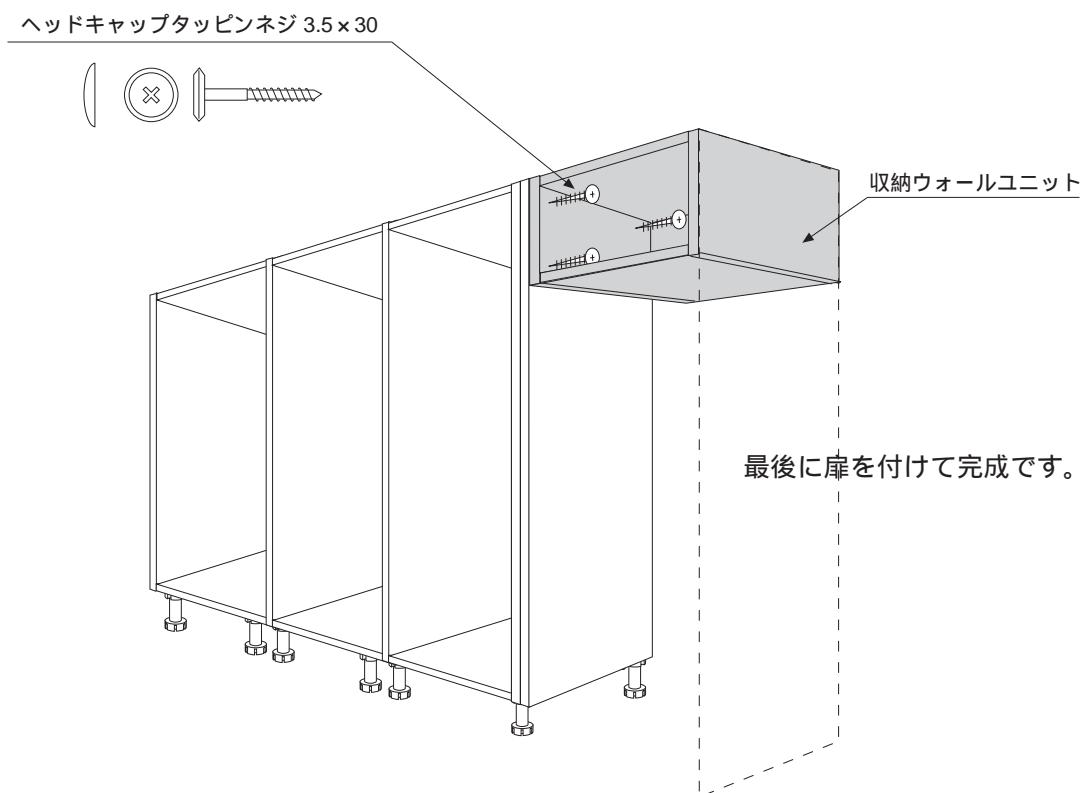
収納ウォールユニットの組立て

- 最初に収納ウォールユニットを組立ててください。
(収納ユニット部材の組立て方と全く同じです。)



収納ウォールユニットの取付け

- 収納ウォールユニットをヘッドキャップタッピンネジ3.5×30でエンドパネルおよびユニット側板にユニット上面を揃えて取付けてください。





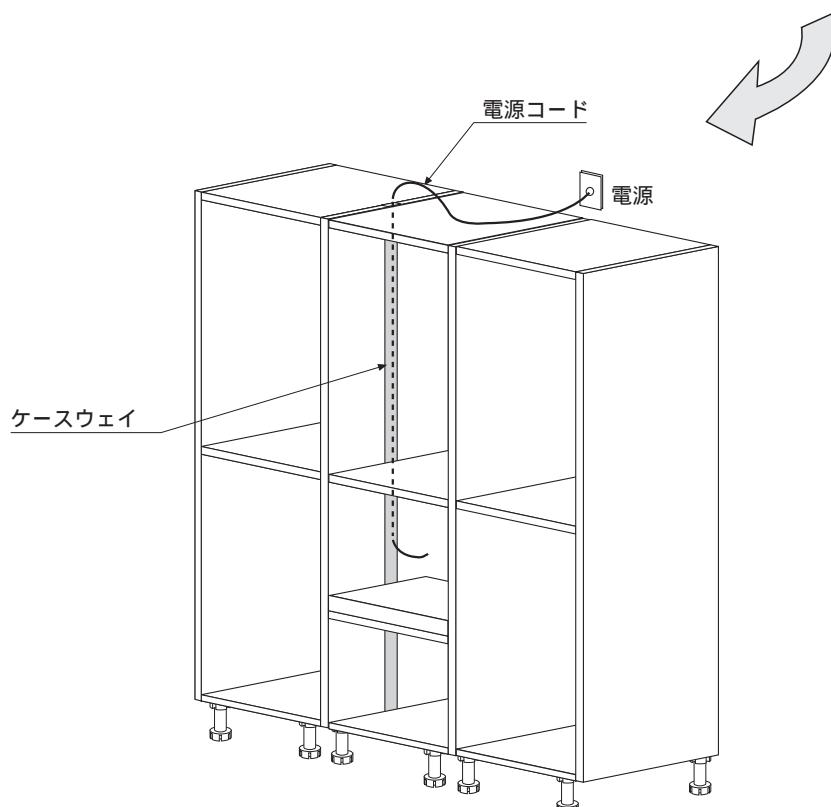
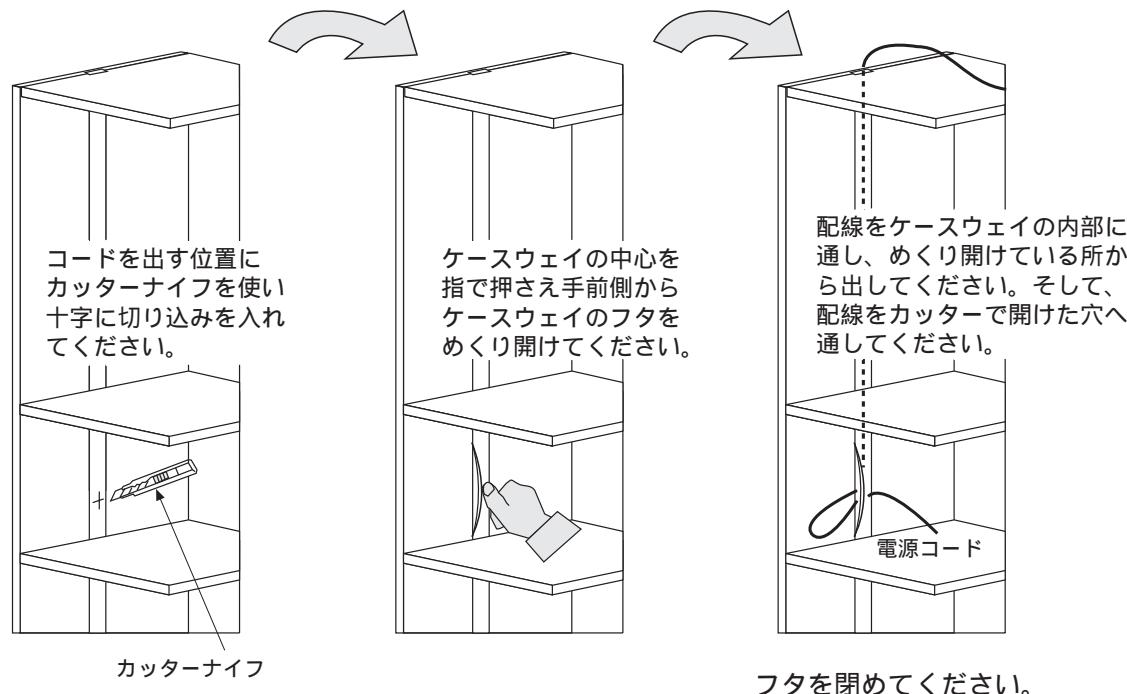
配線工事は、関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

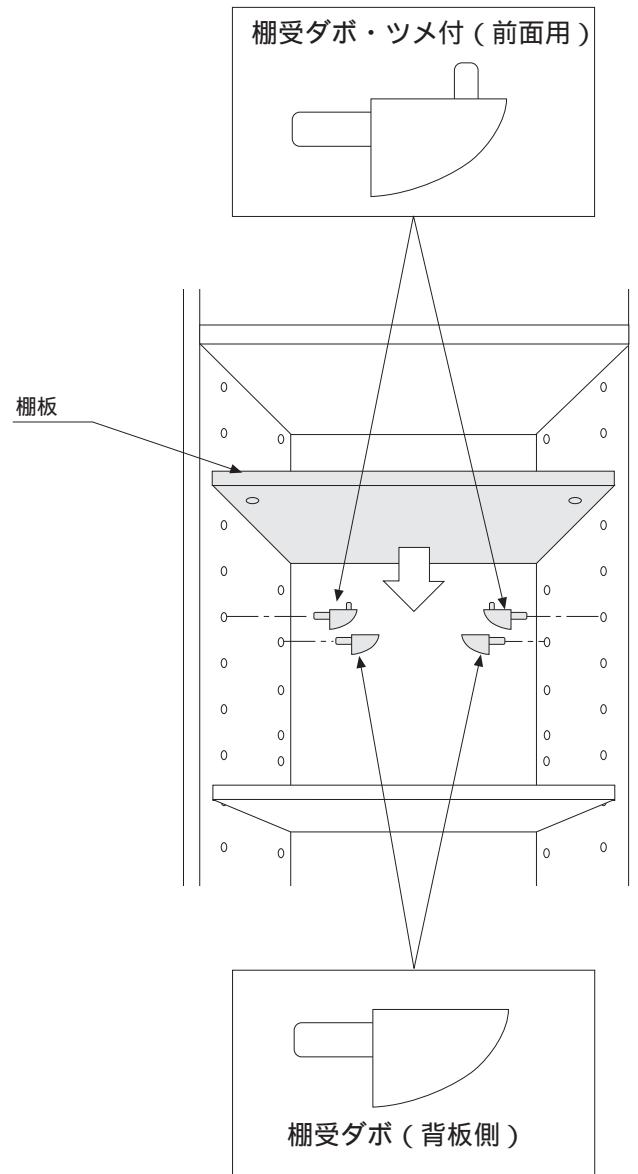
ケースウェイの使用方法

- ・フラップダウン扉等、ケースウェイが装備されているユニットには電気の配線や電話機、アンテナ線の配線ができます。



棚板の取付け

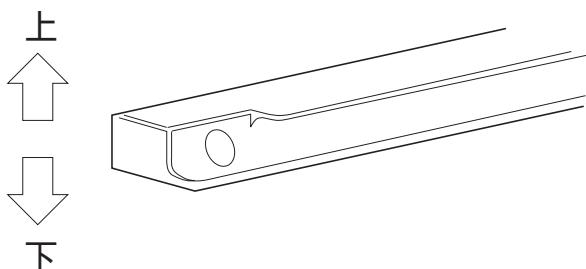
- ・コーナーユニット以外の棚板は、ユニットをすべて組立てた後にセットしてください。
- ・側板の任意の穴位置に棚受ダボ（色：グレイ）を差し込んでください。
取付け詳細は下図のように前面にツメ付きダボを差し込んで背板側はツメ無しを差し込んでください。
- ・棚板を棚受ダボに乗せてください。
- ・棚板は自由に移動できますので使用用途に合わせてお使いください。



アミカゴの取付け

アミカゴレールの取付け

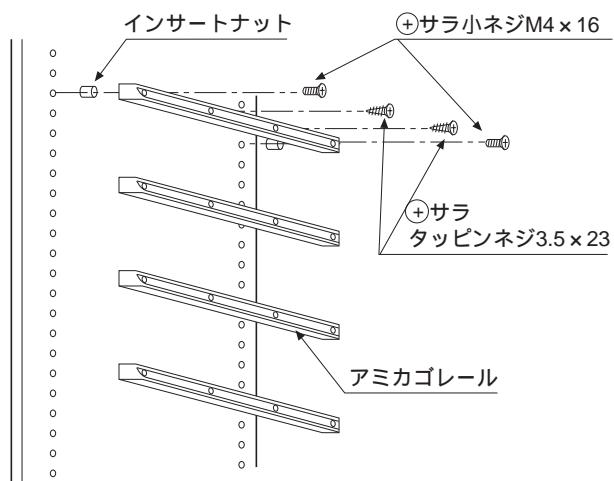
- 側板の取付位置の穴にインサートナットを打ち込んでください。
- インサートナットに④サラ小ネジM4×16でアミカゴレールを取付けてください。
- レールの他の穴は④サラタッピンネジ3.5×23で固定してください。



④サラ小ネジ M4×16

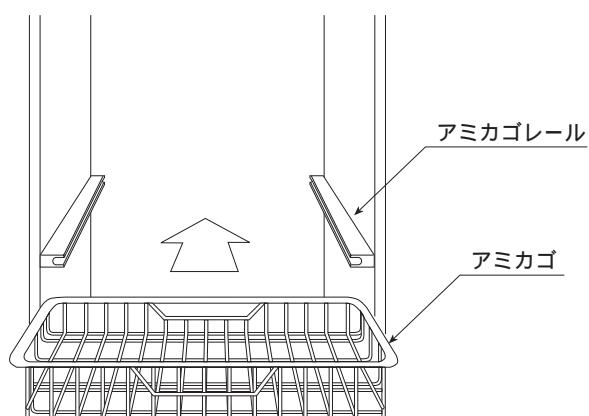


④サラタッピンネジ 3.5×23



アミカゴの取付け

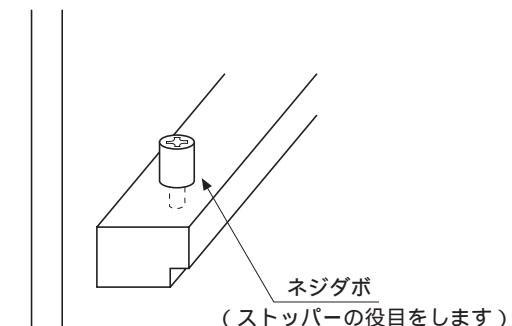
- 左右のアミカゴレールを取付けた後、図のようにアミカゴをアミカゴレールに差し込んでください。



内装引出しの取付け

内装引出しレール

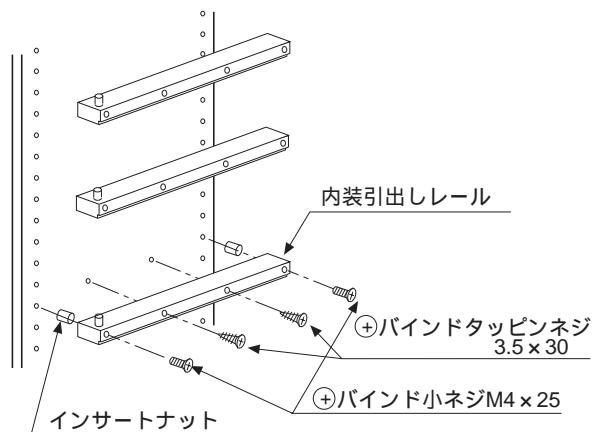
- 内装引出しレールにネジダボを取付けてください。
- 側板のレール取付け位置の穴にインサートナットを打ち込んでください。
- インサートナットに④バインド小ネジM4×25で内装引出しレールを取付けてください。
- レールの他の穴を使って④バインドタッピンネジ3.5×30で固定してください。



④バインド小ネジ M 4×25

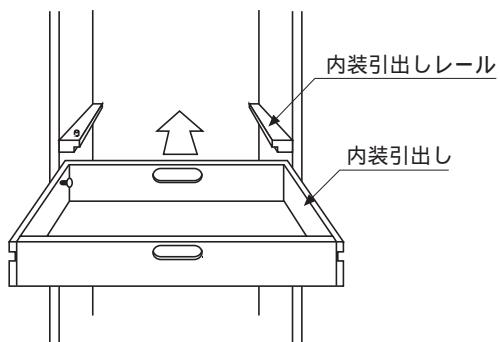


④バインドタッピンネジ 3.5×30



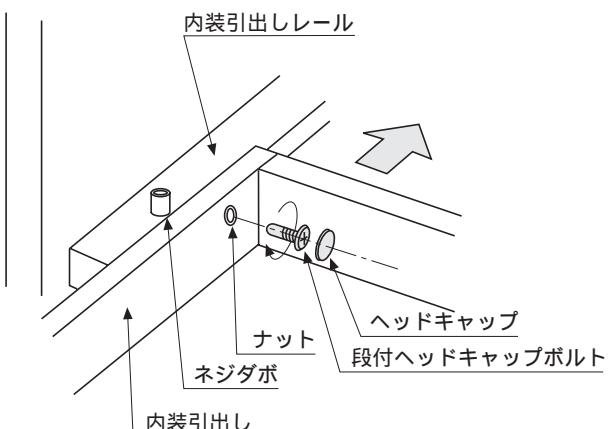
内装引出しの取付け

- 左右の内装引出しレールを取付けた後、図のように内装引出しをレールに差し込んでください。



内装引出し用ストッパー

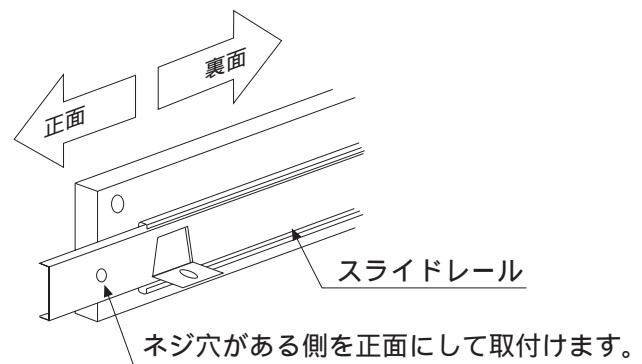
- 内装引出しのナット部へ段付ヘッドキャップボルトを矢印の方向へ回して固定してください。
- ヘッドキャップを取付けてください。
- 内装引出しを取り出す時は、段付ヘッドキャップボルトを緩めてネジダボに当たらないようになってから取り出してください。



スライドボードの取付け 1

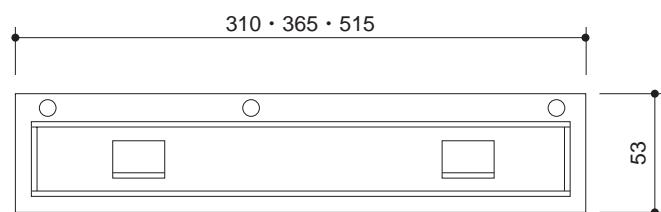
スライドレールユニットの確認

- スライドボード用のレールユニットには前後の方向があります。よく確認してください。

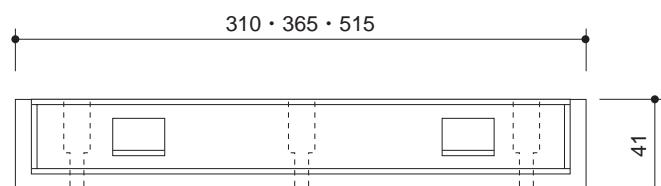


- スライドボードには側板取付タイプと底付タイプの2種類があります。取付けの際はよく注意してください。

側板取付タイプ用レール (R、Lがあります)

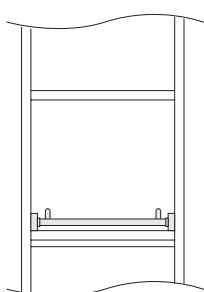


底付タイプ用レール (R、Lがあります)



レールユニットの取付け

フラップ用中板の上面に取付ける場合
(側板取付タイプを使用します。)

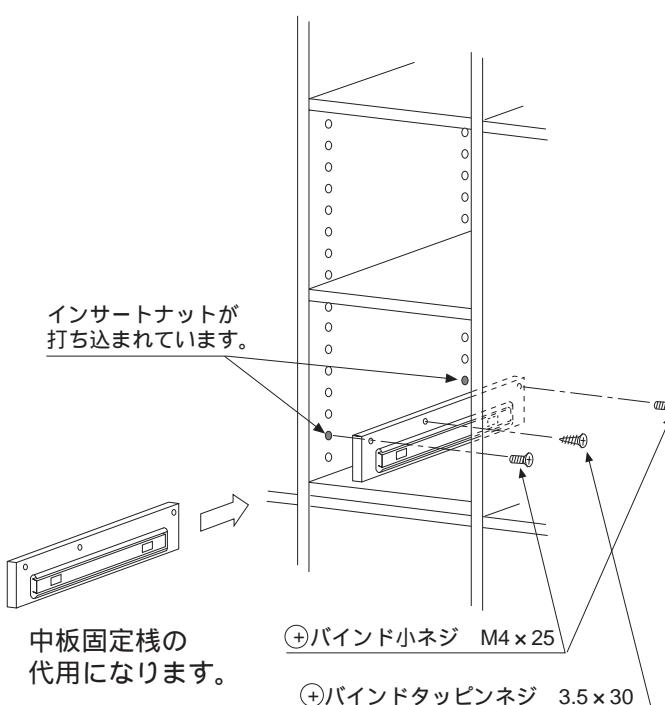


- 図のように左右1枚ずつ取付けます。

①バインド小ネジ M4×25

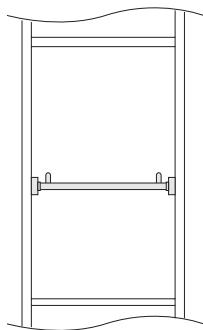


②バインドタッピンネジ 3.5×30



スライドボードの取付け 2

指定された高さに取付ける場合
(側板取付タイプを使用します。)



- ・指定の高さにインサートナットを打ち込み図のようにレールユニットを左右1枚ずつ取付けます。

④バインド小ネジ M4×25

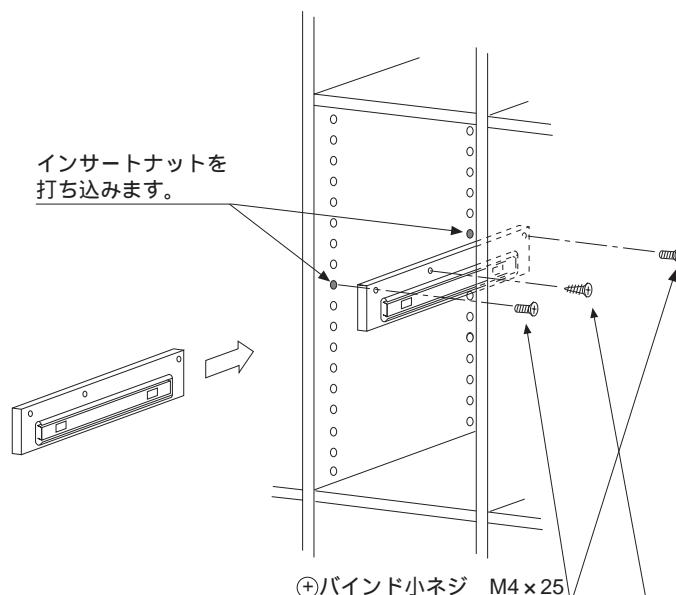


④バインドタッピンネジ 3.5×30

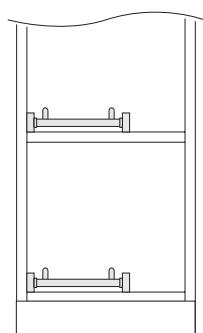


④バインドタッピンネジ 3.5×30

インサートナットを打ち込みます。

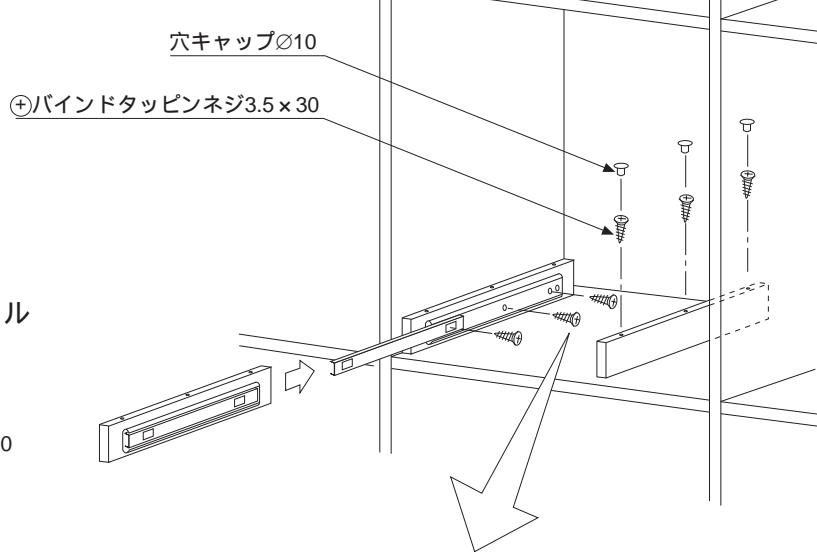


ユニットの間口より小さい間口のスライドボードを取付ける場合
(底付タイプを使用します。)

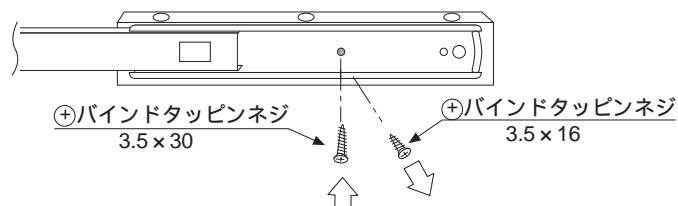


- ・図のように左右のスライドレールを取付けます。

④バインドタッピンネジ 3.5×30

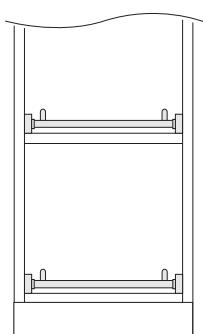


- ・スライドレールに取付いている中央部の④バインドタッピンネジ3.5×16を取り外し、代わりに④バインドタッピンネジ3.5×30を用い、本体に取付けます。



スライドボードの取付け 3

底板・中板の上面に取付ける場合
(底付タイプを使用します。)



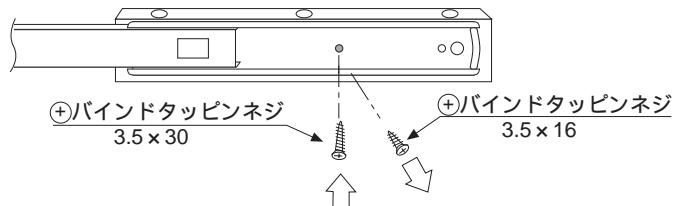
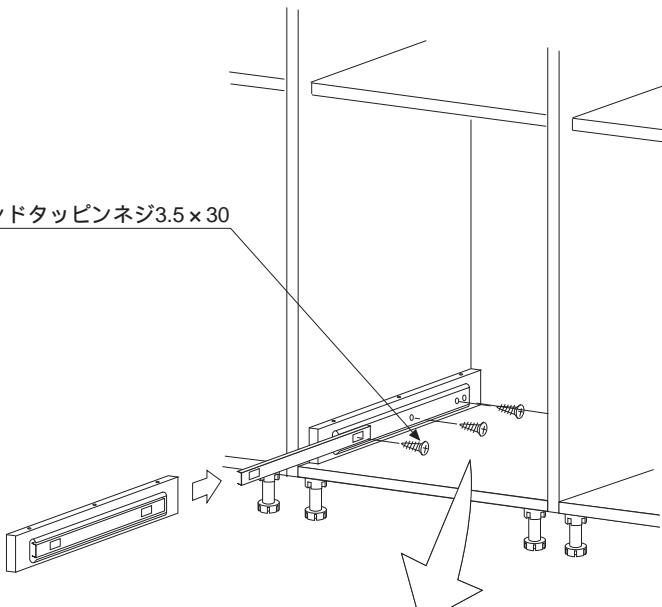
④バインドタッピンネジ3.5×30

- 図のように左右1枚ずつ取付けます。

④バインドタッピンネジ 3.5×30

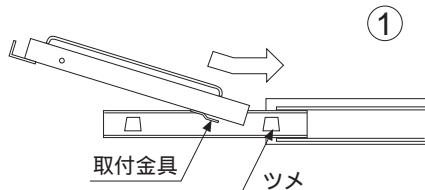


- スライドレールに取付いている中央部の
④バインドタッピンネジ3.5×16を取り外し、
代わりに④バインドタッピンネジ3.5×30を
用い、本体に取付けます。

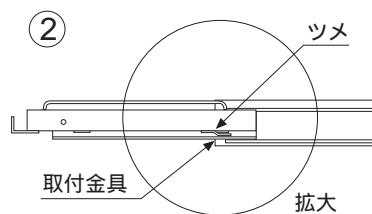


スライド板の取付け

- 図のようにスライド板をレールに取付けます。



①

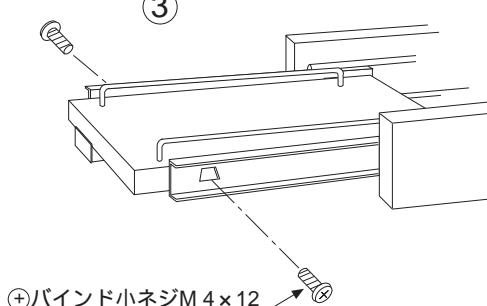
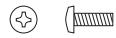


②

③

- レールにスライド板を④バインド
小ネジM4×12で固定します。

④バインド小ネジ M 4×12



④バインド小ネジM 4×12

コンセントの取付け

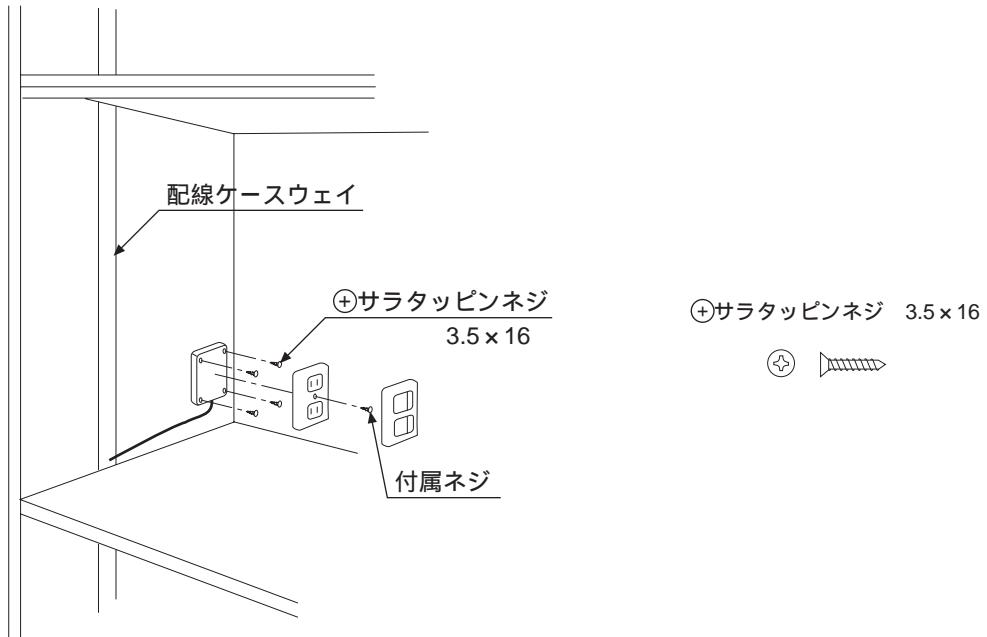


配線工事は、関連する法令、規程に従って、必ず「有資格者」が行ってください。



接続や固定が不完全な場合は、火災の原因になることがあります。

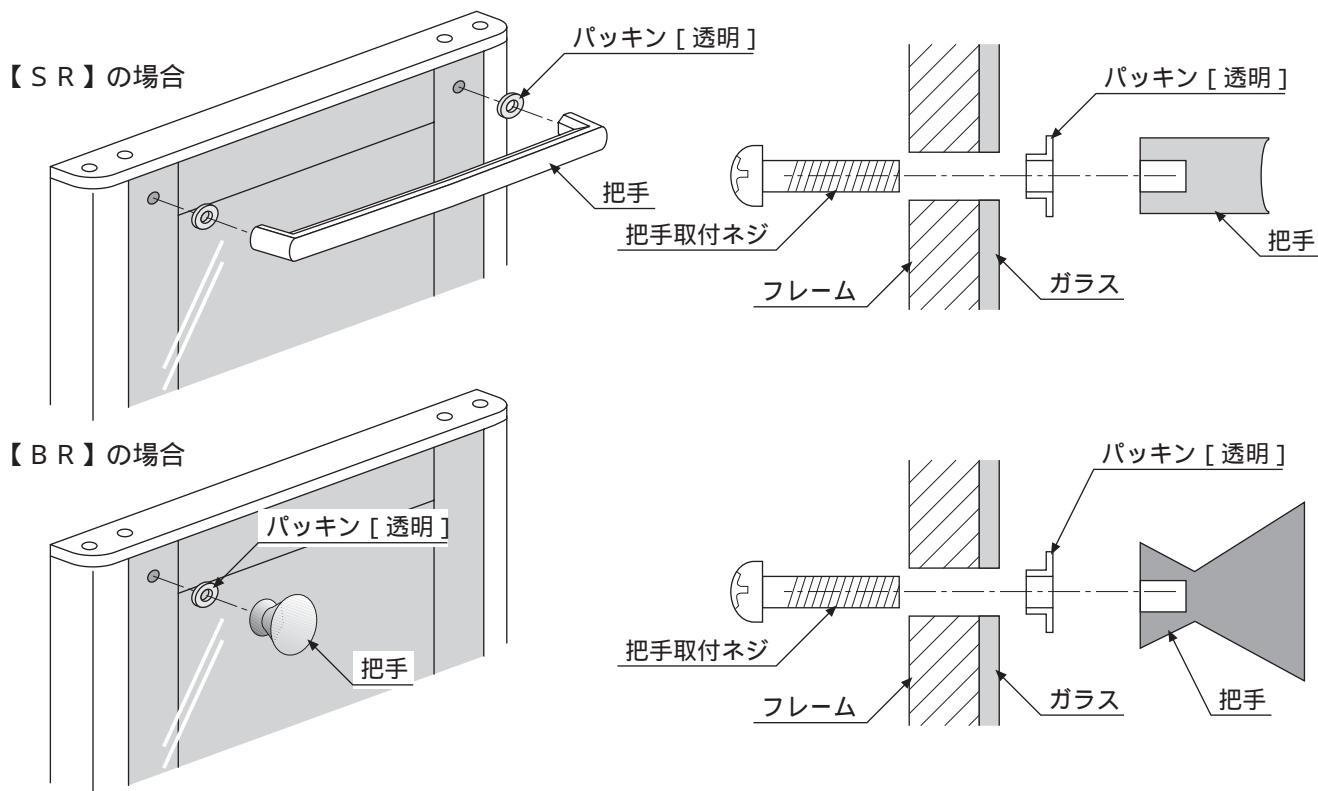
- 任意の位置にコンセントを取付けます。



とて

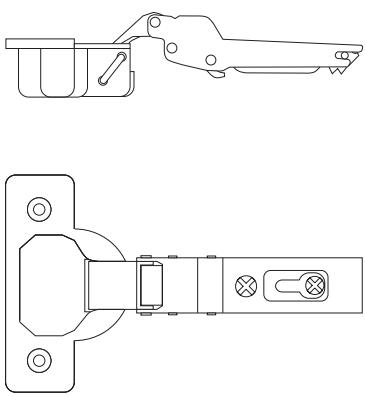
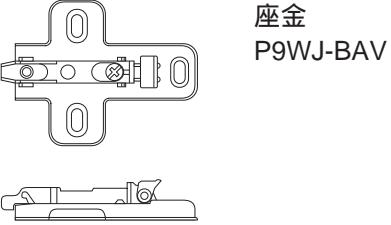
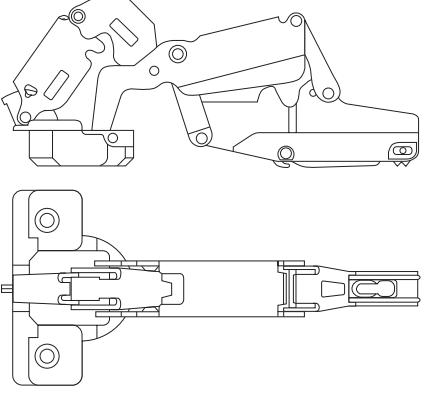
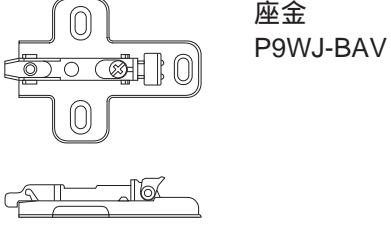
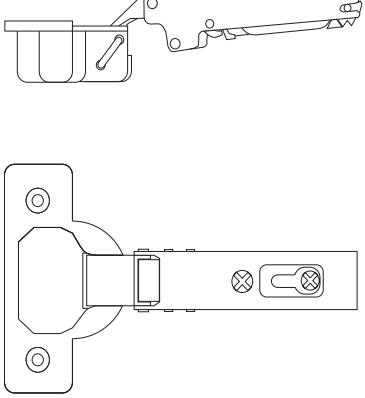
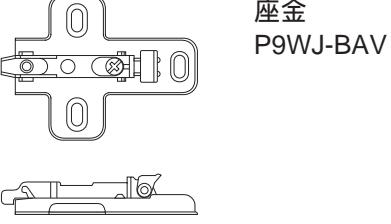
ガラス扉の把手の取付け

- ガラス扉の把手を取付ける場合は、パッキン【透明】を使用します。



【キッチン・収納共通パーツ の据付工事】

丁番一覧表

品名・品番	姿 図	使用箇所・使用座金
スライド丁番 半カブセタイプ P9WC-C110H (キャッチ付) P9WC-110H (キャッチ無)		<ul style="list-style-type: none"> 特に丁番の指定が無い場合はこのタイプを使用します。 
スライド丁番 広角度タイプ P9WC-C165H (キャッチ付) P9WC-165H (キャッチ無)		<ul style="list-style-type: none"> コーナーユニット・大型食品庫に使用します。 
スライド丁番 全カブセタイプ P9WC-C105 (キャッチ付) P9WC-105 (キャッチ無)		<ul style="list-style-type: none"> コーナーユニットのフサギ板を取付けるのに使用します。 

丁番の取付け 1

- 扉に取付ける丁番には、キャッチ付きタイプとキャッチ無しタイプがあります。

通常の扉には半カブセタイプの丁番を使用します。

スライド丁番
半カブセタイプ

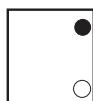


P9WC-C110H
(キャッチ付)

P9WC-110H
(キャッチ無)

- 下記の図で 印の所にはキャッチ付き丁番を、
印の所にはキャッチ無し丁番を取付けてください。

30-32



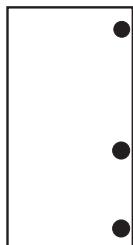
45-32



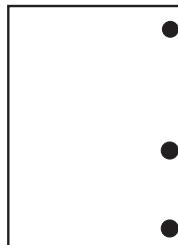
60-32



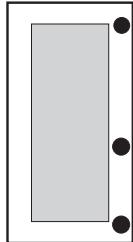
45-108



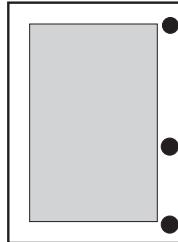
60-108



45-108ガラス扉



60-108ガラス扉



コーナーユニットや、大型食品庫には広角度丁番を使用します。
各ユニットの据付工事説明書に従って取付けてください。



工事完了後は、扉のがたつきや丁番のゆるみの無いことを必ず確認してください。

注意

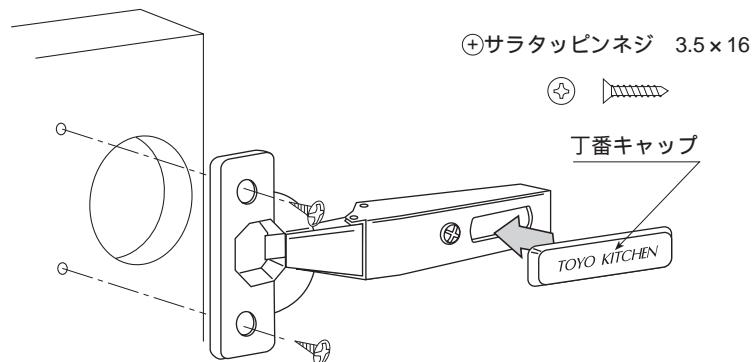


使用中に扉が落下して、ケガをする恐れがあります。

スライド丁番の取付け

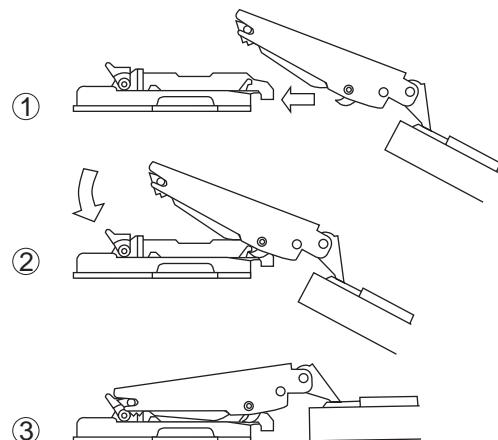
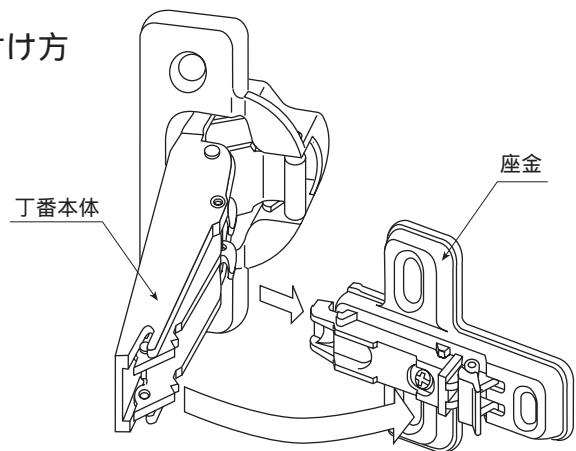
取付けは、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。

- ・丁番本体を扉、フサギ板の下穴に合わせ、+サラタッピンネジ3.5×16にて取付けてください。
- ・丁番を取付けた後、丁番キャップを取付けてください。



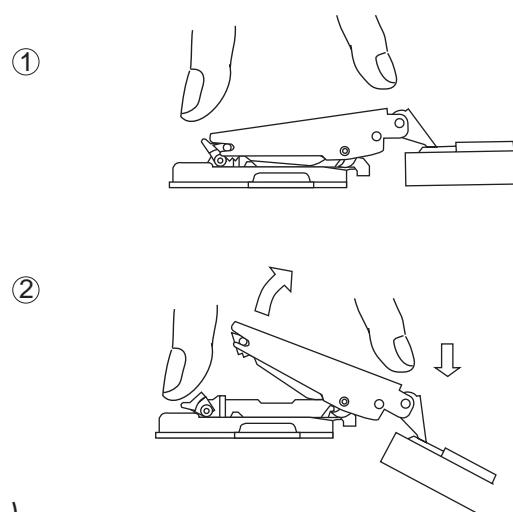
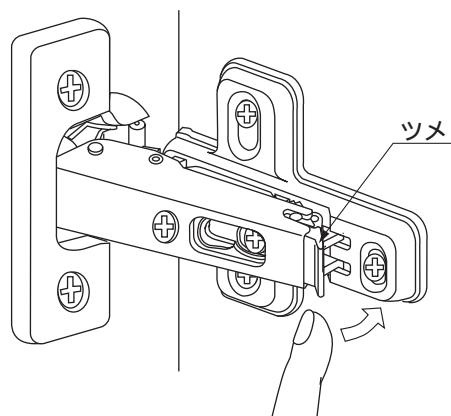
スライド丁番の着脱

取付け方



- ・上図に従って丁番本体を座金に取付けます。

外し方



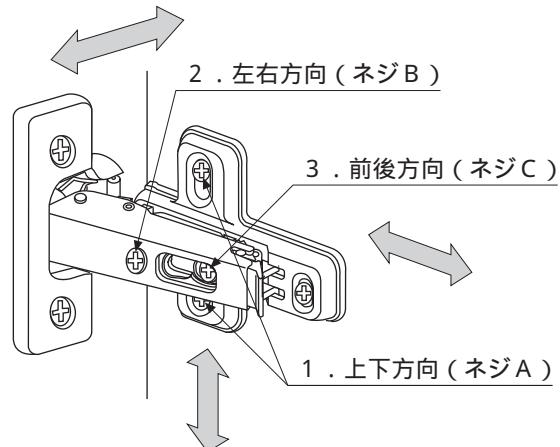
- ・丁番を外す場合は本体後部にある「ツメ」を押してください。

扉(丁番)・引出し前板の調整方法

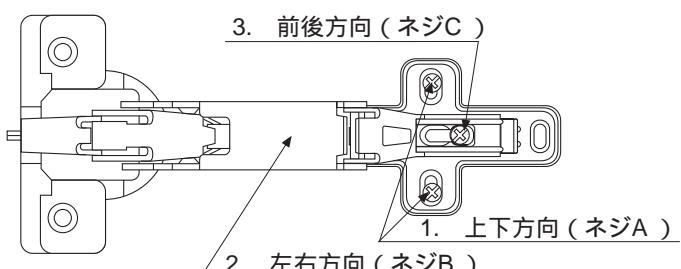
扉(丁番)の調整方法

- 調整は、トルク9kgf以下で+ドライバーを使用して行ってください。
- 調整を行う場合、1.上下方向 2.左右方向 3.前後方向の順番で行ってください。
 - 上下方向
 - 座金のネジAをゆるめ、上下の位置を定め、固定します。
 - 左右方向
 - ネジBで調整します。
 - 前後方向
前後方向は基本的に動かしません。

スライド丁番165°半カブセタイプの調整は、扉を90°開いた状態で行います。

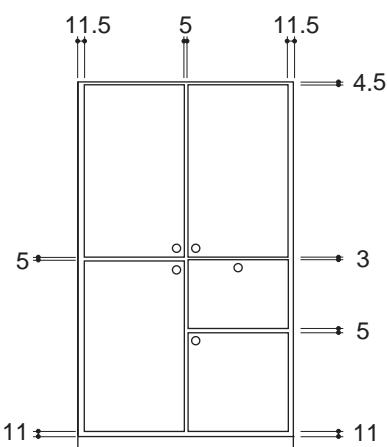


(スライド丁番165°半カブセタイプ)

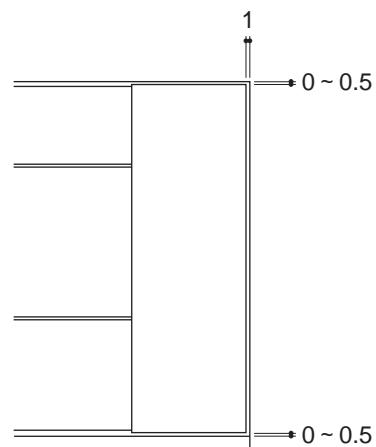


- 目地を下図の寸法に合わせ、調整してください。

(扉、カザリ板の場合)

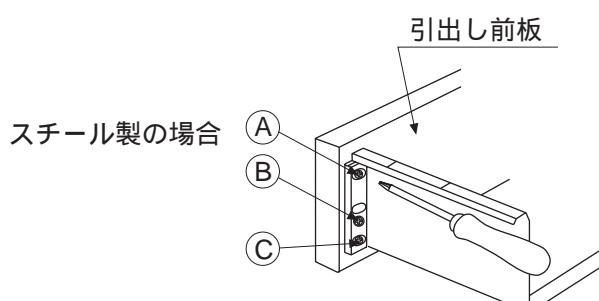
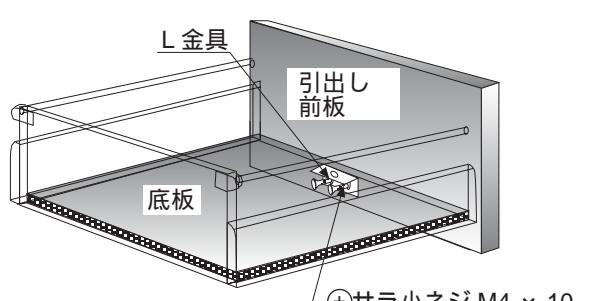


(コーナーユニット用フサギ板の場合)



引出し前板の調整方法

- 引出しシンクユニットの引出し前板の調整を行う場合は、最初に底板裏面についているL金具の引出し前板側の取付ネジ(+サラ小ネジM4×10)をゆるめておきます。
全ての調整が終わりましたら、ネジを締めて引出し前板を固定してください。

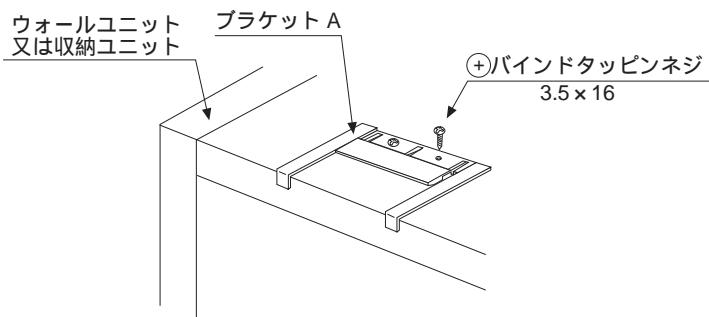


- スチール製の場合
- 引出し前板
- 左右の調整
A、Cのネジをゆるめて調整します。
- 上下の調整
A、Cのネジをゆるめます。次にBのネジをゆるめて上下を調整します。

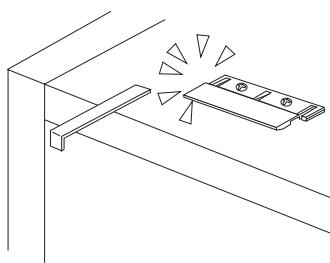
天井幕板の取付け 1

天井幕板の取付け

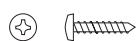
- 1 ウォールユニット又は収納ユニットの天板に、**ブラケットA**を^①バインドタッピンネジ 3.5×16 で固定します。



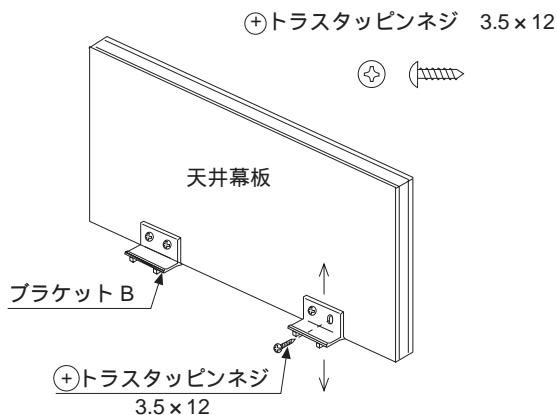
- 2 ブラケットAを取付け終了後、
ブラケットAのツメをすべて折って取ります。



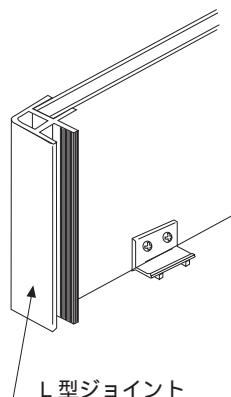
^①バインドタッピンネジ 3.5×16



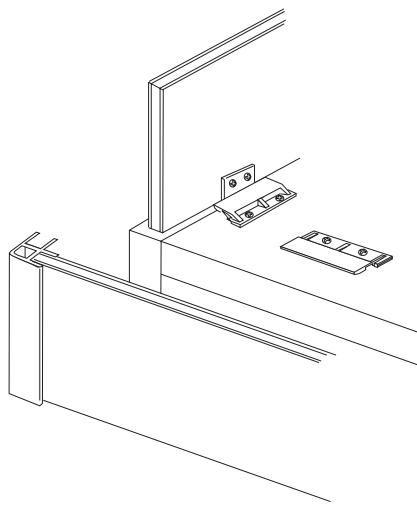
- 3 天井幕板の下面を基準として、
ブラケットBを任意の位置に
^②トラスタッピンネジ 3.5×12
にて固定します。



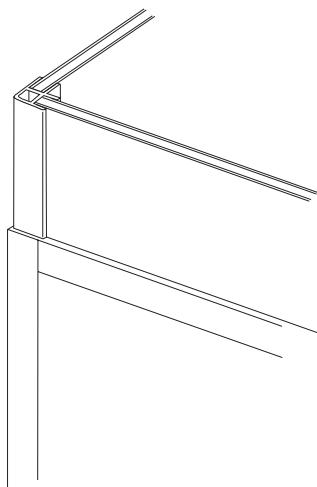
- 4 ブラケットB取付け終了後の天井幕板に
L型ジョイントをはめ込みます。



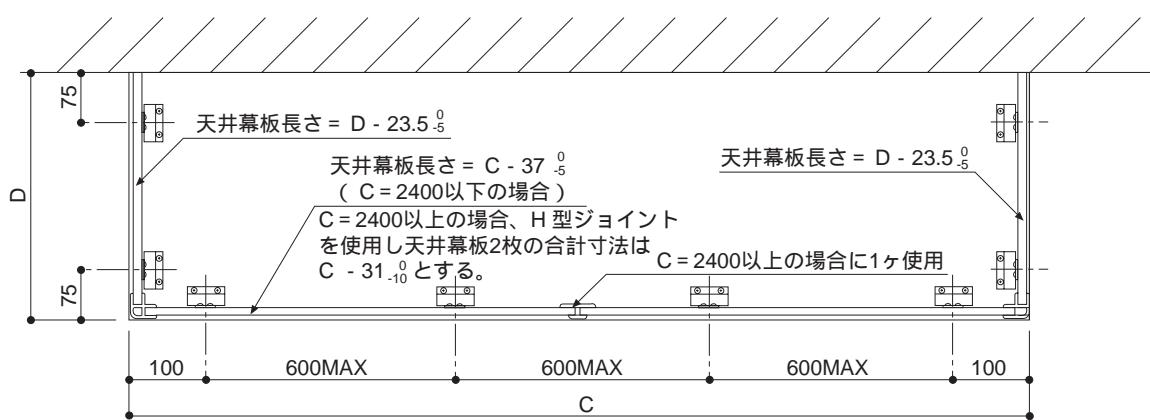
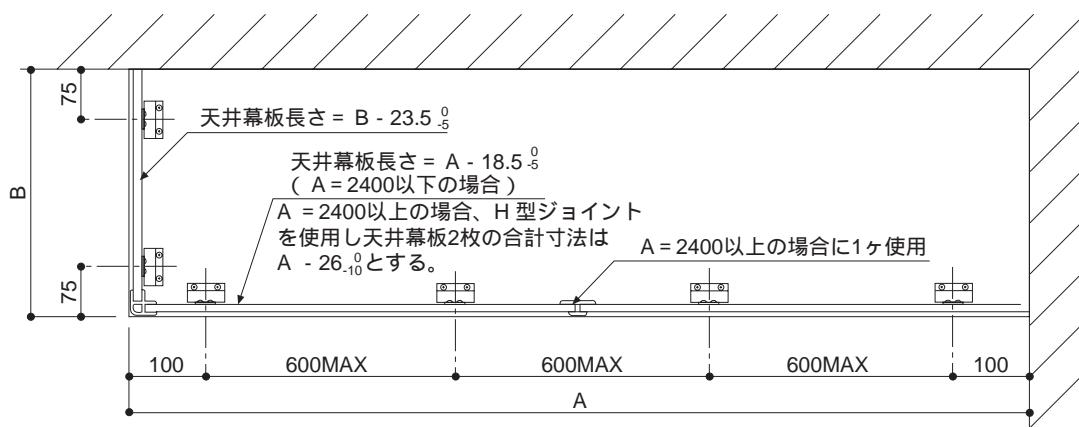
- 5 天井幕板をウォールユニット又は、
収納ユニットに取付けます。



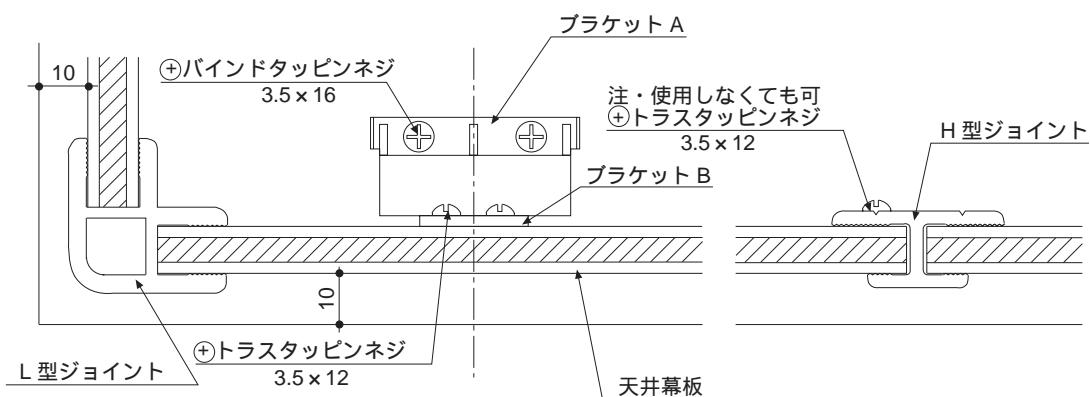
- 6 完成。



天井幕板の納まり（上面図）



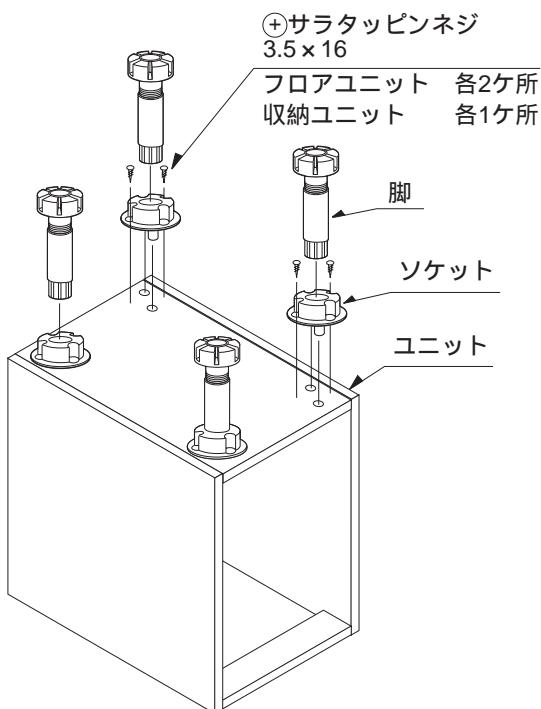
納まり詳細図



アジャスター、ケコミ板の取付け

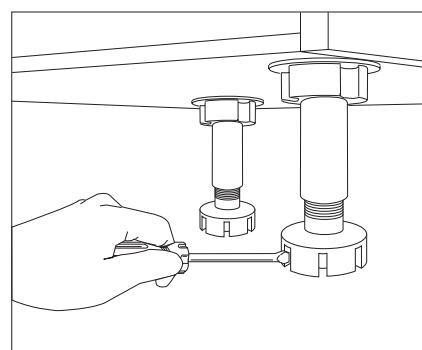
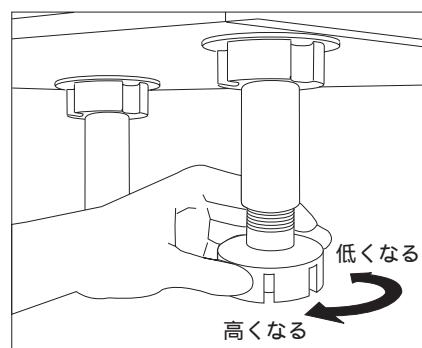
アジャスターの取付け

- ユニット底板の取付け穴にソケットをはめ込み、**①**サラタッピンネジ3.5×16で底板に固定してください。
- 次に脚をソケットの取付け穴にはめ込んでください。



- ユニットを元に戻し、専用工具又は、手やドライバーを使いユニットの高さを調整し、水平を出します。

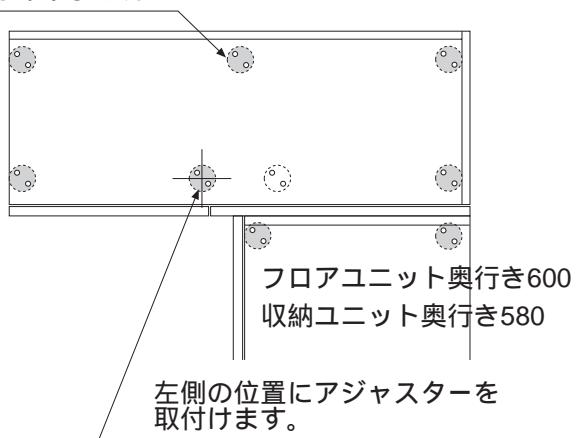
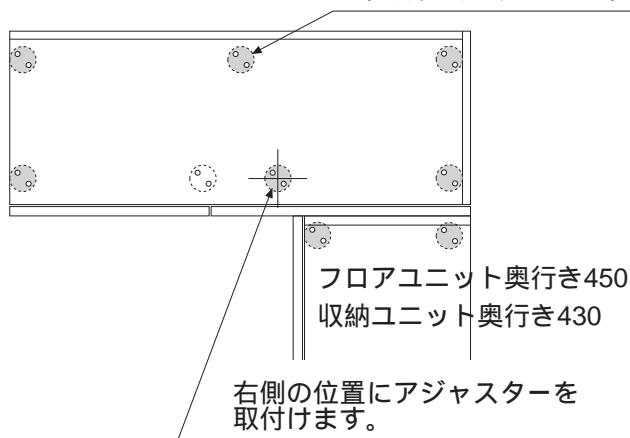
調整範囲 -0 ~ +15 mm



アジャスターの取付け位置

コーナーユニット間口1050

フロアコーナーユニットにはありません

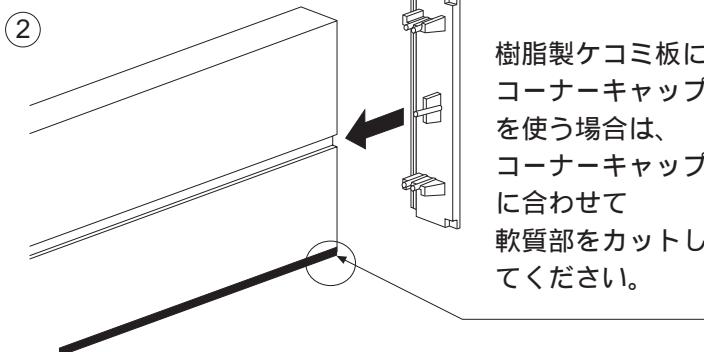
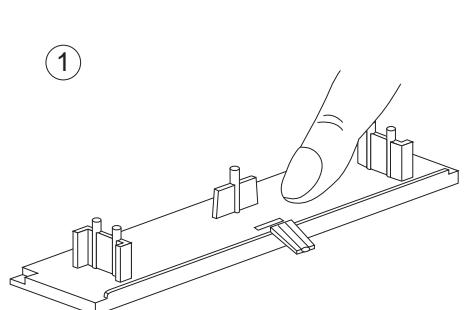


ケコミ板の取付け

- ケコミ板にエンドキャップをはめ込みます。

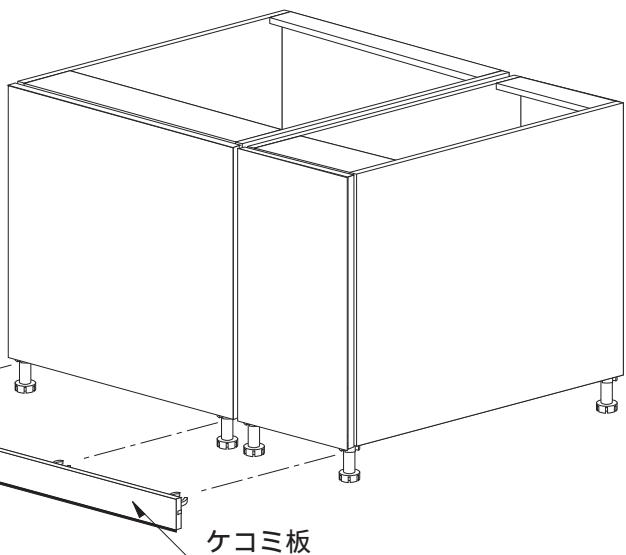
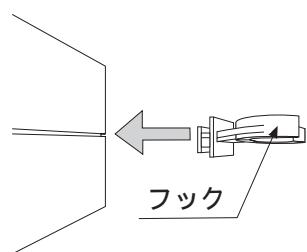
① ツメを折ってカッターでバリを取ってください。

② ケコミ板にはめ込んでください。

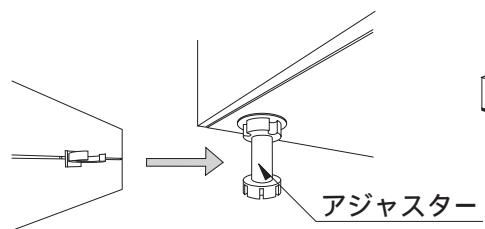


ケコミ板の取付け

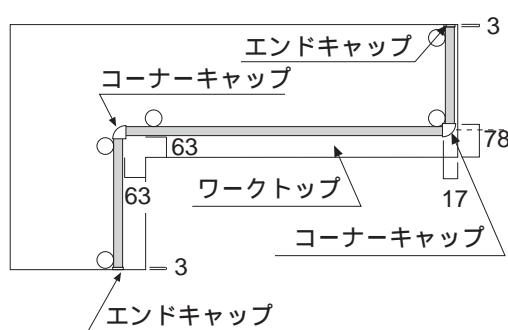
- ・アジャスターの位置にフックを合わせて取付けます。
フックの間隔は1050mm以下になるように取付けてください。



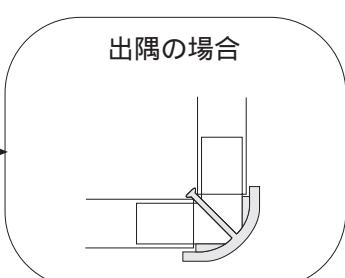
- ・フックをアジャスターにはめ込みます。



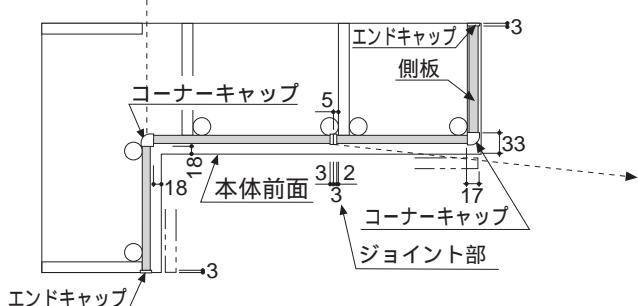
[フロアユニット用]



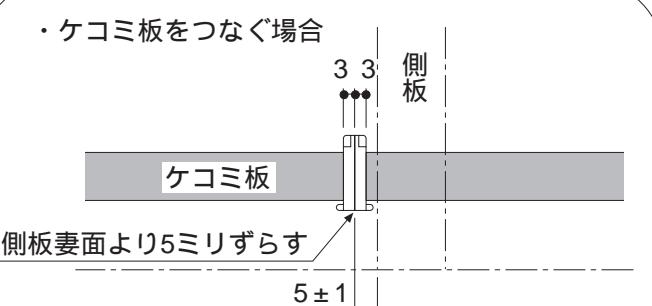
・コーナーキャップの使い方



[収納ユニット用]



・ケコミ板をつなぐ場合



側板から5ミリの位置にエンドキャップの合わせ目がくるようにしてください。

据付け後の点検・清掃・養生

- ・「安全上のご注意」および説明書の内容通り据付けされているかを点検し、水漏れ等異常の無いことを確かめてください。
- ・表面の汚れ、ほこりを拭き取りながら、傷等の損傷が無いかを調べてください。
- ・ワークトップや扉等損傷する恐れのある部分は、必ず梱包材等を利用して養生してください。
- ・シンク・ガス機器等破損する恐れのある部分は、ビニール等で中が見えるように養生してください。
- ・養生に使うテープは、粘着力の弱いマスキングテープ等を使用してください。

商 品 名	システムキッチン【foo】 ヴィーナ [VPM *] 以外
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分及び下地部分とも F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	化粧パネル (P B) F MDF F 合板 F 接着剤 F

商 品 名	システムキッチン【foo】 ヴィーナ [VPM *]
ホルムアルデヒド発散区分	内装仕上げ部分 F 下地部分 F
表 示 ル ー ル	「住宅部品表示ガイドライン」 キッチンバス工業会 表示指針による
製 造 番 号	本体に貼り付けの検査証をご確認ください
ホルムアルデヒド発散材料区分詳細	内装仕上げ部分 F 扉パネル (P B) F 化粧パネル (P B) F MDF F 合板 F 接着剤 F 下地部分 F 化粧パネル (P B) F 合板 F 接着剤 F

トヨーキッチンホームページのオンラインショップ「SHOP TOYO KITCHEN」でオプションパーツをご購入頂けます。
詳しくは、<http://www.toyokitchen.co.jp>をご覧ください。



TOYO KITCHEN
<http://www.toyokitchen.co.jp>

トヨーキッチン&リビング株式会社
〒107-0062 東京都港区南青山 6-4-10

ユーザーサポートセンター 東京・南青山

お問い合わせFAX 03-3406-0750 info@toyoi.toyokitchen.co.jp

東京 03-5485-8998 名古屋 052-709-1040 大阪 06-6241-1040
福岡 092-729-1040 金沢 076-264-1040 岡山 086-243-6111